



未来へつなぐ絆

～100周年に向かって

99th
Meiji

2011年 総明会会報

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会



明治中學校 校歌

作詞 武島 羽衣
作曲 楠見恩三郎

一章

帝都の真中駿河臺

遙かに望む富士のねの
高きに理想の影追ひて
集る健児勇ましや

二章

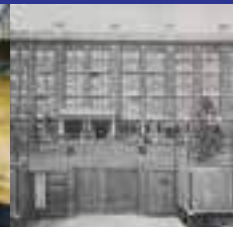
学びの高嶺文の海、
嶮しく荒き行末を
懼れず笑みて進みゆく
我等が意氣は天を吞む

三章

忠と孝の大糸を、
色どる正義、愛、誠
我等が胸をかざるべき
大和錦の美ならずや

四章

世界に王たる日の本の
國民の基と身をなして
我等が校の名を揚げむ
我等が國の威を揚げむ



校 歌

作詞 児玉 花外
作曲 山田 耕作

一、白雲なびく駿河台

眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘
文化の潮みちびきて
遂げし維新の榮になふ
明治その名ぞ吾等が母校
明治その名ぞ吾等が母校

二、權利自由の揺籃の

歴史は古く今もなほ
強き光に輝けり
独立自治の旗翳し
高き理想の道を行く
我等が健児の意氣をば知るや
我等が健児の意氣をば知るや

三、靈峰不二を仰ぎつつ

刻苦研鑽他念なき
我等に燃ゆる希望あり
いでや東亜の一角に
時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ちて鳴らさむ
正義の鐘を打ちて鳴らさむ



総 明 会

昭和59年開催の第20回総会において命名された。
初代校長の鵜澤總明先生のお名前をいただき、かつ、
明中高同期会と同窓生の総体の連帯を意味するものである。



目 次

総明会総会・懇親会のご案内	2	活動報告 同窓会・班クラブOB・OG会	63
総明会会長挨拶	4	2010年度 総明会 活動報告	121
校長挨拶	5	◆総明会 本部・役員一覧◆総明会 評議員名簿◆ 活動報告◆会計報告◆総会委員会◆会報委員会◆ 組織委員会◆育成委員会◆総務委員会◆広報委 員会◆100周年委員会◆企画委員会◆ゴルフ委員 会◆学校渉外担当◆会旗について	
名誉会長挨拶	6		
特集「未来への絆 ～100周年に向かって～」	9		
特集1 明治高校初のOG誕生			
		前年度幹事学年挨拶	139
		次年度幹事学年挨拶	140
		本年度幹事学年挨拶	141
		第47回総明会 御寄付者一覧	142
		総明会 会則	144
		「創立100周年」寄付のお願い	150
		「創立100周年」記念事業寄付者一覧	152
		編集後記	154
学校報告	47		

明治大学付属
明治高校・中学校 校長
金子光男
(明治大学政治経済学部教授)

明治大学長
納谷廣美

(学)明治大学 理事長
長堀守弘

第47回 総明会 総会・懇親会のご案内

明治大学付属明治高等学校・中学校卒業生の皆様におかれましては、益々、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、平成23年 総明会 総会・懇親会は、下記のとおり開催する運びとなりました。

今年は、「**未来へつなぐ絆 ～100周年に向かって**」をテーマに掲げ、昭和59年卒「明心会」が幹事学年を務めさせていただいております。

今年は、震災があり厳しい社会情勢の中にありますが、当日は、ご臨席の皆様へ、嬉しいひとときをお過ごし頂けるよう趣向を凝らした企画を用意して、お待ちしております。

ご同期、ご家族お誘い合わせの上、是非、ご出席頂きますようご案内申し上げます。

記

日時：平成23年11月19日(土)

総 会 午後5時から

懇親会 午後6時から(受付開始 午後5時30分)

場所：ホテルイースト21 東京 1F イースト21ホール

江東区東陽6-3-3

TEL.03-5683-5683(代表)

会員：一般会員	10,000円
シニア会員(昭和44年以前のご卒業)	8,000円
ヤング会員(平成16年から平成19年までのご卒業)	8,000円
学生会員	3,000円
ご同伴者	5,000円

※ お手数ながら、ご出席いただける場合には、同封のはがきによる返信または、総明会ホームページ上からのご連絡をお願い申し上げます。
なお、お知らせをいただいていない場合でもご出席いただけますので、お誘い合わせの上、ぜひ会場まで足をお運びください。

総明会ホームページ：<http://www.meiji.cside7.com/>

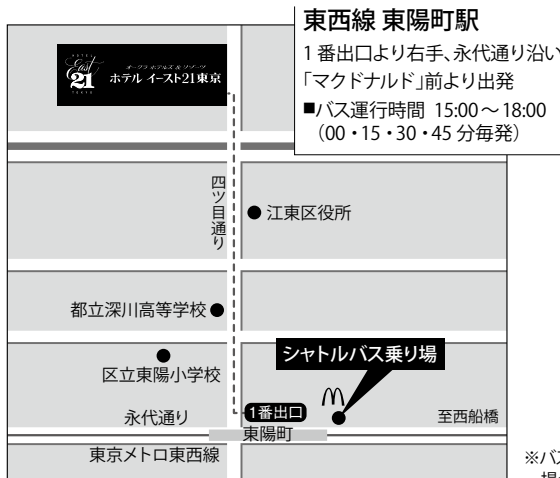


昨年の総会観覧会

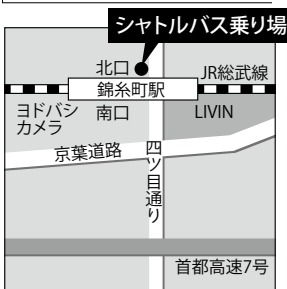
懇親会では、震災復興に向け「明治魂・元気の発信」として、「懐かしい笑顔」をキーワードに、お越し頂いた皆様全員に喜んで頂ける催しを企画しています。是非ご来場頂き、元気ある「未来へつなぐ絆」創りにご協力下さい。

- 第四十七回
総会 式次第(案)**
- 一、開会
 - 二、会長挨拶
 - 三、議長選出
 - 四、書記選出
 - 五、議事
 - 六、議事報告
 - 七、監査報告
 - 八、会長及び副会長選出
 - 九、その他
 - 十、閉会

「ホテルイースト21」周辺の地図と無料シャトルバスのご案内



JR 錦糸町駅
北口出口より右手、
四ツ目通り沿い高架下より出発
■バス運行時間 15:00～18:00
(00・30分毎発)



※バスの出発時間は交通状況により多少前後する場合がございます。

《シャトルバス以外の交通機関》

- 地下鉄**
- 東陽町駅【東京メトロ東西線】下車、徒歩約7分
東陽町駅1番出口(大手町寄り)より右手へお進みください。
 - 住吉駅【都営新宿線・東京メトロ半蔵門線】下車、
バス約10分【東22系統/東陽町駅・東京駅北口行：豊住橋(東京イースト21)下車】
- JR総武線**
- 錦糸町駅下車、
バス約15分【東22系統/東陽町駅・東京駅北口行：豊住橋(東京イースト21)下車】
- タクシー**
- 東京駅【JR山手線・各線・新幹線】より約15分
 - 錦糸町駅【JR総武線】より約10分

総明会会長挨拶

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会
総明会会長 尾島 育四郎



よりお祈り申し上げます。

平素より総明会会員の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また母校の創立100周年事業寄付金に於いても多大なるご協力を頂き、有難うございます。

さて三月十一日に発生しました東日本大震災は未曾有の被害をもたらしました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心

はいささか、うんざりしています。

総明会の纏まりは、卒業生の物心両面にわたる貢献、母校と仲間を思う情熱とボランティア精神に基づく活動の賜物です。現在の厳しい状況の中、今年の幹事学年「明心会」の皆さんは総会・懇親会に向けて実によく活動をしています。今日、他の中学や高校では同窓会に対して無関心な卒業生が多くなり先生や同級生同士の関係も希薄になりつつあると聞きます。このような時代だからこそ母校の為に活動する。この気概、いわゆる「心意気」これこそが総明会活動の源泉です。

―大事な事を忘れている―
社会に出て中核的な存在として活躍する人材を育てるためには「生きる力」を養い「生きる知恵」を身につける「人間教育」が大切なのです。昔先生に叱られた出来の悪い生徒の方が生きる知恵を持っていました。「教育」とは知識、学力の蓄積だけで完成されるものではなく、「生きる知恵」を身につけた個性豊かな「強い個人」を育てることだと思ふのです。そして、知識を知恵に昇華する為には「人との関わり」を大事にすることが最も必要です。同窓会活動も重要な役割は此处にあると、信じています。

皆様も承知のごとく、来年の100周年事業には、総明会も母校と共に積極的に事業協力をしております。

【世界へー世界に飛び出し「三」を知ろう】をキーワードとして、これまでの百年の伝統と偉業を顕彰すると共に今後百年の飛躍を期して記念事業を計画しております。教育基盤を築く貴重な契機であり、新たな発想を盛り込んで創造的なプロセスに入ろうとしています。

「鵜澤総明 教育振興プログラム・奨学金プログラム(案)」が設定され、母校の更なる発展を願い、総明会として総額3千万円の寄付金も決定致しました。このような寄付ができますのも、多くの諸先輩方・会員皆様のご協力のお蔭で有ります。

創立100周年に向けて多くの卒業生と共に「明治の絆」をより強い絆とするべくホテルイースト21でお待ちしております。

未来のために何を伝えるか

―建学の精神にふれて―

明治大学付属明治高等学校・中学校
校長 金子 光男



+++++

「職業」という言葉があります。

す。広辞苑では「生計をたてるための仕事。生業」といい、これはまた「身過ぎ、世過ぎ」の手段となります。こゝでの職業はだから、イヤも応もなく、仕方なく業務をこなす、といった何か義務に強制された、消極的な意味合いがまつわりつくことになりましょう。

しかし、「職業」とはそうした面だけのことでありません。職業を通じて自らを鍛え、何とかをなしてげつつ生の充実を味わい、その結果として社会に貢献する道でもあるのです。そのような職業を、もつと適切な日本語で言えば、何でしょう。私は天職Ⅱ「天が命ぜられた職」がピッタリだと思います。

これは、ヨーロッパ人にもよく分かる考え方です。因みに、職業をドイツ語ではBeruf(ベルーフ)と言いますが、これは動詞berufen(ベルーフン)に通じます。その意味は「呼ぶ」です。誰が呼ぶのでしょうか。神です。つまり、神様がその人に呼びかけ、その職務につけた。これが職業

である。こう説いたのはマルティン・ルターでした。Calling(カール)と同じ意味です。辞書では職業の他に、「天職、召令、神のお召」といった訳があてられているのがお分かりでしょう。

私たち人間には、どこからかはともかく、誰に対しても、少くとも一つの果すべき使命、任務のようなものが与えられ、課せられているのではないかと私は思います。このように、人は皆、それぞれ貴重な任務をおびた存在であるとすれば、この世で粗末にされて良い人間はいないこととなります。私はそのことを、是非、わが生徒たちに教えてあげたいと存じます。

彼らは、キット、彼らなりに

+++++

その真意を理解し、仲間たちと共に次の世代に伝えてくれるでしょう。そのようにして生み出される社会とは、どのようなであろうか、と想像してみてください。一人一人が自らの職業に対して誇りを持ち、それゆえにより高度なものへと向上させながら、お互いの職務に敬意を払う。それは相互の人格を尊重し合うことでもあります。これこそ「質実剛健」「独立自治」の基礎ではないでしょうか。こうした市民によって支えられた社会は、信頼されかつ堅固なものはないでしょう。

来年、創立100周年を迎える本校は、今こそ原点に立ち戻り、そこから向こう百年のための飛躍を目指しましょう。というのも、それは単に本校の発展のためだけではなく、現在わが国が置かれている困難から脱却するための確実な道筋でもあると信ずるからでもあります。

未来へ向けて

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会
総明会名誉会長 向殿 政男



今年も総明会の総会と懇親会が「明心会」のスクラムの下、例年通り開催されること、本年におめでとうございます。総明会の伝統が継承されることを心から感謝すると共に、卒業生として大変誇りに思います。

例年通りと書きましたが、今年は少し周りの様子が変

わっています。3月11日の未曾有の東日本大震災のあった年であると共に、一方で、母校明治高校・中学が、来年で創立100周年を迎えようとしている年であるからです。

この度の大震災は、我が国の今後の在り方だけでなく、経済をはじめとした我々の生活の考え方や仕方に大きな変化をもたらすことになるでしょう。我が国の文化の在り方、特に、絆を大事にする日本文化や日本人の良さについて見直すことをきっかけとなるに違いありません。また、大災害からの復興や福島原発の事故取捨と放射線被害に対する対応は、世界が注目する

ような我が国の新しい歴史を作ることになるでしょう。歴史の中で我が国の役割と在り方を深く考える未来へ向けての再スタートの年にしなければなりません。ただ単の鎮魂だけでは意味がありません。

一方で、来年の母校の100周年は、これまでの明治高校・中学の歴史を振り返り、次の100年へのスタートに繋げる歴史的な年です。明治高校・中学の校風を繋げ、伝えてきた、そして伝えて行く媒体は何でしょう。それは人の絆です。まさしく、本年の幹事学年の明心会が掲げる「未来へつなぐ絆」なのです。未来に何をつなぐのか、

来年の100周年をきっかけに時代に即した新しい方向を見出さなければなりません。ただ単のお祝いでは意味がありません。そのような中、金子光男校長の指揮の下、世界へ「世界へ飛び出し「己」を知ろう」という新しいコンセプトで、母校の次の目標を明らかにして、100周年のお祝いの準備が着々と進んでいると聞いています。そのモットーは「紫紺を胸に羽ばたけ未来へ」です。喜ばしい限りです。

今年は上記のように歴史的な年です。このような時に、明心会が幹事学年となって、総明会の歴史が人の絆により継続されることを喜びたいと思います。関係各位のご努力に感謝すると共に、一人でも多くの卒業生が総明会に参加して、母校の発展に寄与されることをお願い致します。

総明会

会長 尾島育四郎

昭和十一年卒 41明友会

副会長 関谷 芳久

四十四年卒 男坂俱樂部

副会長 吉田耕太郎

四十五年卒 獅子の会

副会長 井家上哲史

五十一年卒 明々会

専務理事 竹澤 啓

四十九年卒 翼明会

事務局長 熊倉 章雄

五十四年卒 明誠会

会 計 中村 正容

四十三年卒 紫讃会

第47回総明会総会・懇親会

総明会会長 (昭和41年卒 41明友会)

尾 島 育 四 郎

〒150-0001 渋谷区神宮前5丁目41-6

昭和51年度
総明会
副会長

井家上哲史

明々会

昭和44年度
総明会
副会長

関谷 芳久

男坂俱樂部

昭和45年度
総明会
副会長

吉田耕太郎

獅子の会

昭和54年度
総明会
事務局長

熊倉 章雄

明誠会

昭和43年度
総明会
会 計

中村 正容

紫讃会

昭和49年度
総明会
専務理事

竹澤 啓

翼明会

総明会 顧問(昭和32年卒・明治会)

山崎 敬生



市原企業株式会社 代表取締役
〒299-0102 市原市青柳2-1-23

昭和36年卒
総明会 名誉会長
明治大学校友会会長

明治大学教授

向殿 政男

TEL.03-3701-1691

祝 第47回総明会総会

猿楽会

昭和26年卒

昭和43年卒 紫讃会

弁護士 佐久間 洋一

事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座6-12-1 第2寿ビル7階
電話03-5568-6646 ファックス 03-5568-6648

〒二六・〇〇〇三
荒川区南千住二・三四・四
電話(三八〇一)六八三〇

重盛元也

明治高校PTA顧問
明治白駿会副会長

登録商標 ゼイタク煎餅
東京名物 重盛の人形焼

明治高等学校
昭和30年卒業

同期会

会長 宇田川 雄弘



Bond to Join Together to the Future

特集 未来へつなぐ絆 ～100周年に向かって



明治高校初のOG誕生!

新OG・OB座談会

明治高校が、共学になって3年、今年初めての女子の卒業生(OG)が誕生した。
3年間のエピソードを、今年卒業したOG、OBに聞いてみた。

♥ 共学になって

共学になって変わったとは?

三浦 共学化「対応型の男子」と「対応しない型の男子」とがいました。僕は「対応しない型の男子」だったので、あまり男子校から共学へ変わったというよりは、少数派になったという感じでした。僕は今でも男子校を卒業したと思っています。「男子校はおもしろかったぜ」と語り継ぎたいですね。

大塚 学校の中が臭くなくなりました。男子だけのときはロッカーの中にそのまま柔道着を入れていてそれが、本当に臭かった。共学になってからはそれがなくなりました。本当に学校の中がきれいになりましたね。また、授業も男子校時代のカリキュラムと大きく変わり、先輩から伝授してもらったもの(テストの

範囲など)が使えなくなっていました。そういうのは、一番変わったことは紫紺祭に他校の女子が訪れなくなったことですね。

逆に他校の男子生徒は来ないの?

細川 ほとんど他校の男子は来ないです。

元男子校に入学した印象は?

堀江 新しい校舎できれいだし、女子が少ないので大切にされるかなあと期待を抱きながら入学したのですが、中学生の男の子が暴れたりして壁に蹴り跡などがついてるのを見て「男子校はこれだからいやなんだよね」と思いました。もう少し大事に使って欲しかったですね。よく周りから「男子校の中に入っていくのはどうなの?」と言われましたが、男子が多いからやだとか特別思いませんでした。





細川桃子さん
在学中、女子硬式テニス部に所属。現在、明治大学農学部・農芸化学科

三浦直人さん
在学中、歴史研究部に所属。現在、明治大学文学部・史学地理学科日本史学専攻



堀江桃子さん
在学中、吹奏楽班に所属。明治大学理工学部・数学科

大塚 啓史さん
在学中、硬式野球部に所属。現在、明治大学農学部・食料環境政策学科



大塚 自分は、女子の先輩が欲しかったですね。

細川 楽しかったですね。私としては男子校のノリというものを残して欲しいと思っています。徐々になくなってきました。のかなあと感じています。男子のバカ騒ぎも、最初は冷やかな目で見ていたのですが、徐々にこころよくなってきました。

堀江 壊してはいけない男子校の伝統というものがあると思いつつ、ついに行けない部分もありました。面白かったですけどね。

細川 女子が増えて、男子校の伝統がなくなってしまうことは避けて欲しいと

思います。そうすると普通の学校になってしまいつまらないですね。あと、トップは男子になって欲しいですね。

OGの二人は中学時代は共学？

堀江 はい。普通の公立の中学校に通っていました。明治高校に入学して男子の方が人数が多いことに違和感を覚えました。でも、男子からしてみればもっと違和感があったのでしょうね。

細川 先輩は男子しかいないので、男子校だなあと思って。逆

に女子の先輩がいなかったのが楽だった。中学のときは女子の先輩が恐かった。

後輩の女子が入ってきて先輩になったときはどうだった？

堀江 吹奏楽班だったのですが、自分がまだ班のルールをわからない状態で、先輩を指導することが大変だった。男の先輩だとしても女子のことがわからないじゃないですか。スカートの丈とか髪のこととか。部活に入っていないと先輩後輩のつながりはなかなかできないですね。

今の高Iは最初から共学だからやはり違うかな？

堀江 そうですね、もう普通の学校になってしまいましたね。私たちは特別でした。私たちが高Iの時は、先生方が非常に厳しく指導されていました。今から思えばそれもありかなって思えますけど、最初は厳しいと思いました。

◆学校生活

共学になって校則の変更はあった？

大塚 女子に関する校則が追加されました。その他、校舎やスクールバスに関する事項が増えたくらいです。

校則は厳しいと感じましたか？

堀江 厳しいですね！肩に付いた髪は結ばなくてはいけないとかスカートの丈とか、女子は厳しかったです。男子は逆に緩くなったと思います。ワックスもありになったし。

三浦 ちなみに男子はマフラーは禁止でした。

制服はどうだった？

大塚 長袖のワイシャツに校章が入っ



たものができて、それでも登校できるようになりました。

女子の制服の評判は？

堀江 あまり評判良くなかったかな。セーラーブレザーってあまり人気ないんじゃないですか。

細川 スカートをチェック柄だったりますと、良かったかな。あと、男子の学ラ

ンはすごくいいと思います。かつこいい。
男子の制帽は、すでになかったよね？

三浦 いえいえ、一時期、義務ではないが生徒証に制帽をかぶってもよいというニュアンスの規則がありました。今はその文言もなくなりました。僕たちが入学する前になりますが、制帽をかぶっていた生徒が1人だけいたそうです。

我々の頃の卒業式では、終了時に帽子を投げて退場したものです。

堀江 いいですね。何かしたかったよね。案があったんだよね。

細川 歌を歌うとか、紙テープを投げるとか。

昼食はお弁当が多いの？

堀江 女の子はお弁当が多かったです。

大塚 自分は高校(調布)からは、学食でした。正直、学食にしては高かったですかね。

成績順位は、廊下に張り出された？

大塚 上位20位までは張り出されます。

赤点とると部活が停止って本当？

堀江 成績下位10%に入ると次の試験の2週間前から部活が停止になるんで

すよ。

先生は変わった？

三浦 ある先生に、僕たちが高校に上がる前、中3の時に学年主任で、「女子ってのはこんなに怖いものだぞ」ってだいぶ脅されたんですよ。「お前らが太刀打ちできるわけがねえ」みたいに言われていたんです。

細川 えーそんなこと言われたの。知らなかった。

大塚 今までいた男性の先生は、女子に何を注意したらよいのかわからないので、男子ばかり注意をしていました。

小西先生は？

大塚 変わりましたよ。やさしくなりました。

堀江 コニタンンって呼んだら照れてましたよ。

大塚 女の子にはメチャやさしいですよ。僕らの頃にはものすごく恐かったなあ。

●受験

女子校は併願しましたか？

女子2人 いいえ。

細川 女子校はイメージ的はじめなど

が恐いというイメージがある。

男子校にこだわりがあったの？

三浦 共学も受験しました。

どちらでもよかったの？

三浦 いいえ。明治が第一志望で、他はどこでも同じみたいな感じです。

♥女子の印象

男子に質問。女子が入ってきたときの印象は？

大塚 当初の席順は、女子が五十音順に並び次に男子の五十音順に並んだので、男女が隣り合わせの席にはならないようになつていたのですが、自分は「オオツカ」で男子の中でも最初の方なので、4月からいきなり女子と隣り合わせの席になつてしまいました。

三浦 僕は出席番号が後ろの方なので、しばらくは安全地帯でした。席替えしてからには、隣り合わせになりました。

最初にかわした言葉は覚えてる？」「はじめまして」とか。

大塚 いや、そんなことは言わないです。授業中にちよつと話すくらいで、最初は他人行儀になつちやいました。

◆男子の印象

女子に質問。男子を見たときの印象は？

細川 やさしかった。

堀江 本当にやさしかったです。高校に入つて男子から「さん」付けで呼ばれてびっくりしました。

細川 呼び捨てじゃないんだなあゝなんて。でも、半年くらいで男子も慣れてきましたけどね。林間学校からかな。

堀江 そうですね。最初は全然しゃべらなかつたのに林間学校からかな。

堀江 そうですね。最初は全然しゃべらなかつたのに林間学校からかな。

堀江 そうですね。最初は全然しゃべらなかつたのに林間学校からかな。

顔を赤くしている男子はいなかつたの？

全員 いなゝい。いなかつた。

堀江 意識的にやらされているとしか思えない内容だったよね。

細川 そうそう。でも、あれで男女の距離は縮まったよね。

スカートめくりはあった？

女子2人 ないですね。

驚いたことはありませんか？

堀江 体育の時間に、教室で男子がいきなり着替え始めたのでびっくりしました。でも、高Ⅲになったときは、パンツ

1枚の男子とかもいたし、段々普通の光景になってきました。

男子にされた忘れられないイタズラは？

堀江 男子の下ネタにはビックリさせられることがたまにありました。

細川 そこで盛り上がる意味がわかりませんでした。

男子高なんだって感じた瞬間は？

細川 野球部がやたら熱かつたですね。結束が強かつたですね。

堀江 坊主がいっぱいいて恐かつたけどなあ。

細川 青い坊主は初めて見た。

堀江 クラスに野球部員が5名もいるとみんな坊主なので、誰が誰だかわからず、なかなか名前が覚えられなかつた。

細川 球技大会の応援なんか、まさに男子校つて感じでした。応援の仕方とか勝つたときの盛り上がり方とか。

堀江 今年の文化祭の委員長は、女子ですが、男子の面白いのりでないところま

らなくなつてしまふ気がします。女子の委員長はプレッシャーがあると思います。

細川 入学したときは、しつかりした感じの男子が結構いたのですけど、女子が

しつかりすぎているせいか、段々いなくなってきました。

◆男女の友情

男女のケンカは？

堀江 ケンカは全然ありませんでした。

三浦 中学生のときは男子同士でたまにケンカがありました。高校生になったらなくなりましたけど。

女子が入ってきたから？

三浦 いいえ。大人になったからです。女子同士のケンカは？

堀江 人間なので相性はありますけれど、基本的に皆仲が良かったです。

男女交際は禁止されていたの？

大塚 いいえ。特にそんなことはありません。

カップルはいたの？

堀江 いました。廊下フイーバーでした。休み時間になると広い廊下でカップルだらけになっていました。



大塚 あと、修学旅行で

花火大会があったのですが、それをホテルの食堂の窓際の席でカップルが並んで見ていましたね。男女が一緒の部屋にいることができないので、そこだけは許されていました。

細川 男女でトランプなどもやっていましたね。

男子と女子の友情って？

細川 卒業してから、よくクラス会ってやりますね。男子が企画してくれまして。男子に任せると盛り上がったので、すごく良かった。

男女の比率もちょうどよかったのかな？

細川 そうですね、私はちよどいいかなあって思います。大切にしてもらえそうですごく良かったです。

大塚 絶対、ちよどよかった。女子は少ないほうがいいと思います。

それはどうして？

大塚 そっちの方が女子の権力が強くなるっていうか、なんというか。

細川 そうかもしれない。先生たちもすぐそれ言っていました。

女子から見て男子がいてくれてよかったこと、またその逆とか、あった？

細川 普段の掃除やゴミ捨てなんかは、男子が率先してやってくれた気がする。ゴミを持つてると「それ、いいよ」なんていって。基本的にやさしい人が多かったと思います。盛り上げ担当が男子にいてくれて助かりました。さすがに、女子にはあまりいないので。

堀江 最初入ったころは男子校の乗りが分からなくて、みんな急に笑い出して、内部ネタじゃないですけど、お茶の水にいたころの話を先生方もされる訳じゃないですか。女子と高校から入った男子は、なんでそこで笑うのかわからなかったり。でも、ちよつとすると、学校や先生のこともわかってきて、それから「ああ、そうか」ってわかるようになります。

♥行事の思い出

行事についての、思い出は？

大塚 林間学校、球技大会、体育祭、芸

術祭、文化祭がありましたね。

細川 もうちょっと行事がほしかったよね。行事が少なかった。

細川 六大学の野球応援が楽しかったです。新鮮でした。スクラム校歌とか。大学野球を応援に行ったとき、内部の乗りがすごいって思いました。付属って感じがしました。

大塚 高1、中1が応援に行くんですよ。春のリーグ戦ですね。立教戦に行きましたね。

細川 みんな愛校心があるんだなあって、そこで感じました。

細川 球技大会はすごく楽しかった。

堀江 応援しているのが楽しかった。

大塚 女子がバレーボール、男子がサッカー(フットサル)、バスケットとバレーボールをやります。

堀江 クラス対抗で、全員参加です。

女子に応援されると違う？

大塚 正直言って、あまりわからないです。「女子来てるじゃん」みたいにはありません。

男子は応援に来てくれた？

細川 はい、いっぱいきてくれました。

◆明治魂

明治魂や明治の伝統をいうものどう思っていますか？

三浦 自分流を通し続けられる力、他人が何を言おうが自分はこの道を進むといった力だと思っています。残しておかなければならない伝統だと思います。

大塚 自分たちの代で共学となり大きく変わったので、今までの伝統(明治魂)を残しつつ新しい文化を採り入れようと思っています。自分たちの学年は男子が引く張っていたのでよい感じにはなっていましたね。共学に単に馴染んで欲しくはないですね。

堀江 吹奏楽班は女子が入ってから、体罰的な厳しさがなくなったり、あいさつも「チワっす」から「おはようございます」に変わりました。最初は私たち女子が入ってきたばかりに何十年もの伝統が変わってしまったので申し訳なく思ったのを覚え

ています。男子校らしさを残しつつよくなっているのではないかと思います。

細川 校歌をきちんと歌うところがいいなあと思いました。国語のテストでも校歌を漢字で書かされました。

高1の新学期、教室に女子がいた。多くの男子が、とまどいからスタートした共学生活。共学に対する向き合い方は様々な考えがあったようだが、男子卒業生からは男子校の伝統に対するこだわりが感じられた。男子高に入学してきた女子。先輩も後輩も女子はいない。初

の女子生徒として様々な障害を乗り越え、新しいルールを作ってきたという自負が感じられた、そして同時に、男子校時代の古き良き伝統を壊したくないという気持ちも持っていることを今回の座談会を通じて知ることができた。

(編集…昭和59年卒田中重幸、佐藤昌彦、島村武史)



新OB・OGの担任をされた、矢田先生に思い出を語っていただきました。

「明治高校での最後の3年間」

元英語科教諭 矢田理世



産休・育休を経て、私にとつて4年ぶりに担任をしたのが2008年4月入学の学年でした。その後3年間で共に過ごし、一緒に明治高校を卒業することになったとは考えてもいませんでしたが、この生徒達との3年間は私の人生にとつても貴重な時間です。自分が親になって初めて担任した学年でしたので、親にとつて子供は無条件に愛おしい、

という気持ちを実感しながら、複数の視点で生徒たちを見られたように思います。みんなとてもかわいい存在でした。

調布という新しい土地で新しい校舎、共学化一期生、そして久しぶりの担任業務。不安要素がたっぷり揃った新年度でした。女子生徒を迎えて戸惑ったのは、クラス約半数を占めていた明治中学出身の男子生徒たち

と、そして担任の私です。それまで10年以上男子校に勤めすっかり馴染んでいたのも、何かにつけて「かわいいー！」と高い声で喜ぶ女子に困惑したのを覚えています。1年生の4月当初の様子は何度思い出しても笑えます。教室で番号順に二人ずつ席を配置したところ、一カ所だけ男女で並びました。男子生徒が一人ですつと顔を真っ赤にしているの

きました。さらに、明中出身の男子生徒は女子に敬語を使って話していました。が、それが1年も経たないうちにお互い呼び捨てし合い、あちらこちらでカップルが誕生し、女子が男子からジャージを借りているところも目撃しました。時間と共にお互いに馴染んでよかった、と安心したものでした。

その後クラス替えを経て2年生、3年生と進級し、共学であることがごく自然な雰囲気になりました。我々教員側は常に「共学一师生」ということを意識せざるを得ない状況でしたが、当の生徒達はお互いを尊重し合い、クラス内で、授業で、部活や学校行事でそれぞれが得意分野を発揮して、適材適所で能力を活かしていました。3年生3学期の授業中にあるテーマで自分の意見を英語で言わせていたときに、「明治高校では男女が平等だ」という発言がありました。何気ない一言でしたが、とても印象的で、嬉しい一言でした。

卒業した皆さんには、明治高校での様々な思い出や経験を心の糧に、男女の区別なくそれぞれが適性を活かして、社会で自分なりの居場所を見つけて精一杯生きていって欲しいと願っています。

優秀で心優しい生徒たちに恵まれたこと、そして彼らの大切な高校生活を一緒に過ごすことができたことを心から感謝しています。その後、私は新しい学校で日々精進しています。お互いにまた成長して、笑顔で再会できる日を楽しみにしています。

新OB・OGの担任をされた、鈴木先生に思い出を語っていただきました。

「一枚のTシャツ」

2008年度高IC担任 鈴木康巳



今私の手元に黒地に
シヨッキンピンクの文字
の入った派手なTシャツが
一枚ある。一度しか袖を通
していないこのTシャツが、
私にはとても大切な宝物と
なっている。

2008年4月2日――
調布に移転した私たちは男
女共学の第一期生を迎える
ことになった。その日は新
入生登校日であり、真新し
い紫紺ホールで最初の顔合

わせとなった。私の受け持
つI年C組は女子9名、男
子31名の40名であった。初
めの登校にもかかわらず、
女子9名は旧知の間柄の
ようにすでに仲よさそうに
談笑していた。女子生徒の
絆の深さはこのあと思い知
らされるのであるが、特に
C組の女子はある出来事を
きっかけに驚くほど親密に
なる。

95年の歴史を刻んできた

猿楽町校舎に別れを告げ、

新校舎でのスタートを前に、その準備であたふたとしていた3年前の出来事も遠い昔のことのように思える。

6年間担任業務からはずれていた私にとって、久方ぶりの担任に戸惑いを感じていただけでなく、男女共学最初の学年を受け持つということで、緊張して新年度を迎えたことを記憶している。

学年の教員団は学年主任の栗野先生をはじめ、共学での経験を持つ、新任の牧野、早川、宮下の三先生に共学経験のある小岩先生、それから櫻井、矢田という経験豊かな中堅の二先生、そして担任団では最年長の

私の8人であった。

思い返してみると、あっという間に過ぎ去った1年間であつたと思う。特にわがクラスは一年間いろいろと思い悩まされることも多く、この紙面では書けないこともあつたように記憶する。そこで、最も印象に残る一コマを挙げるとすると、2学期に行われた球技大会のことになるだろうか。

球技大会では、クラスのTシャツを作つてそれを着て競技に出るのが恒例になつているが、その年度もどのクラスもオリジナルTシャツを作成した。わがクラスでもこの文章の最初に記したTシャツを作つたのであるが、イラストの上手

な男子と女子がそれぞれ協力してTシャツの表と裏のデザインを担当し、大変素敵なTシャツを作つてくれたのであつた。当日はこのTシャツを着た子どもたちが大活躍し、女子がバレーで優勝、男子もサッカーで決勝に進出し、優勝まであと一步というところまでいった。男子だけの学年であつた高Ⅱ・Ⅲとは違い、黄色い声の混じつた華やかな応援でクラスが一つになる盛り上がりを見た。これまでになく熱狂ぶりにこちらもただただ驚くばかりであつた。

今振り返つてみて、1学年の人数も280名を越える大所帯で何かと苦労の多

い3年間であつたが、充実した時を過ごすことができたことに感謝している。移転後4年が経ち、本校は来年100周年を迎えようとしている。新しい明治の伝統の礎を築いた彼ら彼女らと共に過ごした、最初の貴重な一年間を象徴するTシャツをいつまでも大事にしたいと思つている。



高木東扇



右：高木東扇先生
左：高木厚人氏
昭和55年1月撮影

その昔、生徒から「トーセン」と呼ばれていた先生がいた。それは、書道の高木東扇先生。書道界ではかなり高名な先生だったらしい。同じ書道家であるご子息の高木厚人氏にお話を聞くことができた。

『いつまでも消えない絆』

高木東扇先生には、私たちが中学1

年の時(昭和53年)の書道の授業で、実際に指導いただきました。当時は講師としていらっやっいて、生徒の間では「トーセン」と呼ばれていました。私の書を見て、「このゝかすれ」が、素晴らしい！」と、今まで出会った書道の先生とは違い、芸術としての書の指導をして下さった、ユニークな先生でした。「書く気が起こない、気が乗らなければ、散歩でもし

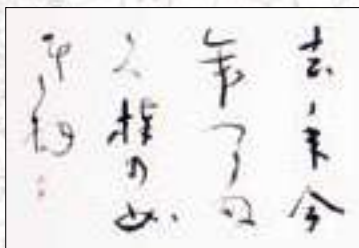
ていらっやい。」そして「充実したところでイッキに書き上げなさい。」と散歩にいったまま戻らない生徒もいたとか。石鹸と雑巾を持つていくと点数をプラスしてくれたり、話はかりしている生徒が「大きくなれ！ゴメン！」といって本気のビンタで叱られたのも懐かしい思い出です。

しかし、東扇先生は生前、日展や毎日書道展などで数多くの賞を受賞され、平成21年には没後十周年の回顧展が行われるほどすごい先生だったのである。

東扇先生のご長男で、同じく書道家の高木厚人氏に、生前の先生のお話を聞くことができました。厚人氏は、小学6年生の時に、明治高校の近所である

錦華小学校
(現在のお茶の水小学校)
へ越境通学していたそうです。

す。朝は、明治高校に通勤する東扇先生と共に登校し、放課後何度か、明治高校の書道準備室に來られていたそうで、ある時は、東扇先生が自分で紐のついたざるを書道準備室の窓から垂らして焼き芋を買ってくれたとか。「それ以来、準備室の窓の下には焼き芋屋さんが止まるようになってしまった」なんて話も。また、教員として、そして書道家として忙しい日々を送っていた東扇先生。な



『去年今年』平成二年

Profile

高木東扇

1918年 2月27日 千葉県生まれ、本名は高木 恭男
 1940年 船橋葛飾尋常高等小学校教諭に就任
 1950年 尾上紫舟氏に入門
 1956年 明治大学付属明治高等学校教諭に就任
 1958年 日比野五鳳氏に師事
 1972年 明治大学文学部講師を兼任
 1978年 明治大学付属明治高等学校定年退職
 日本書道教育学会神田書学院講師
 日本書道芸術専門学校講師
 1987年 高門宮憲仁殿下、久子妃殿下へのご進講にあたる
 1991年 第45回日書展にてオリベッティ国際賞受賞
 全日本書道教育協会会長に就任
 文化功労者として千葉県より表彰を受ける
 1972年 明治大学文学部講師定年にて退く
 1999年 3月18日、肺炎のため船橋市内の病院にて死去享年81才



高木厚人

1953年 千葉県生まれ、書家。高木東扇先生の長男。かな書の第一人者で文化勲章受章の杉岡華邨氏に師事。かな書道界の俊英として、書展や書道雑誌などで活躍中。大東文化大教授。かな研究会主宰。現在、日展会員、日本書芸院常務理事、臨池会理事、読売書法会常任理事。

なかなか家族旅行に連れて行ってもらった機会もなかったときに、「海に連れて行ってあげる」と言われて連れて行ってくれたのが、明治高校の書道部の夏合宿だった。と、明治高校のスキー学校へ連れて行ってもらったこともあるそうです。今回の取材の連絡を受けた時も、「明治高校：懐かしいな」と思われたそうです。書道家としての東扇先生が、京都の日

比野五鳳先生に指導を受け始めた時は、まだ新幹線が開通する前だったので、土曜日の夜行で京都に行き、日曜日に指導を受け、その夜の夜行で東京にとんぼ返り。朝ついた東京駅から、そのまま学校へ出勤するといった生活だったそうで、どうしても自分で京都へ行けない時には、奥様が東扇先生の書をもつて京都に行き、指導を受け、東京に戻って、その内容を東扇先生に伝えるといったこともあったそうです。

そんな父を見ながら育った厚人氏ですが、父への反発もあり、大学受験のころには、美術史を勉強して、竹橋の近代美術館の学芸員になったかっただけで、書が、事あることに「書はいい、書はいい」と言われ続け、結局書道家の道を進むことになったとか。しかし、今となつては、父親と同じ書道家という仕事ができ、時

に「東扇先生」「若先生」と呼び合い、一緒に書評をしたり、お互いの書について意見を言い合ったりできたことは、非常に良かったとおっしゃっていました。一味違った『絆』を持てたということなのでしょう。

現在の明治高校の書道の先生である大迫先生は、東扇先生が明治大学非常勤講師のときに出会ったのが、書道を志すきっかけになったそうで、当時は演劇少女だったとか。まさに、合縁奇縁ですね。

東扇先生は怖い先生と思われている先輩方には、信じがたいかもしれませんが、家では子どもを叱らない父親だったそうで、厚人氏も怒られた記憶は生涯1回だけだそうです。それゆえ、今の自分も学生などを叱れず、これが最大の欠点かもしれないとおっしゃっていました。

そして、厚人氏が「ゆくゆくは2代目『東扇』を襲名したい」とおっしゃっていたことがとても印象的でした。

昭和59年卒 佐藤昌彦

羽田 圭介



明治高校在学中に小説家デビューし、数々の小説を執筆、芥川賞候補になるなど活躍中の羽田圭介氏に、明大明治について語ってもらった。

『画にならない生活の中で』

平成16年卒 羽田 圭介

も男に関してそういうものは当てはまらない。男子校か共学校かは、プラスでもマイナスでもない。

明大明治という学校が最良である由縁はどこにあるか？

良い仲間たちと共に育つ。それに尽きると思う。

自分たちが育った環境こそ最良であつたと人は語りたがりがちで、男子校であつた頃の明大明治高校・中学こそが最良であつた、と僕も思ったりしていた。男子校で育つたからこそ個性を身につけることができた、と。しかし社会に出て色々な人たちと出会つても、男子校出身者のカラー・個性というものを誰に対しても感じることはない。10年間女子中高・大漬けだったという女性などからは時折、独自の個性を感じることもあるが、それだつてごくたまにであり、少なくとも

受け継がれている校風の存在は無視できないだろう。

厳しい(らしい)大学受験を乗り越えていないというマイナスはあるのかもしれない。それでもなお、大学受験に時間をとられない、というプラスは大きい。そのおかげで僕は高校2〜3年時、小説を執筆して応募する時間を確保できた。多感な時期に自分の道を見つけられるというプラスがあつた。少なくとも日本の社会では25才を過ぎてもなお自分の理想を探したり求め続けたりするのは非常に困難で、社会的自我の生まれる16才頃から24才頃までには人生の大枠を決め、アクションを起こしある程度地盤を固めなければならぬ。長いようでいて短い。貴重

Profile

1985年10月19日 東京都生まれ
明治大学付属明治高校在学中の2003年に「黒冷水」で第40回文藝賞を史上最年少17才で受賞。
『走ル』で第139回、『ミート・ザ・ビート』で第142回芥川賞候補



『黒冷水』
河出書房新社 2003/11刊



『御不浄バトル』
集英社 2010/7刊



『ワタクシハ』
講談社 2011/1刊

な時間をそれに充てられることができたのは自分にとって幸運だったといえる。

当時の校舎が神田書店街や楽器店街に近く、文化的素養を磨きやすかったというプラスも大きいだろう。ネットで何でも買える時代になって久しいが、消費することにすら身体性が欠如すると思

考の多様性は生まれない。そこから逃れ
独自性の核を形成
してゆけたという点
において、あの立地
環境は素晴らしかつ
た。今振り返るとど
うやりくりしていた
のかまったくわから

ないが、月3000円ほどの小遣いで、放課後に友人たちとマクドナルドで馬鹿話をしたり、好きな本やCDを買ったり、埼玉の実家に帰宅しては自転車選手を目指し江戸川で1日40キロほどロードレーサーで走るといふ勝手気ままな暮らしを送っていた。厳しい受験勉強や部活動にうちこむ、という画に描いたようなアツい学生生活とは無縁で、悠々自適という語がもつともしっくりくるほどだったが、そんな当時の生活はすべて現在の小説家という仕事の糧になっている。

調布の新校舎へ足を運ぶと、その広い敷地に驚く。満足に体力測定を行うスペースすらなかった旧校舎とは違い、あらゆる

スポーツを同時並行で行うことができるグラウンド。人と会うにも適当に見当をつけて歩き回っていれば捜し当てられた旧校舎と違い、校内放送でも使わないと目当ての人には会えないというほど広い新校舎。そして数割の女子生徒。一見すると全く旧校舎の面影のない新・明大明治。

しかし教員室内の雰囲気だけは、昔と
なんら変わらない。強烈に、明大明治の匂いを感じた。教育を施す側の方々は、伝統を受け継ぎこれまでと同じように明高生たちを育て上げようとしている。
変わった環境と、変わらない校風。調布時代に入った明大明治で、どんな仲間たちが育つてゆくのか。非常に興味がある。



昭和59年卒の生徒達と



「明心会頑張れ」

体育科教諭 小西 哲男

昭和58年春、熊本・鹿児島・長崎を巡った観光バスは、周囲の車が驚くほど、心をひとつにしたクラス仲間の歌声で縦横に大きく揺れていました。明治高校生最後の思い出として、5泊6日におよぶ修学旅行、観光地・宿舎・車中・仲間との交流等のいろいろな場面が錯綜し、感極まり目を潤ませていた純真な生徒が何人もいたことを今でも覚えています。

そのような学年が、今年度幹事学年の明心会の諸君です。

私は、昭和50年明治中学校・高等学校に奉職し、20年ぶりの体育科新任教

員と言う事で、PTA新聞には「待望久しき体育科教員」と写真入りで紹介をして頂きました。私の37年におよぶ教員人生で君達は、唯一、6年間のうち中学2・3年生、高校Ⅱ・Ⅲ年生と4年間学級担任を受け持った卒業生たちです。当時を振り返ると、まだまだ世間知らずで、生徒以上に血気盛んだった私が中学・高校6年間のうち4年間も授業・担任を受持ち、君達の人生にどのような影響を与えたか、単純に計ることが出来ませんが、良かったのかどうか、原稿の執筆依頼を受け自問自答してしまいます。勉強優秀・品

行方正な生徒、勉強は出来たが行動評価「可」の生徒、勉強に意欲がなくいつも怒られていた生徒、卒業して何年も経つのに、今でも気になる忘れられない生徒が何名もいます。

11月の総会では、46才を迎え、それぞれが社会人として、家庭を持つ良き父として、元気で頑張っている姿を見ることが出来るのではと、楽しみにしています。

原稿を書くにあたり、会報委員長の田中重幸より当時の思い出になるようなものがあるかもしれませんかと問いかけられました。私が、今でも大切にしている、ノートと文集があります。それは、昭和55年度卒業に際する中学3年B組一同から戴いたノートと、田村晴彦先生から戴いた当時の中学2・3年生が書いた「結婚おめでとう」の文集です。私は、君達が中学3年生の夏、故郷の京都で結婚式を挙げました。文

集は田村先生の手作りの原稿用紙に、一字一句ものすごく丁寧に書かれています。当時の本校生徒の優秀さや知ることができるとともに、良き学校の雰囲気を感じ出させてくれます。内容は、結婚のお祝いの言葉だけでなく、授業を受持っていた学年団の先生方や学校の様子なども書かれていて、当時の御茶ノ水校舎・男子校の良さや懐かしさがこみ上げてきます。

文集には、「結婚おめでとう」ございます。先生の好みの女性を考えると、目がパッチリ、髪の毛ふさふさ、性質は陽気、簡単に言えば先生と逆の人」(大山)

卒業ノートでは、「1年間迷惑ばかりかけました。立派な人間になれるよう努力したいと思います。」(工藤)

君達のような、純朴で素直、何事にも真摯に取り組む「質実剛健」「独立自治」の気風を持った生徒が、共学化

した調布校舎の次世代に、確実に受け継がれていることを確信するとともに、幹事学年・明心会諸君のますますの発展を祈念しています。



若き日の小西先生。昭和59年卒の卒業アルバムより



右から田中徹太郎先生、高島、大山、藤原、生井、高橋(昭和58年先生の家に撮影)



「生徒との絆」

実行委員長大山輝芳君は、私が硬式野球部監督を務めた最後の主将であった。私は、その年の夏の大会を最後として監督から身をひく事になっていた。

当時は、授業が終了するとH.R.の清掃点検をし、高速道路を車でとばしつつけ丘球場に行く毎日であった。夜八時頃まで練習をし、居残り練習を手伝うと十時近くにグラウンドを出る日々である。金属バットが許可され、野球の質が劇的に変化し始めた頃。我がチームは打撃力に長けており、クリーンナップの

社会科教諭 田中 徹太郎

永光、増田の長打力は魅力的であった。打撃練習を増やし、その特性をいかそうとした、とは言え、守備は要。ノックは選手との対話。ノックをするとその生徒の性格がよくわかる。特に大山、高島、藤原は元気があり、辛くなればなる程ガッツが出てくる明高特有の男子校の気風を有していた。夏の大会で日大豊山高校に勝利し、ベスト8をかけて早稲田実業高校と神宮球場での戦い。舞台は全て整っていた。前日の練習後、三年生が私に最後の戦いなので三年生で戦わせて欲しいと言いにきた。

何人かのレギュラーは、Ⅱ年生であった。私は、18才より中学野球部の監督を務め、その年まで、ほとんどの時間をユニフォームで過ごしていた。私は、校長が選任任命した初めての監督であった。この為大学野球部、OB会との関係は微妙な位置にあり顧問も公式戦のみに顔を出すのみ――。

私は孤立した状況であった。その為結果を出したかった。毎年勝負に徹し、温情はあまりはさまない。彼らを大切な所で使う事とした。ゲームは終わった。スポーツ紙は、翌日興味本位の記事を組んだ。選手は最善の務めをした。敗戦は、監督である私の責任である。

明治のユニフォームを脱いだその日の夜、自宅のインターフォンが鳴った。投手の高橋であった。彼は、Ⅰ、Ⅱ年生の時バッテリーングピッ

チャーを務めチームの土台を支えた男であった。私は、この生徒で最後を終わろうと思っていた。高橋を早実戦で最後まで使った。

「監督。男の気持ちです。」と差し出されたのは缶ビール2本であった。高橋の感謝の気持ちであった。

生涯の中で最も素晴らしい贈り物の一つである。――高橋は、多くを語らず帰っていった。

私は、翌日校長に辞表を提出し、野球の舞台から去った。充実した気分であった。

今、私は、大山達に教えた事をサッカー部を創部し、同じ事を教えている。現場にいると生徒の成長の分岐点がわかる。そのときにかける指導者の言葉は、その人の生涯を左右する。今でもあの時の決断は間違っていないかったと思う。明治の生徒は今も昔も最高である。



若き日の田中先生。昭和59年卒の卒業アルバムより

明高ルーツ!

今年創立99年目の明治高校・中学のいろいろな出来事を、
高校・大学に保管されている資料や明高新聞などから、ピックアップ。

明治中学誕生

明治大学は明治44年に創立30周年を迎えた。この年には飛躍的な発展を遂げ旧小松宮邸跡地、現在の駿河台に新校舎を建設して現在の礎を築くことになる。そしてこの移転地に明治45年4月に旧制明治中学がこの世に誕生したのである。校舎は、大学の敷地内に木造3階建ての校舎が建てられた。



火災にあった駿河台校舎



関東大震災で焼けた校舎

大正9年1月13日、駿河台校舎が二度目の火災にあった。このことにより、予定されていた猿樂町移転(お茶の水旧校舎)がはやり、大正11年3月鉄筋コンクリート4階建てで外壁は煉瓦貼りで、当時、東京中で最も高くモダンな校舎が完成した。しかし、翌年大正12年9月、関東大震災によって内部が全焼してしまった。この間、鶴沢校長が、懇意にしていた麻布中学校の校長に頼み、同校の校舎の一部を借り授業を再開したのである。



大正15年12月25日
天皇が崩御された。
教員2名と生徒代表
5名が皇居前で御礼
霊板お見送りした。
年号もただちに昭和
に改元された。昭和
時代の幕開けである。

昭和6年春、明治中学に野球部が誕生。そして、田無に、野球他のスポーツの行える広いグラウンドができた。休憩所・合宿所も付設していたそうだ。今や当時のグラウンドを知る人はいない。

旧制明治中学校当時、剣道部・庭球部・蹴球部・籠球部・山岳会・雑誌部・美術部の7部1会有り、このうち競技部の活躍は目覚ましく、大正15年5月29日、第3回都下中学校競技大会において優勝した。



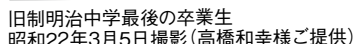
航空グライダー部創立

昭和12年3月、本校に航空グライダー部が創設された。後に2人の航空部の生徒が戦果を挙げて戦死されたそうだ。

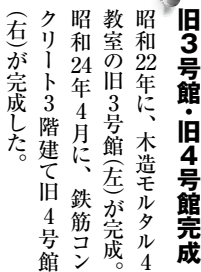


昭和11年2月、鉄筋コンクリート3階建、1階は銃器庫、2階は剣道場、3階は雨天体操場、屋上は土盛りして園芸場という全容で旧2号館が完成した。

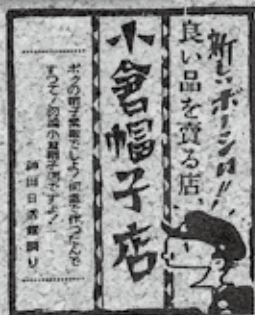
昭和23年4月、六・三・三制実施に伴い、本校も学制改革によって新制高校が発足した。明治高校の誕生である。



昭和20年3月、戦時特例により、第5学生とともに、第4学生も繰り上げ卒業した。この特例は、昭和21年3月にも実施されたが、同時に5学年制も旧に復し、4学年で卒業を選択した者と、第5学年への進級を選んだ者とに別れた。



旧3号館・旧4号館完成



第1号(昭和24年11月)

起草委員会から精成へ

明治學生徒會誕生す

今後の活動に期待

明治高等学校校生徒会が誕生した。生徒協議会の下には常任班として放送班、新聞班、図書班、衛生班などが組織された。

第2号(昭和24年11月)

第4回国民体育大会(国体)の高校硬式野球大会にて、明治高校硬式野球部が晴れの東京代表として出場、決勝戦まで進む快挙を成し遂げた。静岡代表城内高校と対戦し2対1で惜敗。明高のバッテリーは、大崎 滝沢。この後、明治高校硬式野球部は昭和25年春夏、26年春夏、28年夏、33年春夏、40年春と甲子園出場を果たし黄金期を飾ることとなった。

健闘の明高式種野球部

決勝で惜敗す

—國體高校野球戰—



第3号(昭和24年12月)

辨當早食いが流行？

井筒の早急は高殺虫に、その
にそうだが、國高においても最近
にはやはりである、あるクラスに
ついて最近五日間にわたり連続
に稲間調査したところ、次の要
な結果を得た

計三名 ○・八％
二階閣と三階閣との中間外
計八名 三・三％
三階閣と四階閣との中間外
計十一名 四・二％
計五九名 九一・七％

そういえば日澤君がいつも早弁して
いたことを思い出す。

文化祭開かる

各方面に多彩な催し

初の生徒会主催による文化祭が開催された。結成後、二月月にも開催された。結成後、二月月にも開催された。結成後、二月月にも開催された。



明高ルーツ!

第42号(昭和29年6月)

ひばり獨唱会開く

益金は本校PTAへ

当時中学2年生に在学していた加藤益夫氏の姉である美空ひばりさんが、明治大学記念館講堂にて「美空ひばり獨唱会」を催し、その益金を本校PTAに寄付したとのこと。

母も美空ひばりと同じ昭和12年生まれであり大ファンである。



警視庁より表彰さる

認められた風紀班の功績

風紀班々長の山田博君(高三)以下42名が、警視庁において青少年保護育成運動にちなみ、青少年不良防止に功績のあった者として表彰された。ちなみに、風紀班は後に教育宣伝班と名称を変える。

第29号(昭和27年7月)

賣店は高い

生徒間に非難の聲

当時明高売店の品物が一般の文房具店の品物より値段が高めであり、一般より安く売るのが当然であるという生徒の意見があった。神田の三文房具店と売店の価格比較がこれだ。英語ノートは、本校売店は20円、一般店が15円。消しゴムは本校売店は5円、一般店が4円。当時の物価がわかる。

第30号(昭和27年9月)

來年度は模範校に

キャンパス管理人員語る

林間学校、臨海学校が生徒会主催で新しい試みとしてスタートした。林間学校は御殿場に5泊6日、臨海学校は鴨川に3泊4日。スイカ割り、



キャンプファイヤー、ハイキングを楽しんだ。また、キャンパス管理人員に好印象を与え、來年は模範校にしたいという朗報が伝えられた。

林間学校といえは南志賀寮での夏季補講合宿を思い出す。本当によく勉強した?!

第37号(昭和28年7月)

企画・運営は學校に移任

夏季臨海學校館山開催



この年の臨海学校は、完成したばかりの館山臨海寮を使用。しかし、今まで生徒主導だった臨海学校の運営が、今年から学校主導で行うことになり生徒からは不満の声も・・・。

第39号(昭和28年11月)

フエンシング団体優勝す

第八回國民体育大會



フエンシング同好会が、昭和28年第8回國民体育大會で初の団体優勝を果たした。その後昭和56年に廃部するまで、國民体育大會団体優勝1回、関東大会優勝2回、総体個人優勝1

回など輝かしい成績を残した。

明中新聞第3号(昭和30年9月)吉田茂のバカヤロ!解散の風刺



第43号(昭和29年6月)

五日制か六日制か

当分現状でゆく

当時、5日制か6日制か、職員会議などで議論されていた。結果、当分の間5日制を続けることに決まった。5日制は、当時としてはかなり進歩的な制度だったようだ。

第44号(昭和29年7月)

駿台明高会が結成す

会長に 柴山弘先輩

明大在学の明高卒業生によつて、駿台明高会が結成された。戦前に、駿台明中会があつたがいつの間にか無くなり、この年に駿台明高会が結成された。先輩が新入生の指導に当たるといった趣旨の会で、戦前、他に明中卒業で慶応に進んだ者の慶応明中会、又早稲田明中会もあった。

第46号(昭和29年11月)

高校も木曜は七時間

来年度から実施の予定

昭和30年度より高校も中学と同様、木曜日に授業を1時間追加して7時間授業にし、授業時間を同じにするようにした。

第49号(昭和30年3月)

三迫先輩 東洋フライ級タイトルを獲得



東洋フライ級タイトル・マッチ12回戦に、本校出身の三迫仁志さんが比国のタニー・カンボと対戦。堂々と対戦。判定で破り東洋フライ級の王座を獲得。三迫氏は、当時明大商科3年生、明高在学中に、新人王戦に出場し殊勲賞を獲得した。

第50号(昭和30年5月)

文句なしの優勝

柔道部東京一となる

柔道部が北高、早稲田、都立城北、都立大附工を連破し、名実共に東京一となった。

第54号(昭和30年11月)

映画出演を断念！

学生本来の立場を示す



当時高ⅢA五木田武信さん(芸名：笠原建司)は、東宝映画「獣人雪男」に雪男探検隊員として主演、東宝ティーンエンジャーズとして何万人に一人という幸運のスター街道を歩んでいた。しかし、最大の目標は明大卒業であり学業が優先だと語ったそうだ。明高にも俳優がいた！

第54号(昭和30年11月)

鶴沢総明先生逝去

老後心臓マヒのため



本校創立者鶴沢総明先生(当時明治大学総長)が、昭和30年10月21日に享年84才にて逝去された。

第69号(昭和32年9月)

秋の二大行事

五日間の学校祭

生徒会が学校祭を1週間行うことを請願し、学校当局はこれを承認。内容は展覧会と体育会。水曜日から日曜日まで開催された学校祭、さぞかし楽しかったことだろう。



丸山先生訪問記



丸山先生若い！！

明高ルーツ!

第69号(昭和32年9月)

お茶の水で人命を救助す

本校 J R C 団員

神田川に飛び込み自殺を図った婦人を助出したお巡りさんが人口呼吸法を知らずに困っていたところを、通りかかったJRC団員5名が人工呼吸を行い、婦人は一命を取りとめた。5名は、名も言わず立ち去った。なんとも心温まるエピソード。

第78号(昭和34年5月)

昭和34年4月4日3号館が完成した。地上4階地下1階の当時としては近代的校舎だ。現在校舎の色はグレーだが、当初は空色だった。

我々も中学校舎として使用した3号館、暗い廊下、重い扉が懐かしい。



第81号(昭和34年11月)

高木先生日展に入選

高木東扇先生が、日展書道の部に入選された。その後、昭和58年まで入選23回、特選1回を果たすという快挙を成し遂げた。

第88号(昭和36年3月)

二高廃校となる

所得倍増のため?

二高とは、夜間部のこと。戦前からこの年まで、1号館に存在していた。所得の増加などといった時代背景とともに二高は姿を消した。ちなみに二高では西山先生が教壇にお立ちになっていたそう。

第88号(昭和36年3月)

教員室に

ベビーブーム

赤松先生に、1月14日女のお子さんが生まれた、名前を「みどりちゃん。ターザンこと水落先生も昨年12月29日に「いづみちゃん」という女のお子さんが生まれた。



赤松先生の娘さん



水落先生の娘さん

第90号(昭和36年7月)

服装規正改正さる

スリッパは年別色分けに黒靴ならヒモの有無を問わず許可

一部を掲げてみると「頭髮は従来通りで、慎太郎刈、G I カット、リーゼントは認めない」「上履きは3色の学年別のスリッパを売店から売り出す予定である。」ちなみに、上履きの色分けは盗難防止の効果を狙ったことだそう。



相づくオートバイ事故

乗リ物通学禁止を真綿第一中学校
当時は、オートバイ通学が事実上野放しとなっていた。戦前は徒歩通学が主流だったようで、通学手段もその時代を反映している。



オートバイ通学はやめよう





5月8日、赤十字百周年記念大会において本校の松枝先生が、赤十字功労者として、日赤名誉総裁の皇后陛下から表彰状を授与された。毎年夏休みに行われるトレーニング・センターの指導主任や、赤十字高等学校運営委員といった赤十字関係の仕事をする13年間担当され、この日の表彰となったものである。

学年 十周年
赤十字
松枝先生
表彰される

第99号(昭和38年5月)



昭和34年に長髪が解禁となり、明高生にもオシャレという感覚が広まってきた時代。「髪のカッコウが乱れるので帽子をかぶらない。」無帽が取り締まりの対象になったのもこの頃からだったろうか。

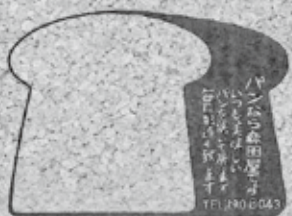
第95号(昭和37年5月)

この年の修学旅行は、東京オリンピックで混雑が予想されるため秋から春に繰り上げて行われた。



楽しかった修学旅行

第103号(昭和39年5月)



森田屋

おいしいパン

割引きデー実施さる
パン代値上げ

パンが値上げされる。これは、パンの材料が高騰したためである。パンの代金は、Aパン、Bパン、Cパンの3種類に分けられ、それぞれ異なる割引率がある。Aパンは、割引率50%、Bパンは、割引率30%、Cパンは、割引率10%である。パンの代金は、Aパン、Bパン、Cパンの3種類に分けられ、それぞれ異なる割引率がある。Aパンは、割引率50%、Bパンは、割引率30%、Cパンは、割引率10%である。

Aパン・Bパン・Cパン、もう一度食べたいなあ!

第101号(昭和39年4月)

この頃は、服装規制などの記事が目立つ。まだ夏服が統一される前であり、袖口が切れたもの、模様が入ったシャツは取り締まりの対象となっていた。そういうえば、高校の入学式で真っ赤なシャツを没収された輩がいたの思い出す。

ホンコンシャツ

禁止になる

第103号(昭和39年5月)



宝のもちくされの中学校舎

学校に天文台(昭和38年完成)があったことを知っていますか? 東京の空はスモッグが多く、使用できる日が限定されたい。調布校舎に移設すれば星々が観測できたかもしれませんね。

第105号(昭和40年2月)

この年、東京オリンピックの見学が授業の一環として行われた。また、聖火リレーの随走者として5名が明治高校から参加した。

東京オリンピック

見学者は抽選で

第104号(昭和39年10月)

明高ルーツ!

完成近し 技術科
実習教室

私立でもまれな存在
技術科で必要とする器具はほとんど揃うという、当時の私立としては珍しい教室が完成した。当時は吉田貞男先生が技術科担当だった。

第106号(昭和40年5月)

七年ぶりの出場
毎日つしえ丘へ

時間的不利を克服

硬式野球部が通算7度目の甲子園出場を果たしたした。



第108号(昭和40年10月)

一流吹奏楽に成長

都コンクールで二位
吹奏楽班

今や名門といえる明治高校中学校吹奏楽班は昭和33年に創設、そしてこの年東京都高等学校吹奏楽コンクールで二位となり、昭和56年には全国大会銀賞という快挙を成し遂げた。

現在の吹奏楽班の礎を築いた時代ではないだろうか。

第122号(昭和43年11月)

家中君(前金)が点火

夏組 劇的な逆転優勝

無念の春組

昔の体育祭に聖火台があったとは！
夏組、春組懐かしい。



第117号(昭和42年10月)

統一テーマ明治百年に

文化祭
今年から紫紺祭に

この年から、文化祭の呼称が「紫紺祭」になった。

深夜放送

当時3Rと言えば、

「ラジオ、レコード、レボリューション」。
オールナイトニッポン、バッククインミュージック、ミッドナイトがよく聴かれていたようだ。
ビバーヤング、バヤバヤッ

第120号(昭和43年3月)

団体総合で初優勝

出場者同様に二位に



この年2月24・25日の両日にかけて東京高等学校スキー大会が、新潟県の石打後楽園スキー場にて行われ、本校のスキー部は団体総合で初優勝した。

第123号(昭和44年1月)

初の試み露店

文化祭
放送設備に欠点がある

この年21回目の紫紺祭では、バザー、古本、金魚すくい、カルメ焼き、バナナ売、ヨーヨーなどの露天が初めて登場した。



昭和45年頃の校舎

第125号(昭和44年6月)



高橋先生



田村先生



小田嶋先生

懐かしい先生方は、この年就任された。

第132号(昭和46年6月)

夏服改正

消えた駅員服

昭和41年に統一された夏服(グレーの開襟シャツ)が改正され、白の半袖シャツとなった。グレーの開襟シャツは、よく駅員さんと間違えられたらしい。

第139号(昭和48年12月)

荒川君、全国

制覇を成す

第12回英語弁論大会

全国高等学校英語弁論大会で、高II B組の荒川明良さんが第一位となった。

第139号(昭和48年12月)

婦人車廃止



昭和22年から続いた「婦人子供専用車」が廃止され、この年の敬老の日に中央線快速内に「シルバーシート」がもつけられた。「婦人子供専用車」は当初、ラブレターの受け渡し禁止の目的も合わせて導入されたこと。この辺りは明高生にはあまり関係はなさそうだが・・・

第142号(昭和49年11月)

坊主開放は努力の結晶

長い間、多くの努力によって、ようやく開放されたのである。

昭和34年に高校生が、そしてこの年、中学生の髪型が自由化になり、坊主から解放された。そういえば、当時はまだ坊主姿の中学生をよく見かけた。今では懐かしい風景だ。



昭和45年卒の卒業アルバムより

明高ルーツ

第142号 昭和49年11月

近江先生結婚
奥さんは大学の後輩



第156号(昭和57年9月)

小西先生御結婚

去る七月二十三日、保健科教師
小西昭雄先生が、京都府でめでたく
御結婚された。奥さんになられた
方は、先生の同僚、京都府立高
中を短期あいになった、(白眉
中) 豊子さん、二十五歳。夏
休みに利用しての新旅行は、カ
ナダアン・ロアキーへ、この九
月二日、十八歳になられた先生
は、「結婚後の生活は？」とい
う質問に、「今まで食ばかりだ
ったので、これから(奥さんの
つくろ)食事が楽しみです」と前
いふ笑顔で答えて、「ニニコロ
喜んでました。」

ご結婚を機にやさしくなったなあ！

第156号(昭和57年9月)

ありがとう
☆用務 島 信男さん



シマさんを覚えて
いるだろうか。ここ
でクイズ
Q・シマさんが明高
中生に望むことは？
A...もつと物を大切にして欲しい
思い出しましたか？ そうです用務の
シマさんです。ロッカーのカギを切斷
らったりしていませんか？

第159号(昭和57年3月)

明高七十年をたどる

その足跡を振り返って

偉大なる鶴沢先生

この年明治高等学校は創立70周
年を迎え、記念映画・鶴沢総明先
生の胸像の除幕式・記念式典な
どの記念事業が営まれた。

第160号(昭和57年7月)

第三十五期会長決定

七十周年の会長は北川君に
今年の幹事学年の生徒会長です。

生徒会長 高1 高1 高1	愛二郎 平野一哉 原田正記 石井章 高沢誠司 永藤守 新井秀治	649票 431票 463票 374票 638票 312票 220票
------------------	---	--

第158号(昭和56年6月)

無敵!! バドミントン部

渋谷君健闘!!

5月10日に行われたバド
ミントンの東京総合大会
が駒沢第一体育館で行
われ、当時高ⅢE組の渋
谷実さんが第3位に入
賞した。昨年は優勝して
いるだけに残念だ。

第161号(昭和57年12月)

☆樋山正士先生

獣医学博士に☆

理科の教壇を執られている
られている樋山先生が、昭和
57年7月12日付けで獣医学
博士の位をとられた。専攻
は獣医寄生虫学で、「実験
小動物におけるジアルジ
ア風原虫についての研究」と
いう論部によって、日本獣医
学畜産大学よりこの学位を
授けられた。



生徒会長の 話
田中宏昌君

来年の幹事学年
実行委員長見つ
けた!!
第163号(昭和58
年10月)より



昭和58年頃の校舎

カリキュラムの改正

平成元年の高等学校学習指導要領の改正を受けて、平成6年度の高校1年生より新しいカリキュラムが導入された。新しいカリキュラムでは、高校3年で文系・理系のコース制や自主選択講座、高校1年で家庭科の必修や芸術の選択制などが導入されたのが大きな特徴であった。

九十周年記念式典開催

平成14年11月12日二号館講堂において九十周年式典が開催された。



制帽の自由化

平成元年9月、帽子改訂規定が改正され、自由化された。この時期、他の私立高校が制服を一新して、イメージアップを図っているという新しい動きが見られるようになった。



制帽の自由化は、数年来、生徒から要望されてきたことであった。

校舎移転と共学化

校地が狭隘で、校舎の老朽化等により付属校の特性を活かした教育展開が困難な状況となっていたこと。それに加えて、中学・高校の多感な時期に、女性と男性が互いの価値観を認め合いながら協力し合って生きていくことの意義を学ぶことがたいへん重要なことであるとして男女共学化を決定し、2008年(平成20年)4月、調布校地に移転した。



初の女子生徒が卒業した平成23年卒の集合写真。

文中参考資料並びに写真は、明治大学資料センター所蔵の明治高校史「60年のあゆみ」・「明治大学付属明治中学校高等学校90年の歩み」・明治高校所蔵の「過程」・明治高校新聞」より引用させていただきました。

編集：昭和59年卒 田中重幸



調布新校舎



旧制明治中学校最後の卒業生

今から65年前、戦後最初の卒業生であり、旧制明治中学校最後の卒業生が輩出された。その一人である昭和21年卒午巳の会の斉藤久也氏が同期と共に文集を制作しているとの情報を聞き、お話を伺った。

終戦直後、動員などから帰省した彼らを待っていたのは、戦火から逃れた校舎（1号館）であった。瓦礫の中にそびえ

立つ迷彩色に塗装された鉄筋コンクリート造りの校舎が当時の新聞の一面に戦後の象徴として掲載されたそうである。

ところで、旧制中学校は5年制であり、昭和17年入学の彼らが5年次で卒業を迎えるのは昭和22年3月であった。

ところが約3分の2の生徒が昭和21年3月をもって繰上卒業をしている。6・3・3の新しい学制への移行を急ぐ当時の文部省は旧制中学生

上：昭和21年卒「午巳の会」斉藤 久也さん
下：制作した文集。取材にも時間をかけた丁寧な作りである。

に4年次での修了を認めそれを推した。そして多くの4年生は新しい時代へ向けて卒業（進学）を選んだ。しかし、卒業式も卒業証書もなく（後に卒業証書は届いたが）卒業した彼らは学校から放り

出されたという形になり、校歌「帝都の真中」とともに「明治中学校へは、幕を閉じたのだ」という感を抱いた者が少なくなかったという。また、5年生へ進級した者は、自分たちで手作りの卒業式を行い旧制明治中学校最後の卒業生であるほこりを胸に在校生に拍手で送り出されたという。

戦中の軍事訓練、クラス応援歌、そして特異な卒業の体験など、現在でも同期で集まれば当時の思い出話に尽きることがないという。これを青春の記録として残すことはできないか、そんな同期皆の思いから文集作りを始めたという。斉藤氏のお話の中に、初代の鶴沢校長から「高く志を持って教えられた」という言葉があった。このような時代の波に翻弄されながらも志を持ち戦後日本の礎を築き、そして、明治高校・中学の伝統を支え続けた先輩方に感謝したい。

昭和59年卒 田中重幸

旧制明治中学校校歌

『帝都の真中』が生まれるまで

昭和54年卒 明誠会 玉置 孝一

平成18年5月。

明治大学史資料センターで偶然2枚の絵葉書を発見する。

色鮮やかな絵葉書の内容は「明治中学校校歌」制定記念絵葉書。

私はこの絵葉書を見ながら「帝都の真中」の誕生を知りたいと思った。

時代は先の大戦前、大正時代にタイムスリップする。

二つのメロディーを 持つ校歌

旧制明治中学校校歌「帝都の真中」は二つのメロディーを持つ校歌として知られている。校歌制定時期は定かではないが、明治大学の校歌が大正九年に制定されているので、これより後と考えられる。大正7年に発令された大学令により専門学校から『大学』に格上げされた学校は他校との差別化を図るためこの時期に校章や制服を制定し始める。この一環として多くの学校が校歌を制定する。

当時、旧制明治中学校は大学構内にあった。当然のことながら生徒たちは「白雲なびく・・・」を耳にしていたと思う。中学校にも校歌が欲しい、生徒も教師もそう感じていたのではないだろうか。

誤って掲載された 作詞者の名前の謎

「帝都の真中」の作詞者は本校教師の中村孝也先生との紹介が明治高校60年史に書かれているが、これは誤りで真の作詞者は武島羽衣氏である。武島氏は文部省唱歌編纂委員も担当していて、その後も中等唱歌の編纂にも関わるなど日本の音楽教育の黎明期に活躍した詩人、作詞家である。彼の作品の中で私たちが最もよく知る曲は滝廉太郎作曲の「花」であろう。隅田川の情景を歌ったこの曲はいまでも多くの人に愛唱されている。一方、作曲者は武島氏と同じく文部省唱歌編纂委員のひとりである。弘前出身の音楽家、楠見恩三郎氏である。平家琵琶伝承の家系に生まれオルガン奏者としても書を残している。この時代に鍵盤楽器を演奏でき

た日本人の多くはキリスト教信者が多く、讃美歌の影響をうけている。楠見氏は明治中学校をはじめ多くの学校の校歌を作曲している。「帝都の真中」は当時の音楽教育に深く関わっていた2人の作品である。

では、なぜ作詞者が本校教師であつた中村孝也氏ということになつたのか。先ず作曲者・楠見恩三郎氏と作詞者・武島羽衣氏の接点だが、明治末期に制作された小学校唱歌教科書編纂で作詞委員の中に武島又次郎（羽衣）氏、作曲委員の中に楠見恩三郎氏の名を見ることができ。当然ながら面識もあり唱歌制定の過程では様々な意見を交わした間柄と思われる。両氏とも東京音楽学校（現東京芸術大学）で教鞭を執ることになる教育者でもあつた。では中村孝也氏とこの2人の接点だが中村孝也氏と武島羽衣氏は日本女子大学でと

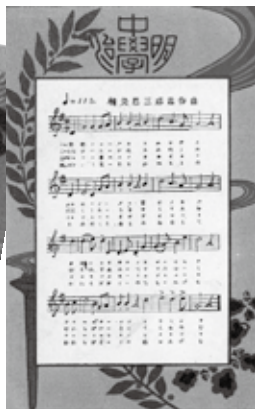
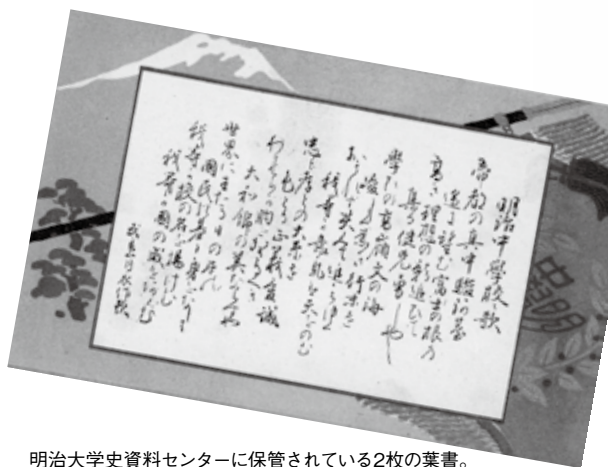
もに教鞭をとっている。武島羽衣氏は明治43年から中村孝也氏は大正8年から教壇にたっている。この後中村孝也氏は大正13年に帝国大学史料編纂掛に任命され明治中学校講師を辞めたということになっているが、

他校の講師はその後も長く勤めている。校歌制定にあたり学校側から相談を受けた中村孝也氏が日本女子大学講師として面識のあつた武島羽衣氏にこれを相談したのではないか。当時は校歌など一般に「歌」を作ることができたのは文部省―東京音楽学校といった音楽機関以外に考えられない。校歌制作に関わつたと思われる中村孝也氏―武島羽衣氏―楠見恩三郎氏が一本の線で繋がる。これらの年譜から「帝都の真中」の制定時期は大正9年以降大正13年が有力と思われる。その中でも猿樂町に校舎を移転した大正12年は校歌制定の

タイミングとしては最も有力と思われる。

数奇な運命に 翻弄された校歌

この仮説が正しければ大正12年に制定された初代「帝都の真中」はわずか4年後の昭和2年にメロディーを変えたことになる。理由は60年史によれば軍事教練の行進でも歌いやすいように変更したとある。また、改曲にあたり明治大学音楽部に依頼したとの記述があるが真相は不明である。校内にも改曲には反対意見もあつたようだが、事は軍事教練の行進のためとあれば改曲も仕方無しとなったのであろう。初代「帝都の真中」は校内行事の時にだけ歌われるようになるのだが、やがて改曲された校歌だけが歌われるようになり、



明治大学史資料センターに保管されている2枚の葉書。

初代の校歌は自然消滅した。初代「帝都の真中」のメロディーは童謡、唱歌を彷彿とさせる穏やかなメロディーで歌いやすい。これは明治大学校歌と対照的である。原曲の速度記号では4部音符＝112なのでやや快速なテンポで歌われていたと思われる。従って、このままでもテンポを上げて歌えば行進にも使えたはずである。改曲の本当の理由はこの穏やかで優しいメロディーが原因だったのではないだろうか。改曲された帝都の真中も戦後GHQの検閲で第4番の歌詞内容が覇権主義に繋がるとの理由で唱歌禁止になった。

こうして旧制明治中学校校歌「帝都の真中」は誕生から二十数年を経て終戦により終りを迎えた。誕生からわずか4年で改曲に至った「初代帝都の真中」は現在では総明会懇親会でも歌われることはない。後世に

名を残した著名な作詞者、作曲者によって誕生した校歌ゆえ残念に思う。この校歌制定を記念して2枚の絵葉書が作られている。戦禍を逃れたこの色鮮やかな絵葉書は現在、明治大学史資料センターに保管されている。数奇な運命に翻弄された校歌「帝都の真中」。生まれた時代が違っていればメロディーも変えられることなく、今でも多くの生徒たちに愛され歌い継がれたことであらう。歴史に埋もれたこの校歌を聴いてみたいと思いませんか？

「帝都の真中」の2つのメロディーを総明会のホームページで聞くことができます。是非一度お聞きください。以下のURLのサイトでお聞きいただけます。

<http://www.meiji.cside7.com/teito/>

特集
5

100周年に向かって

明治大学付属明治高等学校・中学校は、
2012年3月に創立100周年を迎えます。
様々な記念行事が、予定されているのでご紹介します。

創立100周年記念キャッチコピー&ロゴマーク 最優秀作品・優秀作品 発表

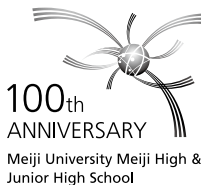
創立100周年記念キャッチコピー・ロゴマークを募集したところ、キャッチコピー部門には130作品・ロゴマーク部門には334作品の応募があり、選考委員会での厳正なる選考の結果、キャッチコピー部門は最優秀賞1作品・優秀賞が3作品、ロゴマーク部門は最優秀作品2作品・優秀作品が3作品に決定した(2010年12月24日発表)。

今後、いろいろなところを使用されるそうである、

【ロゴマーク】最優秀作品



板谷 優志
(平成23年卒)



島村 武史
(昭和59年卒)



右から林 沙樹さん、金子校長、板谷 優志君、島村 武史氏。

【キャッチコピー】最優秀作品

「100年続いた紫紺の思いを胸に、羽ばたけ新しい未来へ。」

中学3年(保護者)林 沙樹



学校の廊下の柱にロゴマークとキャッチコピーが、ラッピングされている。

主な創立100周年記念事業概要(予定)

1.「鶴澤総明教育振興・奨学金プログラム(仮称)」の創設

創立100周年記念事業募金による寄付金により、本校の新たな1世紀を見据えた教育振興及び奨学金プログラムを創設する。名称は、初代校長名を冠して「鶴澤総明教育振興・奨学金プログラム」とする。

2.生徒対象の記念教育事業

3.創立100周年記念教育・文化・スポーツ事業

4.学校史：創立100周年史の編纂・発行

5.創立100周年記念式典・祝賀会

6.創立100周年記念ホームカミングデー：総明会・白駿会・PTAとの共催



100周年記念ラッピングスクールバス お披露目会・運行開始

100周年創立記念キャッチコピーとロゴマークをあしらったスクールバスが、2011年9月1日(木)より、運行を開始することになった。それを記念してお披露目会が行われ、PTA副会長の小尾さん、白駿会副会長の加藤さん、総明会から尾島会長と吉田副会長、ロゴマークのデザインをした卒業生、京王電鉄バス株式会社の方々が招かれ、テープカットを行った。2台のラッピングバスが京王電鉄バス株式会社のご厚意で制作され、来年1年間、生徒達を送り迎えするそうである。



未来への絆 未来の明高生へ

「未来の明高生へ伝えたいこと」「未来の明高生へのエール」
「明高生の未来予想図」というテーマで、メッセージを、
いろいろな方から、ひと言ずついただきました

明高を出たときに、
明高の良さを感じています。

平成23年卒 堀江 桃子

“変わらずに生き残るために、
我々は変わらなければならない”
明治共同体の伝統を永遠に！

平成23年卒 三浦 直人

板竜飛騰

昭和54年卒 熊倉 章雄

我は我なり自然に生きよう

昭和21年卒 斉藤 久也

甲子園と一緒に校歌を歌おう！！

昭和59年卒 大山 輝芳

生涯一明治人

昭和56年卒 衛藤 雅一

質実剛健

昭和57年卒 小林 謙之

志はどこまでも高く、
明治の殻を打ち破れ！

昭和56年卒 蓬田 裕一

甲子園出場！！ 全国制覇！！

昭和56年卒 飯野 善明

『一所懸命』です。

「一生懸命」ではありません。
どんなことでも最善を尽くす。
努力を惜しまないこと。
そう良いことも悪いことにも
不断的努力をしよう。

昭和38年卒 三浦 昭生

「春風接人 秋霜自肅」

和やかな気持ちで他人には接し、
自分には厳しく

これからも明治魂で頑張ってください。

昭和55年卒 渡辺裕之

「権利自由」・「独立自治」

昭和47年卒 戸張 毅

大好きです。未来はまかせたそ！

昭和51年卒 岡本 雅仁

「明治に行って良かった。」と
生きている限り思えるためには
現役学生生活から始まるのです。
ぜひ楽しく深い思い出を作りましょう。

昭和50年卒 近藤 敏彦

一步進んで二歩下がる。
でも進んでから大丈夫

昭和59年卒 島村 武史

男坂って知っている？

昭和59年卒 中村 隆

生い立ち、言語、文化の違いを超える
人間味溢れた人間力で勝負だ！！

昭和58年卒 並木 功

行き詰ったら、斜め前へ進めばいい。
お先真っ暗でも空は青い。

昭和38年卒 高橋 正侑

自分の歩いた道は、
自分が一番良く知っている。

昭和59年卒 水沼 仁志

世界へ飛遊せよ。

昭和57年卒 田中 幹浩

Meijiの一員になって誇りを持っていこう。
仲間を信じて、何事にも投げ出さないで下さい。

昭和59年卒 水村 恒則

特集 未来へつなぐ絆 ～100周年に向かって

誠意・情熱・勇氣、そして前へ
昭和49年卒 大前 実之

いつか甲子園に行ける
学校になって下さい。
昭和56年卒 須藤 貢一

男は明治くらのめがちょうど良い
昭和56年卒 志村 和哉

流水不濁 忙人不老
昭和44年卒 関谷 芳久

明治、素晴らしい学校、素晴らしい環境、
明高らしく気合がはいった
高校生活を送りましょう。
昭和54年卒 岩田 茂

人生とは、つらい事の方が多いと思います。
でもそんな時は明高卒だという事を
思い出してください。

昭和59年卒 赤堀 康浩

一日一歩 三日で三歩 もう一歩
昭和59年卒 渡辺 憲一

明治の魂 仲間の和 大切に！！
昭和50年卒 桑崎 安弘

学生さんは就職してからが実力発揮
昭和27年卒 米山 耕右

君達には紫紺の血が
流れているので大丈夫！
昭和50年卒 山崎 秀樹

歴史と伝統の最も新しいページに
何を刻んでくれるか・・・。
心から期待して応援します。
昭和50年卒 後藤 勇三

**前進あるのみ！！
突進せよ、猪のごとく！！**
昭和56年卒 齊木 麻州男

**バカになれ。目の前のことを自らの
損得で考えるな。要領良く生きるな。**
昭和52年卒 大西 静士郎

**男子校時代の良さを残しつつ
新しい共学校にして下さい。**
平成23年卒 細川 桃子

**場所も人も新しく！！
新しい明治、前へ！！**
昭和51年卒 小林 祥悟

質実剛健「独立自治」が明治の校風だけど
「個」を磨き、主体性をもって自らの意見を
理路整然に述べ、謙虚である。
という明治高校生の気質を育てて欲しい。
昭和50年卒 三森 勲

七転び八起き
昭和59年卒 田中 重幸

伝統は進化するからこそ支持される。
仲間との「絆」こそ進化を支えるものです。
昭和59年卒 平野 一哉

強い個性と志を持て！！
昭和59年卒 藤川 雄司

時代が変わっても校歌、応援歌が我らの絆
昭和59年卒 岩井 孝之

魂の伝承
昭和57年卒 宮田 健

明治に入ったからには、
とことん明治を好きになって下さい。
平成23年卒 大塚 啓史

プレミアム大吟醸酒「男坂」 総明会会員限定販売申込書 FAX0259-87-3173



氏名		
お届け先 〒		
電話番号 FAX番号		
申込内容	720ml @2,000円/本	本
	1800ml @4,000円/本	本



厳しい時代ですが、
若き日を思い
一段一段上を向いて
歩こうではありませんか？
銘酒「男坂」



北雪

佐渡の酒

株式会社 北雪酒造(ほくせつしゅぞう)

所在地 〒952-0706 新潟県佐渡市徳和 2377番地2

TEL:0259-87-3105 FAX:0259-87-3173

北雪酒造さんから毎年、総明会会員の皆様限定でプレミアム大吟醸酒「男坂」の広告を頂いております。そのたび佐渡とのつながりを紹介するエピソードが書かれています。世間は狭いという言葉通り、私の母が佐渡出身で、なおかつ、親戚が佐渡にある酒蔵に嫁いだというつながりがあり、「絆」さえも感じてしまいます。また、北雪酒造さんは佐渡を代表する酒蔵の一つで、私自身北雪酒造さんの「鬼ごろし」のファンです。

佐渡には20回以上行っていますが、昨年初めて佐渡の旅館に泊まりました。旅館で頂いた料理は、いつもの佐渡で頂く刺身や焼き魚のみではなく、何もかもお酒の肴になってしまうものばかりでした。紅ズワイガニ、ヤリイカの煮付け、のど黒の煮付け等どれもこれもお酒がすすんでしまいます。それから忘れてはいけない甘いお米。美味しいお米があってこそその美味しいお酒ですので、佐渡にはその全てがそろっていると云えます。

皆様是非佐渡に行かれ、地のもの、北雪酒造さんのお酒を召し上がっていただきたいと思いますが、まずはその佐渡で育ったプレミアム大吟醸酒「男坂」をお試し下さい。今回も北雪酒造さんのご厚意により、総明会会員限定で通常価格の半額にてご提供して頂けます。皆様よろしくお願ひ致します。

◎この限定バージョンに注いだ魂とは ～北雪酒造様にお聞きしました～

今回、明治繁がりの縁で特別製作する酒に選んだ酒米は究極の「越淡麗」です。「越淡麗」は酒造好適米「五百万石」を父方に「山田錦」を母方に持ち、両者の特性を生み出す為に交配を重ね、育種選抜の早期の段階から醸造特性のみを重視し15年もの歳月を経て誕生しました。この新品種の酒造好適米を「朱鷺」の棲む「佐渡ヶ島」で蔵人自らが栽培し、その特性を十分把握し「極寒造り」で醸した「越淡麗」100%使用の大吟醸です。味にふくらみがあり、後口の切れの良さが特徴です。

お申込み頂く際は、本ページをコピーして、申込書にご記入の上、弊社までFAXにてお願い致します。尚、お支払いは商品到着の際に「商品代金+送料」の代金引換のみとなります。

お申込みから商品到着までおよそ10日間となります。何卒、ご了承頂たく、宜しくお願い申し上げます。

株式会社 北雪酒造

School Report

学校報告



第63回明治大学付属明治高等学校卒業証書授与式

平成23年3月10日(木)

昭和59年卒明心会 田中 重幸

また少し肌寒いが、晴天に恵まれた平成23年3月10日、第63回明治大学付属明治高等学校卒業証書授与式が、紫紺ホールにて行われた。本年度の卒業式は、卒業生282名(男子生徒218名、女子生徒64名)。そうである。今年は、初の女子生徒の卒業生、初のOGが誕生する記念すべき卒業式なのである。

来賓の入場の後、女子生徒を含む卒業生達が、少し緊張した面持ちで入場。その後ろには、高校1年生と2年生がすでに着席している。ホールを見回すと、もう完全な男女共学の学校なんだと、改めて認識したのであった。

歴史的な式典の始まりである。開会、

国歌斉唱、学事報告と進み、卒業証書授与では一人一人が名前を呼び上げられ元気に起立をして卒業の実感をかみしめている様子であった。賞状授与では、優等賞13名、3力年皆勤賞43名、3力年精勤賞41名、特別教育活動表彰2名、総明会賞4名、学校外団体からの表彰16名の名が呼び上げられた。

金子校長の式辞、明治大学長堀理事長、伊藤学長代理、宮下PTA会長からご祝辞を賜り、そして総明会の尾島会長のご祝辞では「自立すること、生きる力の大切さを説き、卒業生達はいよいよ新たな旅立ちへの期待と緊張感からか、真剣な顔つきへと変わって行く様子が見られた。

卒業生の答辞では、調布校舎への移転、インフルエンザで中止となった紫紺祭、中止になりかけた球技大会を開催するための生徒達の奔走した話、北海道への修学旅行などの思い出が語られた。

生徒も先生方も、校舎の移転、男女共学になり、女子生徒が入学してきたことで、授業をはじめ、班・部活動をも一変させた、手探りで激動の三年間だったのではないだろうか。

金子校長の式辞の中で、それを象徴するお話があった。今年の卒業生全員と校長室で雑談の時間を持ったそうである。その時の、ある女子生徒の一言が全てを物語っていたと。

「もつと普通に接してくれればいいのに・・・」。

これぞ男の中で過ごしコアな世界を築き上げてきた付属男子の有り様ではないかと苦労話を披露していた。



明治高等学校、今年までの卒業総数は15380名、旧制明治中学の卒業生を合わせると18612名もの卒業生を世に出しているそうである。来年は、創立100周年を迎える。新しいOG、OBが増えていくのが楽しみである。



吹奏楽班 第52回定期演奏会

平成23年1月30日(日)

昭和59年卒明心会 根津 光弘

昭和59年2月、高Ⅲ最後の定期演奏会に出演して以来、母校のプラスバンドの定期演奏会を鑑賞するのは、20数年ぶりのこととなった。

吹奏楽班第52回定期演奏会は、平



成23年1月30日(日)に昭和女子大の人見記念講堂で開催された。当日の天気は曇りで最高気温6℃の真冬日。人見記念講堂は一階席だけでも1400名を超える観客が入るが、開演10分前にはほぼ満席になった。

定刻13時30分に開演。第一部は、昨年のコンクールで演奏した喜歌劇「メリーウィドウ」セレクション等2曲、調和のある音色が非常に印象的だった。

第二部はポップス・ステージ。応援指導班による司会は毎年恒例となってお

り、今回も数々の笑いを繰り広げながら、徐々に会場は盛り上がり呈していった。演奏は、派手なステージ衣装を身にまとい、ダンスあり、歌ありと驚きの連続。特にAKB48に扮した男女構成グループが歌とダンスを披露し、会場はペンライトを持った観客がライブハウスのように盛り上がりつつあった。

第三部は、J・シュトラウスの「こもり」を始めに荘厳なクラシック3曲を披露した。芸術的な完成度はもちろんのこと、エンターテインメント性も兼ね備えた後輩たちの演奏とパフォーマンスに会場は鳴りやまめ拍手でいっぱいになった。

最後に、今年3月21日から吹奏楽班は、音楽の都ウィーンに演奏旅行に行くという報告があった。黄金のホールでの演奏会も音楽好きなウィーンの人々にきつと感銘を与えるだろう。

吹奏楽班 ウィーン楽友協会単独公演

平成23年3月23日(水)

昭和59年卒 明心会 島村 武史

2011年3月23日(水)ウィーン・フィルのニューイヤークンサートで有名な、ウィーン楽友協会ホール黄金の間で、吹奏楽班の単独演奏会が行われた。

3月11日、学校での練習中に東日本大震災が起こった。その日は、電車が動かず学校に泊まることになった。そして、震災後、登校ができず、満足に練習が出来ないまま現地にむかうこととなった。

演奏会は日本赤十字の協力で、急遽日本の震災復興のためのチャリティ演奏会となり、喪章をつけての演奏となった。

不安の中での演奏会は、現地の人

で満員となり、曲が終わるごとにしっかりとした拍手を受け、ラデツキー行進曲では手拍子で盛り上がり、最後は、満場の観客席からスタンディング・オベーションを受けた。

舞台から降りてきた生徒は、ほとんどの子が目に涙を浮かべていたそうである。演奏中に泣いてしまった生徒もいたそうだ。「二度と無いチャンスだから絶対行きたい。」この強



い思いを実現できたことが、心を1つにし、感動を与えたのだろう。

到着した翌日から練習、3日目に本番、次の日に観光。4泊6日の強行スケジュールは、すばらしい思い出に残る演奏旅行となったのである。さらにこのホールが数百年ぶりの改修後はじめての演奏が明治高校吹奏楽班という、ご褒美までついたのである。

マンドリン部 第52回定期演奏会

平成23年2月6日(日)

昭和59年卒 明心会 進士 年治

「♪ドーレミ、ファースラ♪」
「ちよつと、あんた達！ ちゃんとやりなさいよー！！」

オルガンを机代わりにした猿樂町校舎1号館4階の音楽室。レコードから流れてくる曲に合わせて、ひたすら右手

を上下運動させる極めて男子校的だった顧問丸山ミヨシ先生の音楽の授業を思い出しながら、今年のマンドリン部の定期演奏会を聴きにきました。

今年で52回を数える定期演奏会は、2月6日(日)、武蔵野市民文化会

館大ホールで開催されました。ホール前は午後一時の開場前から多くのお客さまが列を作り、巷間、学生としては他に類を見ない高いレベルを誇る、と言われるマンドリン部の演奏に期待する熱気に包まれていました。

プログラムは三部構成。マンドリンオリジナル曲のほか、「アルルの女」第2組曲「フアラン

ドル」やハンガリー舞曲第5番、威風堂々第1番など、クラシックのアレンジ曲を織り交ぜた多彩なプログラムでした。特に、歌劇「セビリアの理髪師」序曲は、『全国高等学校ギター・マンドリンフェスティバル』において「優秀賞」を受賞しただけに、その自信に満ち溢れた演奏はとても力強く、会場全体を圧倒するほど迫力に満ちたものでした。

特筆すべきは、同フェスティバルにおける「優秀賞」の受賞が今回で30年連続になったことです。毎年、部の運営や演奏で柱となる上級生が卒業し、メンバーの入れ替わりが余儀なくされる学生のクラブ活動にあつて、演奏レベルを何年にも亘って維持し向上させていくことは容易なことではありません。改めて、これまでの学生の弛まぬ努力と日頃の活動を支える多くの関係者のご支援に思いを馳せ、定期演奏会場を後にしました。



第1回「紫紺の下に」

平成23年2月13日(日)

昭和59年卒 明心会 田中 重幸

「第1回紫紺の下に」が紫紺ホールにて開催された。吹奏楽班によるポップスステージは、演奏もさる事ながら、振り付けも見事。女子生徒が入部して3年、52年の歴史に新しい形がすっかり根付いたのを見ることができた。

第二部の応援指導班女子班員によるチアリーディングステージ。赤・青・ピンクなど鮮やかな衣装に身を包んだフィリーズ(おてんば娘)の登場。男子生徒からの熱い声援が飛び、男女共学ならではの。中学生班員のかわい

い演技には会場が優しい笑顔で包まれた。学年別の演技の試みもあり、皆精一杯の演技を見せてくれた。

いよいよ第三部、男子班員の登場、「紫紺の歌」が始まると、何故か気持ちが高ぶる。応援歌から「学生歌」と続き、「明高節」では団長が、伝統の袴に下駄姿で登場、会場も一体となり盛り上がりを見せた。最後に「嵐の拍手」で見事な集大成を見せてくれた。昨年応援指導班は60周年を迎え、その伝統はしっかり受け継がれていることが確認できたステージだった。

そして、団長と3人の女子幹部が、創設3年のチアリーディングをひとつの力タチにして今年卒業していった。一から始めるという事は、いろいろな苦労と試行錯誤があったにちがいない。そして長年、応援指導班をご指導いただいた山田伸夫先生のご勇退も重なり、感慨深いステージとなった。



実験教室

平成23年2月20日(日)



2月20日第21回小学生のための理科実験講座が開催された。この実験教室は、応募倍率が5倍という大人気の催し物で年に2回開催されている。

娘も父親の出身校ということ、我家の生活の中に会報委員会の活動が浸透して「明治」に興味を持ってきたよ

昭和56年卒 明翔会 衛藤 雅一

うである？ことから、中学進学に向けて良い機会と思い2度目の応募でやっと参加できることができたという状況。

実験教室は、入学試験問題の内容が実験内容になっており「愉しみながら」「勉強し」「最後には明治中学の入試問題を解く」という3拍子そろった親子参加型の講座になっている。それ

に加えて親がしっかりやらなければ実験の成果物、今回は「琥珀の携帯ストラップ」を持ち帰れないというプレッシャーのかかる講座である。さすがに応募倍率が5倍という大人気の講座でもあり参加者は本人以上に親は真剣そのものであった。

地学と科学の2部構成で行われる講座は学生が先生役となり親切に教えてくれる。

最新の設備は当然のことであるが生徒、特に女子学生がしっかりしていることには驚かされた。私たち親子の先生役は午前の化学が高校三年女子の堀江さん(当時)、午後の地学は中一女子の向井さん(当時)で、講義の合間には直接女子学生と話ことができ、志望理由や勉強方法や先生の話など生の声を聞くことができた。

お二人ともそれぞれプラスバンドと剣道部といった部活と学問の両方頑張っているようで娘は関心することしきり、親は30数年前を振り返りただただ恥ずかしくなるばかりだった。とは言いながらも親子で母校の授業を受けるといふ夢のようなひと時を過ごすことができた素晴らしい一日であった。

高Ⅲ説明会

平成23年3月11日(水)

平成23年2月15日(火)、紫紺ホールにて3月に卒業する高校Ⅲ年生282名を対象とした総明会説明会が開催されました。総明会からは、関谷副会長、竹澤専務理事、比留間学校渉外担当委員長、菊池組織委員長が出席されました。



吉田重幸先生の司会により進行了した説明会は、関谷副会長のあいさつで始まり、鶴澤初代校長や総明会の沿革などの総明会の歴史

にまつわるお話がありました。次に菊池組織委員長から総明会の目的・組織構成、年間行事など具体的な説明がありました。

卒業を目の前に迎えた高Ⅲ生徒諸君は、数ヶ月後にはOB、OGとなる実感が湧いてきたのか、興味津々といった面持ちで聞いていました。

最後に高Ⅲの学級幹事及び幹事長が紹介され、竹澤専務理事より同期会の設立準備金が贈呈され説明会は閉会しました。

本年度の卒業生諸君！ 総明会の参加お待ちしております。

昭和59年卒 田中重幸



2011年度 明治高等学校・中学校入学式

平成23年4月6日(水)

4月6日(水)に行われた入学式は、3月11日に起きた東日本大震災による計画停電の実施状況等を踏まえ、紫紺ホールにて式典時間を30分に短縮し学校関係者のみで行われた。

このような状況だったので、今回は取材を遠慮させていただくことになったが、とても残念である。

難関を突破して入学してきた今年の入学者数は、中学校が、166名(男子生徒98名、女子生徒68名)、高等学校が、264名(男子生徒164名、女子生徒100名)。

昨年に引き続き、入学者の女子割合が約40%になったそうである。

昭和59年卒 島村武史

オープンキャンパス2011

平成23年6月25日(土)

昭和59年卒明心会 島村 武史



受け付け、開演を待つ行列

して、明治のあれこれ聞いてみませんかと題し、先生や生徒と話ができるコーナーの3つに分けられたプログラムは、どこ

天候にも恵まれた、平成23年6月25日(土)の午前中に開催されたオープンキャンパスは、明治中学を受験志望の小学5・6年生の親子を対象に行われた。去年同様大盛況で、1500名の募集が満席になり、300人の追加募集も全て満席となった。授業体験、クラブ体験、そして、明治のあれ



化学実験講座

へ行っても満員で、計8講座が行われた。各講座は30分が3限目まであり、授業参観ながら父兄の方々が、教室からあふれそうなほどで、授業を受けている子供たちを真剣な眼差しで見つめているのが印象的であった。

クラブ体験は、20の班・クラブが参加した。スポーツクラブの体験では、それぞれのクラブで、参加した小学生が生徒たちのやさしい指導で汗を流していた。紫紺ホールでは、吹奏楽班の公開演奏、応援指導班の公開応援が行われ、文化系のクラブは、美術部の切り絵体験、地学部の中から宝石採集、書道部



上：書道部のうちわ制作、下：卓球部

では、自分で書いたものをうちわにしてくれたり、趣向を凝らしたプログラムがたくさんあった。

このオープンキャンパスで感じたのは、生徒主体で動いているなということである。受付にしても生徒会本部の生徒が、テキパキと仕切り、班・クラブでは、自分たちが企画したプログラムで自ら運営していて、まるで文化祭のようであった。だから参加した小学生が、目を輝かせているのは納得がいく。生徒自身も楽しんでるようだった。このオープンキャンパスで、明治高校の魅力が十分に伝わったのではないだろうか。

M

スウェーデンからの留学生

平成23年6月10日(金)



23年6月10日から10日間、スウェーデンからの2名の女子を留学生として受け入れることになった。今回は、学校の正式な行事としてではないが、留学のオファーがあり、特別に受け入れたのだそうである。第二外国語が日本語だったことで、日常会話はもちろん、

授業も半分は理解していたのでは



上：左の2人が留学生、右は留学のコーディネートを担当された清原先生。下：留学生二人が残っていた色紙。



ないかと、お話ししてくれたのは、今回の留学のコーディネートを担当された清原先生(英語科担当)である。放課後は、習字、お茶などを習ったり、日本の文化に触れたようである。休日には、クラスの生徒と清原先生が、横浜に案内したり、はじめてのお好み焼きを体験したりと、学校生活とあわせて、日本観光も楽しんだようだ。

明治高校も来年100周年を迎え、国際社会に通用するような生徒になるために、交換留学のようなプログラムが、今後増えていくだろう。

昭和59年卒 島村武史

M

明治高校報告

2010年度

本校卒業生1名が司法試験に、3名が公認会計士試験に、1名が税理士試験に合格いたしました。おめでとございます。

司法試験合格者

大門 誉幸(平成8年卒)

公認会計士試験合格者

小佐野貴成(平成18年卒)

菅原 健生(平成18年卒)

森 照朝(平成18年卒)

税理士試験合格者

石川 一仁(平成10年卒)

班・部活動の報告

吹奏楽班

第51回東京都高等学校吹奏楽コンクール

A組 金賞

B1組 銀賞

剣道部

千代田区剣道大会

女子三段以下の部 優勝

第41回調布市中学校対抗競技大会(剣道)

男子の部 準優勝

第9ブロック第42回剣道研修大会

女子団体の部 第3位

中学野球部

第42回調布市中学校対抗競技大会(野球)

優勝

柔道部

関東高校柔道大会 東京都第4支部予選

男子団体 敢闘賞(都大会進出)

男子個人 敢闘賞(都大会進出)

高Ⅲ G 杉山 弾

関東高校柔道大会 東京都予選

男子団体 東京都ベスト32

全国高校柔道大会 東京都第4支部予選

男子団体 敢闘賞(都大会進出)

男子個人 敢闘賞(都大会進出)

高Ⅲ F 山根木 昂久

ソフトテニス部

中学校ソフトテニス夏季研修大会

第9ブロック 第3位

中2 A 西本 明日香・中2 C 茂木 明梨

第50回東京私立中学高等学校ソフトテニス大会

女子ダブルス 準優勝

中2 A 西本 明日香・中2 C 茂木 明梨

バレーボール部

第58回東京六大学附属高等学校バレーボールリーグ戦

第3位

バスケットボール部

平成23年度東京都高等学校女子バスケットボール夏季大会

Pブロック 準優勝

バドミントン部

中学春季北多摩南地区大会

男子団体戦 準優勝

男子ダブルスの部 第4位

中3 A 木村 雄飛・中3 B 田中 恵太

女子ダブルスの部 第3位

中3 C 奥村 桃佳・中3 E 手島 裕香

サッカー部

高校総合体育大会 東京予選

西支部ブロック 優勝(都大会進出)

男子硬式テニス部

東京都中学校テニス選手権大会

団体の部 東京都ベスト16

個人ダブルスの部 東京都ベスト32

中3 B 近藤 直幹・中3 C 奥本 尚樹

東京都高等学校テニス選手権大会

団体の部 2回戦進出

平成23年度多摩地区中学校テニス大会

団体戦 第5位

教課・個人

平成23年度全国高等学校総合体育大会

トランポリン競技 総合優勝

高Ⅱ G 棟朝 銀河

第11回まちだ全国バレーコンクール 奨励賞

高Ⅱ D 成川 あさひ

U18リケメン・リケジョのIT夢コンテスト

2011 学・長賞

高Ⅱ B 根本 翔太

情報ネットワークコミュニケーション科学賞

高Ⅱ E 小沼 稜平

ご退職の先生

昭和23年3月を以てご退職されましたのは、2名の先生です。

山田 伸夫先生(数学)ご退職

矢田 理世先生(英語)ご退職

山田先生は、昭和48年より38年間、多くの生徒に数学を教え、応援指導班の顧問もされました。

矢田先生は、英語の授業を担当され、マンドリン部の顧問・副顧問をされていました。

先生方、ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。

東日本大震災による影響

今年3月11日(金)に起こった東日本大震災により、交通機関の麻痺により当日家に帰れなかった生徒は314人(内訳：中学男子121名・中学女子49名、高校男子111名・高校女子33名)、教員35人看護師1名、事

務職員4名(教職員の中には、帰宅可能であったが生徒への対応のために宿泊した場合も含む)。学校で不安な一夜を過ごすことになった。

そして、余震と東京電力による計画停電の実施により、3月の行事は以下のように延期や中止が相次いだ。

- ・15日(火)中学卒業式予行は中止
- ・18日(金)PTA総会及び学級懇談会は中止

- ・18日(金)終業式は26日(土)に延期
- ・19日(土)中学卒業式は27日(日)に延期

- ・18日(金)～25日(金)の班・部活動と登校は禁止
- ・春休みの合宿は全面中止

被災地への支援活動

教職員・生徒の自主的な呼びかけで、岩手県釜石市の被災地にソックス175



被災地に送付したソックスとジャージ類

足、ジャージ類(Tシャツ含む)45着を送付したそうです。4月18日(月)に送付先よりお礼の電話があったそうで、今後も、支援活動が続けていくそうです。

昭和59年卒 島村武史

学校の近況が明治高等学校・中学校のホームページで詳しく紹介されています。是非一度ご覧ください。(検索サイトで明治高校と入れていただくか、以下のURLのサイトでご覧いただけます。)

http://www.meiji.ac.jp/ko_chu/



新任先生紹介



名 前：石倉 浩行

生 年 月 日：1985年8月20日

出 身 地：埼玉県狭山市

出 身 学 校：東京理科大学
理工学部数学科

担 当 授 業：数学Ⅰ（高校Ⅰ年D・E・F・G組）
数学B（高校Ⅱ年A・B組）

担当クラブ：サッカー部、陸上部
（ともに副顧問）

抱負

今年度から勤務させていただいております。石倉浩行と申します。中学・高校の6年間は、人生の中でもとても重要な期間であると私は考えております。中学校生活では心身ともに大きく成長することができ、高校生活では自分が将来進みたい方向に向かって動き出します。つまり、どのような人生になるかを大きく左右する期間であり、実際の6年間での経験が今の私の根幹にあると思っています。中高一貫教育はどのような時期に非常に深く関わることであり、さらに本校では大学まで見越した教育ができるということは、より深い教育ができるということになると

思います。教科指導においても生活指導においても高い水準の教育をし、生徒が成長する助けになればと考えております。

生徒との絆をどのように深めていこうと思いますか？

私は昨年までは埼玉県はいわゆる受験校に三年ほど勤務していました。着任してからは受験に追われる昨年までとは違う、付属校のゆとりある時間を感じています。その中においても、時には厳しく指導をしなければならいことも多々あると思います。そのような時に、ただ頭ごなしに指導するのではなく、生徒が納得し自らの行動を反省するような指導をすることが大切なのではないかと考えています。質の高い教科指導だけでなく、生活指導なども通じて、生徒との絆を深めていければと思います。



書道部



2010年度、第95回書教展審査院長賞、協会賞など、数々の賞を受賞している書道部に注目した。

高川で部長の新田浩明君に話を聞くことができた。

現在部員は13名で、毎週金曜日が活動日。

どんな練習をするのかを聞いてみると、先生に指示はもらうものの、基本は生徒間で教え合い、人の書いたものを見て学び、自分たちで上手くなっていくそうである。賞をねらって書いたのではなく、賞が後からついてきたと、新田君はクールに話す。

そして、1階廊下にある書道ギャラリーは、2年前に女子生徒部員が入

部してから、ただ並べていた展示をやめ、色紙をかけたリ、レイアウトも工夫し、季節のテーマを決め、時にはテーマに合わせ、和紙をシワクチャにしてみたりと、創作的な作品を作ることが、コンクルの作品に良い影響を与えたことは間違いないそうである。そして、クラブのチームワークの強化の一環としても役立っているそうである。

さらに、穏和な顧問の鈴木先生とやさしい書道の大迫先生のサポートを受け、のびのびと書ける環境のなかで完成した作品は、見る人に感動を与え、賞に結びついているのだと思った。

部長の新田君は、書道部の先輩方とのOB会を希望しています。書道部のOBの方、是非連絡をお願いいたします。

昭和59年卒 島村武史



化学部



部員19名(高校8名、中学11名)の
アットホームな雰囲気の文化部。部長
の菊地隆雅君に話を伺ったところ、女
子も7名(高1 3名、中2 2名、中1

2名)になり、男子だけの
時に比べ、部活の雰囲気が
明るくなったとか。

顧問の櫻井清孝先生と
一瀬尚史先生のもと、放課
後化学実験室でデータ取
りの実験をするのが、この
時期の主な活動のよう
です。10月初頭に控える日
本学生科学賞東京都大会
で、その成果を論文にまと
めて発表するうえで、昨年
は優秀賞や奨励賞、努力
賞を受賞するなど、優秀な
成績を収めています。過去
には、都大会で最優秀賞を
取ると出場できる全国大

会で、優秀な成績をおさめられたOBの
方もいらっしゃるそうです。化学部の
皆さん、今年の発表も頑張ってください。

部活のもつひとつの柱が、文化祭で
の実験発表で、日頃からOBの大学
生が最先端のスキルを高校生に指導
し、部内では先輩が後輩に実験の手解
きをするなど、縦の「絆」が部員全体
のスキルアップにつながっているよう
です。部長さんとしては、文化祭の実
験発表で紫紺賞を狙いたいそうです
が、化学実験室が1階にないため、人
の流れの面でどうしても不利になるの
だとか。これを読まれた皆さん、今年
の文化祭では少し足を延ばして、化学
部の実験発表の様子を見てあげて下
さい。もし良ければ、化学部の紫紺賞
に清き一票を！

化学部の皆さん、取材への協力あ
りがとつございました。

昭和59年卒 佐藤昌彦

Synchronization reunion, Group, Club and Alumni reunion
Activity report

活動報告 同期会・班クラブOB・OG会



牛巳の会(21年卒)	64
明高会(27年卒)	65
明窓会(28年卒)	66
明楽会(31年卒)	68
二年に一会(38年卒)	69
紫讃会(43年卒)	72
男坂倶楽部(44年卒)	73
獅子の会(45年卒)	76
明潮会(46年卒)	77
四七四七同志酔会(47年卒) . . .	78
翼明会(49年卒)	80
明紫会(50年卒)	81
明々会(51年卒)	84
男子校根性組(52年卒)	86
明誠会(54年卒)	88
紫魂会(55年卒)	90
明翔会(56年卒)	92
明魂会(57年卒)	94
明輪会(58年卒)	96

明心会(59年卒)	98
闇紺会(60年卒)	100
川口明高会	101
評議員・班クラブOB・OG会 . . .	101
硬式野球部OB会(明球会)	102
應援團OB会	104
剣道部OB会(見心会)	106
水泳部OB会(明水会)	107
スキー部OB会(明雪会)	108
バレー部OB会	110
バスケットボール部OB会	112
放送班OB会	114
物理部OB会(明物会)	115
地理研究部OB会	116
ごとう会	117
卯の木会	118
明治高校を甲子園に送る会 . . .	119
ヤマダ大感謝祭	120

うまみ

『牛巳の会』

昭和21年卒 斎藤 久也

調布校・総務主任吉田重幸先生・「総明会」幹部・昭和51年卒小林祥吾氏のご協力を得ている。

な二つの疑問は解決を見た。なれど、学校側が卒業生なしとした根拠は、何処にあったのかは未解決である。

しかし、後期高齢者の努力を愛でてか、早くも収穫を得ることが。それは、校史「60年のあゆみ」の記述の中にあっ

しかし、昭和22年卒の友らは、旧制中学校生として卒業した最後の生徒となった。

昭和21・22年卒（入学昭和17年）で構成され、生れ歳の干支による命名を基本としながら、戦後の廃墟（ゴミ）の中から生まれたと卑下して「ごみの会」と比喩することもあり、近年になり音読みで「五味」・

名を誇りとしている。ただ、昭和21年卒の友らは、卒業式を挙げることなく卒業している。更に卒業証書が、どの様な経路で手許に届いたものか、確実な記憶を持つていない……小生も然りである。

た。「戦後」学制が改革され……四年生で繰上げ卒業希望者が出なかつたので、卒業式のない年度末を送ることになった」とあった。微かな記憶では繰上げ卒業した生徒には、卒業証書ではなくて、終了証書が発行されるとの噂がこれだ、

総明会の組織下にある同期「牛巳の会」だけが経験した特別な問題である。ただ、創立以来の校長鶴澤総明先生の信条「獨立自治」「質実剛健」を堅持する古風な思いを改める積もりは皆無である。

り、近年になり音読みで「五味」・甘い・辛い・苦い・酸っぱい・塩辛・い・人生に通ずる味覚で「旨味」を秘める会

全ての友が傘寿を越えた頃には、入学時に160名の生徒数は、連絡可能50名を欠いたが、今年も恒例・定例同期会を開催した。そして『憧れの明中生として』の青春を記録して置きたいとの思いが募り、全てを手作りにとする文集作りの企画に着手。既に、

①卒業生がいなければ、卒業式がないのは当たり前、②予科・専門部が進学手続きを躊躇していたのは、付属校からの受入れ要請書類がなければ道が開かない筈。これで表面的

然りながら、新天地を調布に求め、共学への道を選んだ母校・明治大学付属明治高等学校中学校の揺るぎなき心をから願う。

入学以来七十年の絆を……あとどれくらい結び続けることが可能だろうか？



『明高会』

昭和27年卒 吉田 満

私共明高会は、全体での同期会は、ここ十数年間開催しておりません。とは申しましても個々の気の合う連中での小グループの会合は、数多くございます。

夕方の一パイ飲みながら集まって、学生時代に返って話に花が咲き若返ります。中でも最大のグループは「小ふで会」でしょう。この会は元校長福島先生を囲む会から発足いたしました。

毎年六月の第三金曜日に銀座の三笠会館で開催されております。三笠会館は内

藤彰君（後に東京大学）が経理の面倒を見ており、勝畑喜市郎君の神田の実家が鮮魚のお出入り業者です。

昨年は、新田満夫君（後に早稲田大学）が参加され、年々参加者が多くなっているのは正にオドロキです。これも連絡係の渡辺幹夫君が毎回の通知をイヤガラス・マメにお知らせをして頂けるお陰です。

しかし、総明会はなんと申しまして、学校全体の卒業生最大の催しです。本年平成二十三年度からは女性の卒業生もお仲間入りです。

毎年廻り持ち担当の卒業学年の皆様も気合いを入れて頑張っております。

本年は明心会の皆様が努力しております。せいぜい老骨にムチを打って参加してみませんか！ 楽しいですよ。

昭和二十七年卒

米山 耕右

昭和三十三年卒

米山 武男

明治高等学校 昭和30年卒

同窓の友・共に社会奉仕活動をしませんか
駿河台ライオンズクラブが貴君の
入会申し込みを待ってます 連絡は下記へ

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区

元地区ガバナー 宇田川 雄 弘

（東京練馬L.C所属）

●入会についてのお問合せ●

TEL 03-3993-5381 090-3138-4234

株式会社フジモト

代表取締役

藤本 芳徳

（昭和三十年卒 応援団OB）

〒三三八〇〇一
埼玉県さいたま市中央区大戸五二二一八
TEL 〇四八（八三二）六九一八
FAX 〇四八（八三二）〇二九〇

『明窓会』

昭和28年卒 戸田 一郎

東日本大震災の後、「絆」と云う表現が多く見受けられるようになった。地震が発生した3月11日午後2時46分に、私は「難病と闘う子供



たちを支援するフォーラム」に参加するために池袋西口広場に立っていた。広場は豊島区の災害避難所に指定されていて広い西口広場は瞬時に大勢の人で埋まり身動きが出来ない程に数が増してきた。人数が多ければ不安感も少々緩和される。中には恐怖で体調が悪くなる人も出てきた。

「絆」と云う言葉を大辞林で引いてみた。家族・友人などの結びつきを離れがたくつなぎとめているもの。人との断ち切れない結びつき。切ろうとしても切ることの出

来ない結びつき等と記されている。広場に集まった他人同志の間には何となく同じ境遇に置かれた者同士の連帯感みたいなものが感じとられ弱者をいたわる姿も見受けられた。

これも一種の「絆」が現れた現象なのでしょうか。

「明窓会」のメンバーは終戦後間もない昭和22年4月に新制中学第一期生として入学した。当時は娯楽は云うに及ばずテレビも無く食糧事情もままならない時代である。給食も無く外食をするところも皆無であった。弁当の時間になると各自が様々な弁当箱を広げ唯一の楽しみである昼食の時間となる。弁当を持ってこられなかった生徒は教室から黙って外に出ていた。郊外から通学している生徒の中

には農家の子弟もいてドカ弁に白いご飯をぎつしりと詰め込んで来る者。それを羨望の横目で見ながらマーガリンを塗ったコッペパンにかぶりつく者など様々であった。上等なオカズ入りの弁当を持ってきた者の周りには多くの級友がお裾分けを狙って集まり「絆」が生まれた。甘いものなどはもつての外でGHQから配給された茶色いキューバ糖という精製前のザラメ状の砂糖が唯一の甘味料であった。制服も無くまちな服装にズック靴、親父が軍隊から持ち帰った軍隊色の雑のうを斜めがけにしているのが平均的な明中生像であった。そのような境遇に育った我々は価値観も考え方も共有しており結束がとても強かった想い出が

ある。

イジメも暴力もなかった。もつともイジメと云う言葉は近年に使われ始めた表現であり小柄の生徒をからかってあげつらつたりしたのが今流で云えばイジメと云われるのかもしれない。

話を戻すが友達同士の「絆」は確かにしつかりとしていた様に思う。新制明治高等学校第五期生（昭和28年卒）同期会の「明窓会」は今年77才を迎えた世代であるが還暦を期に毎年六月に恒例的に同期会を開催している。

ただ、最近では計報の通知が増える傾向が続く寂しい思いをしている。今年は6月10日に「明窓会」を開催したが前回元気に参加した友友が二名亡くなっていた。それ

でも三十名が参加し孫のようなチアリーダーに「元気をもらい」「白雲なびく駿河台」を応援団OBの比留間氏のリードで歌詞を見ながら三番まで完唱した。

食糧難の時代に育ちざかりの期間を過ごした我々は栄養素の摂取量が少なくメタボ気味で見掛けは良いが内臓は貧弱であると医者から云われている。去年六月の定例「明窓会」に元気な顔を見せた仲間もその年に逝ってしまうのだ。認知症の歳になるになる前に。「明窓会」の皆さん、来年も必ず元気な顔を見せてくれ。シッコイと云われようが嫌がられようが、毎年執念で開催通知を送り続けるからそのつもりでいてくれ。

小坂法律事務所

弁護士

小坂嘉幸

昭和34年卒

〒110-0005

東京都台東区上野3-17-8
田沼第1ビル4F

TEL. 03-3831-6032

FAX. 03-3831-6037

株式会社 伊勢宇本店

清酒「伊勢盛」発売元

代表取締役

大山 秀雄

昭和33年卒 庭球部OB

東京都台東区鳥越1-29-5

TEL.03-3851-5490 FAX.03-5687-4435

〒一〇一〇〇四一
千代田区神田須田町二一三十一
河合ビル八〇一
電話 〇三五二九四六二九〇
FAX 〇三五二九四六二九〇

弁護士
柚木 司

昭和三十七年卒
柚木法律事務所

昭和34年卒 明高野球部OB

丸マルキュー株式会社

代表取締役

宮澤 政信

〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀 2-4

TEL:048-728-0909 FAX:048-728-3909

ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>



丸マルキュー

ECOGEAR

FishLeague PRIME AREA



『明楽会』

昭和31年卒 佐藤 健一

第47回総明会開催おめでとうございませう。

本年3月11日東日本大震災におかれましては一挙に建築物と人々を飲み込み死者と不明者合わせ約二万人の

し上げます。又一日でも早く復旧と復興がなされる様ご祈念申し上げます。

さて、一年が過ぎるのも早

いもので今年も総明会の開催にあたって役員各位には大変ご苦勞様です。来年は100周年記念との事、我々同期会と致しましては喜びもひとしおです。ひとくちに

人々が犠牲になりました。被災にあわれた方々、関係各位に謹んでご冥福をお祈りすると共にお見舞い申

の移り変わりもあり色あせて参りました。その中で只一つ同期会、総明会の開催です。昨年も記載の写真の様に多くの仲間が集い昔を懐かしみ話はずみしました。我々明楽会は毎年開催日が決まっています十一月第一金曜日となっておりませんが今年も十一月四日(金)に万世橋際「肉の万世」にて開催の運びとなっておりまう。どうか是非一度先輩後輩の皆様方も出席してみても如何ですか？

人生も残り少なくなるにつれて当会の出席者が年々増えて参ります。少しでも母校の状況、現況を知りたく参集する次第です。会長をはじめとして評議員の諸氏が現場へ出席して話を把握して同期の方々に報告する義務

を背負っております。これからも良い報告が出来る様、総明会々々長をはじめ多くの役員の方々のご苦勞に感謝すると共に今後の総明会の増々のご発展を御祈念申し上げます。

祝 第47回 総明会

昭和31年卒

明 楽 会

会長 佐藤 健一



『古希近くますます元気の同期会』

昭和38年卒 二年に一会 会長 三浦 昭生

年齢を重ねるごとに1年が本当に早く感じる今日この頃です。私たち同期会「二年に一会」は、昭和35年3月明中、昭和38年3月

開いてから2年に1回半世紀にわたり一度も欠かすことなく開催しております。会長の三浦昭生を中心に高橋正倫幹事長、関戸淳一事務局長、知野誠一幹事、常任幹事諸兄が毎回、当番幹事代表を決め集い

を開いております。平成14年6月には第20回記念会を椿山荘で、還暦を迎えた平成16年秋に男坂近く

のウインズで西湖秀明兄が当番幹事を努め開催、平成18年は野球部で活躍し、現在日本ハム球団の要職にある山田正雄兄のご子息経営のレストラ

ンで姿卓代表幹事で第22回を開催しました。校舎が調布に移転した、平成20年には秋の開催を前倒しして2月に懐かしい校舎をお借りし、松本先生、後藤先生、村野先生が教室で50年前の授業を再現、この校舎とのお別れイベントは大成功を納めました。

平成21年から裏の年にも集まらないか、との声が上が

り、2年に1回から年1回の同期会開催の運びとなりました。上野ホテルパークサイドで平成21年に柳澤幸良兄が当番幹事、昨22年は大沢秀行兄が当番幹事で同ホテルで第25回を開きました。

また、有志たちが毎月第3水曜日夕刻に集まり飲み会を開き旧交を深めています。この「三水会」もここ8年間欠かしておらず、今年の第26回は当番幹事を小川洋一兄、三水会常連メンバーが中心となり、10月8日(土)に都市センターホテルで開催予定です。会長・三浦が常々口にする「同期会の仲間が減ることはあっても増えることはありません」この紙面をお借りし、「会」への参加を呼びかけたいと思います。

今年の総明会のテーマは、未来へつなぐ絆。100周年に向かつて母校を巣立つて早50年、「二年に一会」も新しい未来へ絆を深めることでしよう。本年の幹事学年「明心会」による第47年総明会の成功を祈念して同期会の報告とします。

(文責 服部紀夫)

東京都江東区高橋14-20

関戸 淳一

TEL 03-3631-2008

FAX 03-3631-2548



細田木材工業株式会社

代表取締役社長

細田 悌治

〒136-0082

東京都江東区新木場2-15-28

TEL.03-3521-8701 FAX.03-3521-8708

携帯090-1458-5881

e-mail t-h39@woody-art-hosoda.co.jp

http://www.woody-art-hosoda.co.jp/

加藤一也税理士事務所

加藤 一也

昭和39年卒

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-25-8 第2扇屋ビル
TEL.03-3910-8683 FAX.03-3910-8441

祝 第47回総明会総会

昭和38年卒

二年に一会

二年に一会は
本年10月8日(土)5時より
都市センターにて開催

JY 上陽テクノ株式会社

代表取締役

阿部 正行 (昭和40年卒)

千代田区外神田 6 - 10 - 11
TEL. 03 - 3834 - 1329



KINGYO NO YOSHIDA

創業文政二年



老舗

長い歴史を通じて人々の心をなごまし、
生き抜いてきた金魚。その愛すべき金魚
の販売を私たちは江戸時代から現代まで
この道一筋に歩んできました。この地に
さらに充実した優良金魚の品種を満載し
皆様に喜んでいただければと思っています。
ぜひ御来店していただき金魚の美を
堪能してみてください。

〒124-0023

東京都葛飾区東新小岩 5-14-7 (1F)

TEL 03-5671-5550 FAX 03-5671-5557

http://www.kingyo-yoshida.com

37年卒 吉田信行

38年卒 増田利明

Dr.PRO.

ドクタープロ

愛犬の健康管理を考えたドッグフード



株式会社

ニシド

http://www.jpnd-nd.com

昭和42年卒

結城法律事務所

弁護士 **結城 康郎**

〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目14番3号

赤坂東急ビル11階

電話 03 (3506)1151 (代表)

FAX 03 (3506)1152

携帯 090(3104)1840

E-mail:yuuki-lo@bj9.so-net.ne.jp url:http://www.yuki-law.com

昭和37年卒

新麹町法律事務所

弁護士 **福島啓充**

〒102-0083

千代田区麹町3-7-4秩父屋ビル5階

TEL 03-3234-0511

FAX 03-3234-0510

昭和43年卒 「紫讃会」

福光税務会計事務所

税理士 **福光 登志雄**

〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野7-8-10

大塚ビル303

TEL 042-747-2933

FAX 042-747-2935

株式会社カイダ

清酒 斗酒十千 匠の酔 発売元

昭和39年卒 一一七会

海田耀市

東京都台東区浅草1-33-9

TEL. 03-3841-9352

FAX. 03-3841-2294

株式会社 シティ・ハウジング

代表取締役 **佐藤 仁** (昭和39年卒)

本社 東京都大田区西糀谷4-28-14

TEL 03-3742-7177

FAX 03-5705-8097

URL: http://www.cityhousing.co.jp

糀谷本店・京急蒲田店・蒲田東口店・大森店・大井町店・雪が谷店

昭和39年卒(マンドリン部 OB)

明治大学大学院特別招聘教授

明治大学校友会本部監査委員

明治大学連合駿台会副会長

明治大学公認会計士会副会長

明治大学商学部三上会会長

谷公認会計士事務所代表

公認会計士 **谷 慈義** (浄土門僧籍)

〒135-0004 東京都江東区森下2-19-8 谷ビル

TEL.03-3631-8029 FAX.03-3631-8076 E-mail s.tani@chive.ocn.ne.jp

(ユアサ商事株式会社 代表取締役社長・会長 東陽監査法人代表社員 明治大学特別招聘教授を経て、現職)

『紫讃会』

昭和43年卒 紫讃会 前田 俊明



です。佐久間君は弁護士として活躍するかたわら、紫讃会の会長として同期をささえ、さらに総明会会長を6年間みごとに務めました。

早いもので、卒業して四十三年になります。総明会の幹事をやって以来また付き合いが親密になり、今では月に1回幹事定例会をひらいています。会場はおもに同期の寺田君の水新菜館です。美味しい料理に紹興酒やワイン、毎回盛り上がっています。そのほか、毎年総会やゴルフ大会、旅行など、楽しい企画がいっぱい。

さて、紫讃会には自慢できることがいくつあります。まず一つは、総明会会長に佐久間洋一君を輩出したこと

二番目は、恩師の先生が会員であるということ。明治高校の校長をつとめられた清水紀夫先生です。清水先生(数学)は若くして明治高校に着任され、私たちの学年を初めて担任として受持ちました。紫讃会の集まりに毎回ゲストとして参加していただき、リタイアされてからは正式に紫讃会会員になりました。ほんとうの意味で恩師と友達になれたと、みな誇りに思っています。

三つ目は、団結力が強いということです。毎月、酒盛りをしている学年というのは珍

しいのではないでしょうか。バスケット部の三田幹男君を筆頭に、いわゆる「良い子」から「悪い子」まで、まんべなく仲が良いところです。

だんだん年を重ねるにつけ、若い頃のことが無性に懐かしくなります。社会の荒波を乗り越えて、なお元気で活躍している同期の友の顔をみると、杯を上げずにいられません。明治という名門校を出て、なんと良い友達にめぐまれたことかと思っています。

作曲編作

前田 俊明

昭和43年卒 紫讃会

世田谷区祖師谷3-37-18
TEL.03-3484-3136

『100周年くそして未来へ』

昭和44年卒 男坂俱樂部 中河 孝樹

明治高校を卒業して、

四十二年が経ってしまいました。明治高校卒の先輩、後輩、同級生達。いまだに、会う機会があれば、顔は高校生に戻り、熱く語り合う事が、できます。言い方を変えれ

ば。大人げないとも言います

が……。長い人生のうちからみれば、ほんとに短い時間や同じ環境、時を過ごしたというだけで、なぜ、このような関係が築かれるのでしょうか？入学前にすでに幼児形

成期は終わり、卒業後には、各々それぞれ社会へと旅たち、違った環境の下で生活しています。明大明治在学中に、なにかが起った？

質実剛健、独立自治、等の下で、……。いや違う！。

ひとつ言える事は、「人間は人間の中でしか成長できない」ということでしょうか。見えないけれども、先生を含み、在学中にそれぞれが、接触し合い、ぶつかり、反撥、協

卒業後も、会えばやっているかも知れません。気概や性格は人さまざまですが、明大明治の卒業生といえは、みんな納得してくれる？納得してもらえますよ。だって、明治っ子だもの！

社会生活の中で、このようなものは、絶対に存在しません。だから私は信じます。明治っ子気質は未来にまで自然と伝承します。

未来の高校や、大学の姿はどのように変貌してるのかは、想像だにできません。

しかし、明治っ子の気質は変わらないと思います。なぜなら、人間と人間の中で生まれ、成長してきたものは、変化こそすれ残ります。

百年、そして未来へ、明治っ子、翔け！



祝 第47回総明会総会

明治高校
昭和43年卒
同期会

紫讃会

紫讃会

堀内 繁

(昭和43年卒)

機械式時計専門店

株式会社ティーエス・ホリウチ
TEL.03-3831-9733
FAX.03-3831-9734

昭和43年卒 紫讃会

小田嶋 保男

東京都足立区中央本町4-24-8

東京都台東区浅草橋二丁目一番一
TEL.〇三(三八六一)〇五七七番

中華料理
みずしん
水新菜館
寺田 規行
(昭和四十三年卒 紫讃会)

昭和四十三年卒
竹川忠芳法律事務所
弁護士
竹川 忠芳
〒一〇五〇〇三三
東京都港区西新橋一〇一三
虎ノ門法曹ビル四〇八
電話〇三(三五〇四)一三〇八
FAX〇三(三五〇四)一三〇七

有限会社 リフェスト

代表取締役 石井次男
(昭和43年卒 川口明高会)

〒332-0034
埼玉県川口市並木3-1-19
TEL 048-258-9752
FAX 048-257-5216
E-mail:ishii@nagashin.com

肉の田じま

<http://www.nikunotajima.com>

1F 精肉小売 ミート&デリカ
2F 焼肉レストラン
3F すきやき・しゃぶしゃぶ・ステーキ

TEL 03-3649-4419
TEL 03-3699-8929
TEL 03-3699-5529



株式会社田島商店
本社 東京都江東区扇橋1-4-1
TEL03-3647-2984 FAX03-3699-7229

代表取締役社長 田島 実
昭和44年卒 男坂倶楽部

都築商店

お米マイスター

都築 政治

昭和43年卒

東京都台東区小島1-2-2
TEL.03-3851-5609(代)
FAX.03-3861-0080



私達は、皆様と共に“快適な環境”について考えたい。

清掃事業・廃棄物処理・リサイクル

代表取締役社長 毛塚 眞次 (昭和44年卒)

品川運輸株式会社



〒140-0011 東京都品川区東大井2-1-8
TEL 03-3761-0165 FAX 03-3763-0656 URL <http://www.shinagawa-unyu.co.jp>

マイケル&マック

鍼灸・中医学・東洋医学・
脈診・漢方医療

千葉県市川市北方2-2-10
TEL & FAX 047-336-0763
HP: <http://www.michaelmac.com>

院長 松本 明久
昭和44年卒 男坂倶楽部

昭和四十四年卒
弁護士

田中 等

丸の内南法律事務所

〒100-0005

千代田区丸の内二・三

丸の内仲通ビル七・七

TEL 03-3231-2511

FAX 03-3231-2604

昭和四十四年卒
味処・酒処す吾六

家中 勉

〒113-0011

墨田区緑四一九一

電話 03-3632-1332

総明会 副会長 昭和44年卒 男坂倶楽部
ミートショップセキヤ

株式会社 関谷商店

代表取締役社長 関谷芳久

<http://www.1129sekiya.com>

足立区西新井栄町3-8-5 TEL.03-3886-3318 FAX.03-3886-5803

有限会社トラストワイズ
金属・アクセサリー企画・製造

代表取締役社長

山田眞也

(硬式野球部OB)

取締役専務 山田健二

(硬式野球部OB)

〒113-0014

東京都墨田区八広四丁目八番 千号

電話 03-3611-3338

建物の新築・リフォーム・耐震診断

ワイシー企画 株式会社

代表取締役 藁谷 豊 (昭和44年卒)

〒359-0007 埼玉県所沢市北岩岡263-1
TEL.04-2990-5111 FAX.04-2990-5005
E-mail yutaka0912@ah.wakwak.com
URL <http://www.yc.jp.com/>

『還暦祝いに参加して―獅子の会』

昭和45年卒 笹本 和義

真を撮った。

卒業して42年の月日が、矢のように過ぎてしまい、前年の獅子の会にて、来年は神田明神にて、還暦祝いを、平成23年4月10日（日）午前11時に行うこと

になり、祝宴の会場は肉の万世に決まった。卒業人員285名の内45名が、当日参加した。当日は快晴に恵まれて、懐かしい顔が神田明神の境内に集合した。神

主のお祓い、祝詞、巫女さんの福すず、4人づつで玉

串奉納、約20分の儀式は終了した。御酒を頂戴して、再び境内に集まり、記念写

その後、祝賀会場へ移動して、記念講演「70才を如何にして迎えるか？」を同窓の浴風会病院長 吉田亮一君よりお話があった。腹

5分目、適度な運動、くよくよしない陽転思考でいれば、70才を迎えられるとのこと。来賓として、総明会会長尾島育四郎先輩、90才の松本理三郎先生、80才の後藤朋智先生にも出席して頂きました。

校歌で締めくくり10年後の70才の古希祝いに紫紺のジャンパーで、何人の人が集まる事ができるかと話題になり、散々後々懐かしい好きな仲間同士が、まだ日の高い神田の街に、繰り出して行きました。

祝 第47回総明会総会

昭和45年卒

獅子の会

『巡り逢い集い合う—明潮会』

昭和46年卒 小島 隆



銀座六丁目。交詢社ビルに程近いライブハウスで、年一回開かれるパーティーがある。明治大学ダンス音楽研究会の元メンバーが演奏し、関係者が家族連れで愉しむダンスパーティー。初めは明潮会世代が中心だったが、回を重ねる内にいつしか輪が広がり、三宅裕司先輩をゲストでお迎えしたり、女性ボーカルが加わったりとメン

バーも充実し、年々進化を遂げている。ビートルズナンバーあり、グループサウンズあり。懐かしいスタンダードナンバーが観客を瞬く間にあの

頃にタイムスリップさせる。髪にも体型にも相当年季は入っているけれど、気分は十代二十代。明治中学・高校という強い磁石に吸い寄せられて集う熟年世代が数時間の旅に酔う。

音楽には無限の可能性とパワーがある。仲間内の軽いジョーク、落研仕込みの名調子が皆の気分を盛り上げる。イエーイッ！

たゆたう時間とまどろむ空気が。煙草のけむりと店内のざわめき・・・大人の同窓会だ。目の前の現実が辛く厳しいほど、ひとはコンサートホールや劇場に非日常と夢の時間を求める。リードボーカルの歌声は群馬の山あいの街でもファンを増やし、癒していると言う。

懐かしいあいつに会いたくて、たわいもない話がしたくて、今年も一人また一人と彼らが集まって来る。巡り逢い集い合う。

さあ、今宵も楽しいパーティーの幕明けた。

祝 第47回 総明会 総会

昭和46年卒

明潮会

昨年度の会報で「明潮会」小島様の原稿を掲載し忘れた事を、明潮会会員皆様はじめ掲載を楽しみにして下さっていた方々に深くお詫び申し上げます。(会報委員会一同)

『よなよなどうしようかい』
四七四七同志酔会

昭和47年卒 廣野 宏士

《四七四七の皆さん！

今年も、『ホテルイースト21

東京』に集まろう！

まずは此の度の東日本大震災に際し、お亡くなりになった方々のご冥福を心より

お祈りいた

します。ま

た被災され

た皆様の一

日も早い平

穏な生活の

復活と、被

災地の一刻

も早い復興

をお祈り、

お見舞いを申し上げます。

1999年に、帝國ホテル

での総会でホスト学年を務め

ました、昭和47年3月卒業の

四七四七同志酔会です。当

日は校長先生はもとより、多

くの先生方、さらに大学から

は理事長、総長(当時はこの

役職がまだありました)、学長

先生の三役揃い踏みを実現

し、総出席者430名を数え

ました。

我々が、ホスト学年を務め

てから、早や12年の月日が経

ちました。時が経つ速さを痛

感しております。正に『馴の

隙を過ぐるが如し』の感があ
ります。

風変わりな会名の名付け

親は、故人となりました、南島

孝司君(国文研究会)。酒好

きが多いので、「夜な夜な同

志が集まり、ヘベレケに酔っ

ぱらおうかい」と卒業年「47」

を掛け言葉にしたものです。

卒業と同時に決定したよ

うに記憶しています。現役の

後輩諸君、くれぐれも飲酒は

成人してからして下さい。

我々は、ホスト学年に向け

て『四十才を過ぎてからの人

間関係の再構築』と『同級生

同志、お互いがお互いの人生

にエールを贈り合おう』を合

言葉に掲げて96年頃より準

備に入り、邁進しました。ホ

スト学年を終えた今でも、こ

の二つの精神を忘れずに同級

生の交流は続いております。

同窓会は不定期に開催し

ています。今回は本年総明

会の懇親会を準同窓会と位

置づけ、『ホテルイースト21

東京』で集まりたいと考えて

います。

四七四七同志酔会の皆さん、

今年も総明会の当日に、

会場に集まりませんか。去年

も10名程出席し、けっこう

な盛り上がりでしたよ。これ

からは、『減っても、増えない

同級生』を大事にしましょう

ね。私達幹事も出席します

よ。元気な顔を見せて下さい

ませんか。

幹事学年『明心会』の皆さん、

これまでの準備、お疲れ

さまでした。盛大な総会・懇

親会となることを祈っております。



喫茶ペガサス

後藤義明 S45
フェンシング部

Clarion

後藤勇三 S50
硬式野球部

オフィスのAからZまで
エーゼット株式会社

服部 洋一 昭41年卒

服部 雄二 昭44年卒

大導寺 和幸 昭44年卒

〒101-0025 千代田区神田佐久間町4-22

TEL.3865-9577 FAX.3865-1162

昭和46年卒

(株)ハナワトランスポート

代表取締役社長

堀 直樹

中央区日本橋箱崎町12-2
03-6667-5800

(株)インタープランニング

代表取締役

堀 眞壽

昭和46年卒 明雪会

〒135-0003

東京都江東区猿江1-2-9

TEL.03-5600-3388

E-mail m.hori@inpla.co.jp

(株)ライトハウス・コミュニケーションズ

代表取締役

齊藤 公義

昭和46年卒「明潮会」

〒104-0045

中央区築地1-4-8 築地ホワイトビル503

TEL.03-6226-6200 FAX.03-3542-8070

昭和47年卒

五木田・三浦法律事務所
南青山オフィス

弁護士

三浦 雅生

〒107-0062

港区南青山6-8-15

TEL 03-5774-2090

祝 第47回 総明会

四七四七同志酔会

昭和47年卒一同

昭和47年卒

文具&スポーツ

有限会社 コバヤシ

小林 千春

(硬式野球部)

〒343-0836

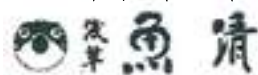
越谷市蒲生寿町9番39号

TEL048-988-2222

FAX048-988-2277

ふぐ 季節料理

和牛しゃぶしゃぶ



岡本力三・恵市郎

昭和48年卒 平成8年卒

台東区浅草四丁目35番2号

電話 03-3874-2390

URL <http://www.uosei.com>

濱 本 義 典

四国商事株式会社

昭和四十八年卒

〒六五〇〇二六
中野区新井一五十二
電話 二三八六一五八六
FAX 三三八六七六九四

『翼明会』

昭和49年卒 翼明会 大前 実之

昭和49年卒翼明会です。今回は、我々が在学中の事を回想してみたいと思います。

昭和43年4月、中学入学式は明大の記念館講堂で行われました。

神宮で大学野球が始まりますと神宮に応援に行きました。当時のエースは御存知、星野仙一先輩でした。「頑張れ星野！」と応援した事を思い出します。

夏休みは、明大の「信濃学寮」という八ヶ岳の施設で林間学校がありました。チータより怖いOB先輩が指導に来て毎日のようにしごかれました、中でも「訓練」という

メニューがあり、これは後になつてわかった事です。戦時中に海軍年少兵の訓練と全く同じ事をやっておりました。体育祭は、つつじヶ丘にある明大球場隣の明高グラウンドで、中・高一緒に行いました。12月の期末試験中に「3億円事件」がありました。

年が明け入学試験の時期になると、チータが一番張り切ります。短パン一丁で上半身裸になり1時間走りつ放しです。雪の日は裸足になって走られました。この授業を大学の競走部にちなんで「狂走」といっておりました。中2になると春の大学野球

で明大が久々に優勝しました。この頃の大学といえは大学紛争のまっ只中でした。この年の1月には東大の安田講堂事件があり、荒れた時代でした。お茶の水周辺も危険地帯で、授業が午前中で打ち切られ、早く帰れると喜んでいました。

中学3年になつた昭和45年は、万博、日航機「よじ号」乗っ取り事件、三島由紀夫の割腹自殺など色々な事がありました。暮れには、完成したばかりの「南志賀学寮」において初めてのスキー学校が行われました。そして中学の卒業式、なんと校庭にて挙行されました。ほとんどの者が明高に進学するといつても今では信じられない話ですよ。原稿の文字数がオーバーしましたので昭和46年から高校3年間の話は来年少せて頂きたいと思ひます。

祝 第47回総明会 総会・懇親会

49年卒 翼明会

翼明会役員一同

『明紫会』

昭和50年卒明紫会会長 服部 栄一

皆様におかれましては、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。総明会

も100周年が近づき、関係各位・役員の方々には、ご苦労が多い事と存じあげます。先日私共明紫会総会に、幹事学年の明心会が参加してくれました。11月19日に向かつてがんばっている様子が有りありと伺えました。

人と人とのつながりが財産である今日、紫紺の旗の下にあつまる明治魂をもった仲間というのは、貴重な存在であり、相互の発展にまた異業種間交流にもなるものと思っております。

私事ではありますが、現在

在浅草鳥越神社の十八ヶ町睦会において柳北という町の代表をつとめております。またこの睦会にも浅草橋周辺ということもあり、母校の卒業生が多く、総明会とはちがった先輩、後輩との出会いがあります。そういういった折もふと、明治とわかると、もうそこから他人ではなくなり、心をゆるし合う、付き合いになります。何処にいても母校の威光に出会い、自分自身がその中にいられることを大変感謝しております。

最後に本年度幹事・明心会の後輩諸君の成功を祈念しております。

祝 第47回総明会 総会・懇親会

昭和50年卒

明 紫 会

昭和48年卒 波の会
製菓原料卸
株式会社山口商店

代表取締役 **山口 隆**

〒143-0016
大田区大森北1-17-2
TEL.03-3761-4838
<http://www.yamaguchi-shouten.co.jp/>

ターカム保険企画(有)

日本興亜損害保険株式会社 代理店
日本興亜生命保険株式会社

昭和49年卒 翼明会 代表
代表取締役 **竹澤 啓**

〒134-0083 東京都江戸川区中葛西3-14-4
TEL.03-3675-9955 FAX.03-3675-9922 携帯090-3200-6139
E-mail takezawa123@yahoo.co.jp

(株)カントー・エステート
不動産賃貸業・管理業

宮下 守正

昭和49年卒

荒川区西尾久1-20-12
M2ビル301
TEL.03-3894-8161
FAX.03-3894-3682

PEP MATES www.pep-mates.com

**オリジナル
クラブタイ ☆ ネクタイ ☆ 30本から承ります!!**

☆ TEL 03-3663-8827 ☆ info@pep-mates.com

オリジナルグッズ企画・制作
ベップ・メイツ株式会社
代表取締役 大前美之(昭和49年卒・翼明会)

**藍
全**

昭和
50年
卒
明紫会

昭和50年卒 明紫会会長

袋物製造販売
(株)服部

服部 栄一

吉武孝生税理士事務所
昭和五十年卒 明紫会

〒121-0813 東京都足立区竹の塚一三六十七
エンゼルハイム竹の塚駅前二一〇
TEL.03-585-1152
FAX.03-585-1152
E-mail:y@tax-yoshitake.com

お車のトータルサービス

代表取締役 社長 **服部 憲一**
(昭和50年卒明紫会)

(株)服部自動車鈑金工業

〒179-0073
東京都練馬区田柄5-22-20
TEL 03-3990-8541
FAX 03-3998-0177
E-mail:ken@hattori-auto.com

焼鳥

吉和

昭和50年卒 明紫会 木屋 満

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-7-6
TEL・FAX 03(5541)5761

昭和50年卒 明紫会

高橋郁夫

ダイアナ株式会社



www.dianashoes.com

(有)太陽精器製作所
昭和五十年卒 「明紫会」

代表取締役

世古俊之

〒一四三〇〇一五
東京都大田区大森西七一二十
電話〇三三七六一九八八二
FAX〇三三七六一九八八二

無垢素材を生かす家造り
やすらぎ住まい工房
株式会社 角 伊
代表取締役 小井土 功
昭和五十一年卒 明々会

〒三三三〇八五一
埼玉県川口市芝新町九十二四
電話〇四八二六六一二四五五

専務取締役

宮本 敏治

昭和53年卒

宮内庁御用達

箒勝本店

箸問屋

千代田区外神田3-1-15

TEL.03-3251-0840



株式会社 小島商会

自転車部品・用品卸

代表取締役

小島 隆司

昭和53年卒

東京都台東区上野1-6-5

TEL.03-3831-9792

坂本自動車工業株式会社

坂本 裕康

(昭和53年卒紫友会)

東京都江戸川区篠崎町6-13-26

TEL 03-3670-4161

FAX 03-3670-4170

昭和53年卒 マンドリン部OB

弁護士 高木 茂

銀座法律会計事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-3 セントラルビル6F

TEL.03-6228-4487 FAX.03-6228-4489

練馬 高野台

ネーチャーズフォーレストグループ

代表 横山 茂樹 (昭和52年卒男子校根性組)

本店 東京都練馬区高野台1丁目7番3号NFプラザ3-210

TEL 03-3996-0612 FAX 03-3996-0630

http://www.neritaka.net/ E-mail: nfsy@opal.famille.ne.jp

みんなが、参加して創る、地域活性化のための町づくりを目指して頑張っています。

ネーチャーズフォーレストの名前の由来は、人々の心を癒す森をイメージして名付けられました。

『明々会』

昭和51年卒 明々会会長 萩原 秀紀

本年3月11日の東日本大震災による悲惨な被害については、大変心を痛めてきたところであり、被災された方々やその関係者の皆様には、心からお見舞いを申し上げる次第であります。

日本全国が自粛ムードに包まれておりますが、同窓会まで自粛することはありません。ということで、関東甲信地方が梅雨明けし、最高気温が何と35度を超えるに至った本年7月9日(土)、恒例の昭和51年明治高校卒業生の同期会である明々会の総会

及び宴会(二次会)を、上野不忍池のほとりにある「東天紅・海燕亭」において盛大に開催いたしました。明々会は、ここ数年、7月の土曜日に開催しており、今年も猛暑の中、毎年見る顔、久しぶりに見る顔などが合計30名近く集まり、旧交を温めあいました。

また、宴会の途中に、他の会とブッキングしたため最初から参加することができなかつた清水元校長先生も駆けつけてくださいました(毎年おいでいただき、本当にありがとうございます。いつまでも

お元気でご参加願います。)。もつとも、卒業してから既に35年を経過しているの、高校時代の面影がほとんどなくなっている者もあり、失礼とは思いますが、「どなたでしたっけ」などと聞いてしまうこともありました。

さて、今年の明々会総会の主たる議題は、明治大学理工学部教授であり総明会の副会長である同期の井家上哲史君を、明々会の名において、再度総明会副会長に推薦しようではないかということであり、当然のことながら、満場一致で推薦することが決定されました。

そして、総会及び一次会終了後は、二次会場である上野のカラオケボックスになだれ込み、引き続き飲めや歌

えの大宴会に突入しました。総会及び一次会の席では、まだ酔いがまわっていないせいか、何となく控えめなやり取りをしていた者も、二次会では別な形で盛り上がりつついたことを付け加えさせていただきます。

最後になりますが、当日は、本年の第47回総明会の幹事学年である明心会の大山実行委員長をはじめとするメンバーも参加してくれましたので、少しでも運営の足しになるよう、皆で携帯ストラップの購入、広告の注文など、資金面での協力をさせていただきました。本年の第47回総明会が、大震災後の沈滞したムードを一掃するほど大いに盛り上がるよう、幹事学年の皆さんがんばってください。



荒川産業株式会社

代表取締役社長 前田 稲一郎 昭和51年卒
〒111-0024 東京都台東区今戸2-14-6
TEL03-3874-8191 FAX03-3874-8035
URL: <http://www.arakawasangyo.co.jp>



厨房のアメニティを創造する 津守興業株式会社

代表取締役 津守 徹
(昭和51年卒 明々会)

〒332-0001
埼玉県川口市朝日5-5-22
TEL 048-222-6187
FAX 048-222-8584
E-mail: tsumori@luck.ocn.ne.jp

株式会社 フルヤ 空調・給排水設備 設計施工

古屋 修蔵 (昭和51年卒)

〒111-0053
台東区浅草橋5-2-2-201
TEL.03-3864-0771
FAX.03-3864-7282

豆菓子・おかきの店 青山但馬屋 太田垣 政紀 (昭和51年卒 明々会)

〒107-0061
東京都港区北青山2-7-11
TEL.03-3401-2843
www.aoyama-tajimaya.co.jp

プラスチック製品製造 株式会社 プラテック

代表取締役
林 伸光

〒339-0034
埼玉県さいたま市岩槻区笹久保1137-2
電話 048-791-7311(代)
FAX 048-791-7312
E-mail: Platec@image.ocn.ne.jp

昭和五十一年卒 明々会
総合不動産
株式会社 エヌエフ・ヴィレッジ
取締役 事業推進室 室長
吉田 博
〒177-0033 練馬区高野台1-17-7 NFプラザ
TEL 03-3591-0155
FAX 03-3591-0156

慶應義塾大学
教授
栗野 祐二
昭和51年卒
明々会

モップ・清掃用品・テント・シート
袋物から大型品縫製加工

株式会社 岡 仁
代表取締役 岡本雅仁
昭和51年卒 明々会

〒106-0047
東京都港区南麻布2-4-12
TEL.03-3451-3671
工場: 栃木県大田原市

祝 第47回 総明会総会・懇親会

明々会

昭和51年卒

『オレ達の明治の流行——男子校根性組』

昭和52年卒 男子校根性組 香取 輝忠



JAZZといもやの天井とビリヤードを愛した男たちが5月28日の同期会に集まりました。今年は後藤先生もお越しいただきました。

「あなた…やっぱりメイジねえ。ホント趣味がダサイわ！」昭和53年当時、GFから突如浴びせられた言葉だ。

デートでビリヤードに誘ったのがまずかった。当時さくら通りの映画館の跡にあった薄暗い店に、独りでソファに座らせたまま延々と玉を突いていると、いつの間にか彼女を忘れた。「見ろよ、この技、ゴキブリボールというのだぜ」振り返ると、そこには誰もいない。慌てて店を飛び出し、彼女の跡を追った。「待てよ、それじゃ『響』に行こう」「お喋り禁止でしょ？ JAZZ 喫茶は」なら飯だ。いもやの天井。大盛り全部食うと無料だぜ」彼女の顔は冴えない。

何処ならば行くのか？と尋ねると、元町のフクゾーとミハマがいいと言う。「横浜か…遠いな。電車賃かかるし、アメ横じゃだめか？ここから近いぜ」ついに彼女の怒りは頂点に達した。そして冒頭のセリフに至ったのだ。

「やっぱり付き合うならケイオーね。サーフィンにフュージョンの男子がいいわ」勝手にしろと怒ってみせると、そうするわ、と彼女はあっさり答えた。かくして短い春が終わった。内心手痛い失恋であった。

それから20年が経った。時はバブル末期。私は後輩社員たちとプールバーに居た。ワインレンを掻きあげて総務の亜美が言った。「JAZZがお好きなのですね？」高校時代

は誰でも聴いていた「サーフィンは好きか？」と尋ねると、今どきそんなの…と彼女は笑った。フュージョンに至っては名前すら知らないという。今度NARUに誘って下さいと彼女は微笑んだ。

他の男性社員たちが、私をナインボールに誘った、若手には40のオヤジはいいカモに見えたはずだった。

しかし、結果は反対だった。「つ…強ええ…先輩、トルネード、上手いッスね」「そんな名前じゃない。この技は」私は笑った。「ゴキブリボールと言うのだ」カウンターから亜美が手を振っている。「メイジ、かっこいいです」しかし、春は遅すぎた。妻が決めた門限が迫っていた。



フランチャイズチェーン

コマダ珈琲店

代表取締役 社長

布施 義男

(昭和52年卒)

株式会社 **コマダ** 名古屋市東区葵 3-12-23 〒461-0004

本部 TEL052-936-8880 FAX052-936-8881

URL <http://www.komeda.co.jp/> E-mail: y.fuse@komeda.co.jp

昭和52年卒

男子校根性組

佐藤 大英

曹同宗圓通寺

墨田区向島 3-1 1-6

<http://www.entuuji.or.jp>

中学入試をめざす小学生対象の算数塾です。

ティープロ算数
TEACHING PRO

代表 香取 輝忠 (昭和52年卒)

千代田区神田神保町 2-15 第一富士ビル6F

TEL 03-3263-0667 FAX 03-3263-0668 <http://www.tpro.co.jp/>

印刷・紙器・ラベル

有限会社 **眞陽紙工所**

代表取締役社長

有田 幸訓

(昭和52年卒 男子校根性組)

☐ 本社工場

〒130-0003 墨田区横川1-13-1

TEL.03-3624-7861 FAX.03-3626-4935

URL <http://www.shinyou.co.jp>

☐ 第二工場

墨田区横川1-4-7

TEL.03-5819-1445

☐ 第三工場

墨田区横川1-4-4

TEL.03-3625-3209

E-mail arita@shinyou.co.jp

祝 第47回総明会 総会・懇親会

株式会社 **大西静商店**

取扱商品: 貸事務所・パーティーグッズ

代表取締役

大西 静士郎

男子校根性組(昭和52年卒)

〒101-0032

東京都千代田区岩本町2-10-2-1001

TEL.03-3866-6097 FAX.03-3866-6098

携帯.090-2533-0189

E-mail seishiro-o@nifty.com

<http://www.playave.com/>

祝 第47回総明会 総会・懇親会

昭和52年卒

男子校根性組

<http://www008.upp.so-net.ne.jp/dankongumi/>

『明誠会同期会報告』

昭和54年卒 明誠会 菊地 孝一

東日本大震災から三ヶ月
余りの六月十八日、日本橋人
形町、中華料理「明華園」に

おいて、第九回明誠会総会、
懇親会を執り行いました。

震災の後ということもあり、
同期会という目的に加え、被災地
応援もサブテーマに掲げました。会
員有志からの義援金を預かり、被災地
に支援しようというものです。

また、「明華園」のご主人が東北地方の出身ということで、
当日のメニューには東北で採れた
野菜をふんだんに使用してもらい、
消費でも被災地に貢献すること
としました。

震災の直後は何でもかん

でも「自粛」ムードの渦中でしたが、
そろそろモヤモヤを吐き出そうよ
という空気は、当日皆の中に共有
していた様で、それぞれ話に花が
咲き、旧交を暖めていたよう
です。

明誠会の場合、幹事は前年度からの指名制を採っています。
今年は偶然にも野球部出身の
三名が指名されたこともあり、同
じクラブ出身者がさらに四名集
合し、合わせて七人の野球部同
窓会の様相も呈しました。幹事
を固定しないことで、参加メン
バーにその年の特徴が出て、結
果的に毎年違う顔ぶれが揃う
という効果があるのではと思っ
ています。

同期二十九人に、総明会幹
事学年の明心会二人を加えた
三十一名で一次会を過

ごし、二次会には明心会会長
も合流して、楽しい時間は過
ぎて行きました。

東北地方の野菜を食って、
義援金も三万円集めて明治大
学校友会を通じて被災地へ届
け、明心会へも寄付＆グッズ
購入でエールを送る。この様
に盛り沢山の明誠会でしたが、
なんとこれも卒業以来三十三
年振りの再会と旧交を暖め合
い、最後は「おお明治」を真
つ赤な顔で歌えば、卒業した
昭和五十四年にタイムスリッ
プした様で、いつもと違うい
い気分です。三々五々家路に
着きました。明心会の諸君、
当日はお疲れさまでした。
十一月の総明会の盛会を心
よりお祈り申し上げます。



Wako Real Estate Investment Co., Ltd.

和光アールイーアイ株式会社

代表取締役

熊澤正幸

昭和54年卒

〒102-0072

千代田区飯田橋4-1-11 六洲ビル

TEL.03-3512-0750

FAX.03-3512-0753

<http://www.wako-rei.co.jp/>

矢ノ目忠税理士事務所

昭和五十四年卒 明誠会

〒三五・〇〇四八

江東区門前仲町二・二一六

えとりビル三階

電話 〇三・五六三九・七七六一

FAX 〇三・五六三九・七七六一

E-mail: yanome@yanome.jp

伝票・各種帳票類・下げ札
商品台紙・ステッカー 他
印刷ご用命下さい。

アライ巧芸印刷(株)

代表取締役 荒井信之
(昭和54年卒明誠会)

東京都墨田区石原4-10-6

電話 03-3625-3717

FAX 03-3625-3760

昭和54年卒

明誠会

(株)朝倉鋳物

代表取締役

朝倉一寿

株式会社 アイケーシー

代表取締役

池田浩司

(昭和54年卒明誠会)

〒104-0031

中央区京橋1-17-12吉住ビル4 F

TEL03-5159-7080FAX03-5159-7082

URL: <http://www.ikee.jp/>

株式会社クロス

昭和54年卒 明誠会

黒須康之

荒川区東尾久6丁目3-10

TEL. 03-3892-5426

暮らしの衣料 まつざわ
株式会社

調布松澤屋

取締役

松澤和昌

(昭和54年卒明誠会)

〒182-0026

東京都調布市小島町1-34-12

TEL 042-482-2634

常住事務所

税理士・行政書士

常住 豊

(昭和54年卒明誠会)

東京都北区赤羽西1-5-1-606

(アビレ・赤羽アボード Iビル内)

TEL03-3905-6981

FAX03-5963-7430

昭和54年卒

吉田正穂

明誠会

祝 第47回総明会 総会・懇親会

昭和54年卒同期会

明誠会

http://1st.geocities.jp/meiji_s54/index.html

『紫魂会』

昭和55年卒 紫魂会 渡辺裕之

本年度の幹事学年の皆様は色々大変だったと思いますが、無事に総明会総会・懇親会を開催で

きますことを心よりお祝い申し上げます。

紫魂会では、年1回の懇親会と年2回春と秋にゴル

フコンペを行なっております。今年の懇親会は昨年同様秋葉原「万世」で7月9日に行いました。本年は50才の大会に乗る年で、学生時代の面影は多少残っているものの皆、頭が寂しくなっていたり、メタボ体型になっていたりと外見はおやじモードですが、乗りは

学生気分であつという間の2時間でした。

2次会は同じ秋葉原で場所を移して行ないましたが、我々幹事の読みがあまく予想以上の人数が流れ、皆に窮屈な思いをさせてしまいました。申し訳ない！

還暦を迎えられた「獅子の会」の先輩

方は同期みんなでお祝いをしたと伺いました。我々も10年後には還暦をみんなでお祝えるよう、元気で毎年、会を続けていければと思います。

紫魂会

渡辺裕之

税理士

廣田 敦

昭和55年卒

廣田税務会計事務所

〒330-0841

さいたま市大宮区東町2-201

TEL. 048-641-6679

FAX. 048-647-8383



中華ファミリーレストラン



孫悟空

細田店 葛飾区細田 1-5-6
TEL 03-3650-0059

新村秀男 葛飾区議会議員
(昭和42年卒)

コンクリートボーリングマシン
カッター製造メーカー

吉田機械工業
株式会社

昭和54年卒

代表取締役

吉田 雅博

埼玉県川口市本蓮2丁目8番6号

たまりや

溜屋 近藤商店

創業寛永2年真心と癒しの心を大事にします。
安心と信頼の葬儀をご提供いたします。

代表取締役

近藤 俊彦

昭和48年卒

相談役

比留間 竹郎

昭和45年卒

〒120-0034 東京都足立区千住5-18-10
http://www.tamariya.jp/ TEL.03-3881-2562

花や鉢物のお届けします。

昭和45年卒

株式会社
ポトマックガーデン

代表取締役

平 田 幸 彦

〒107-0052

東京都港区赤坂7-8-13

TEL 03-3589-0687

FAX 03-3583-9423

帽子製造卸 東 栄
株式会社

代表取締役 土田 饒 (昭和31年卒明楽会)

専務取締役 土田 正昭 (昭和61年卒)

〒103-0002 中央区日本橋馬喰町1-3-5

TEL 03-3664-0810

FAX 03-3664-0033

E-mail toei@beach.ocn.ne.jp

株式会社 森田質店

昭和60年卒

代表取締役 森田 聡一

〒279-0002 千葉県浦安市北栄2-7-1 TEL.047-351-2502 FAX.047-351-5681

http://www.morita78.com/

『明翔会』

昭和56年卒 明翔会 狩野 智雄

『明翔会』同期会の総会・懇親会を本年7月9日、四谷四丁目の「天福飯店」にて盛大に行いました。暑い中・忙しい中、31名の同期が駆けつけてくれました。

総会は衛藤庶務の司会進行により、まずは鈴木望文会長の挨拶に始まり、飯野副会長の事業報告及び計画、蓬田会計の会計報告及び予算案、そして白畑監査の監査報告と続き無事終了しました。

そしてお待ちかねの懇親会タイムです。今回は山田覚君が幹事を務めてくれました。

中華料理の食べ放題・飲み放題ということ、遠慮なく注文をし、飲み始めました。

お店の宣伝になってしまいましたが、100種類もある料理を注文し放題ということで、まずビックリ、値段も非常にリーズナブルでさらにお味の方もいけてるんです！

今年は、1月22日に新年会を八重洲の「水喜」で開催し、その時から引き続き参加してくれている同期も多く、本当に集まってくれてありがたい限りです。今後もしこういった同期の輪を少しづつ広げて、出来る限

りずーっと続けていけたら良いなあとつくづく思いました。

まあ懇親会はご想像の通り、飲み始めてしまえば単なる酔っ払いのおやじで、ざっくばらんに以前は同じクラスでなかった同期とも親しくなり、お店に迷惑を掛けない？程度に盛り上がりました。そして最後に校歌をなつかしのピタこと高田君によるリーダーで皆で熱唱しました。（声出

てたよねえさすがボーカリスト？）この後すぐ帰る訳もなく、大半の同期は新宿御苑方面に向かつて歩き、2次会場へと向かい、またまた大いに盛り上がりました。この後は思い思いに分科会と称してサラリーマンの聖地や錦の都方面へと消えて行ったようです（細かい詳細は不明・・・）。

今年は、役員の改選もなく任期がもう1年ありますので、引き続き、上記役員並びに、開発渉外・須藤企画・名古屋名簿の各担当役員及び斉木評議員とHP担当で寺村君の協力も含めよろしく願います。

そして今後は、新年会や今回の懇親会に参加してくれた同期やこれから参加してくれるであろう同期の皆で、役員とか幹事とかそういうことじゃなくて、一緒に盛り上げて行つて頂ければありがたい限りです。

終わりに今年の幹事学年「明心会」の実行委員長大山君、渡邊君、藤原君も忙しい中、駆けつけてくれたことに謝意を表しますとともに、今年の総明会総会・懇親会の盛会を心よりお祈り申し上げます。後は明翔会HPを見てね！

ヤマダ社会保険労務士事務所

社会保険労務士

山田 覚

Satoru Yamada

昭和56年卒 明翔会

〒245-0061

神奈川県横浜市戸塚区汲沢2-1-5-D607

TEL/FAX.045-865-6282

税理士法人 狩野会計社

www.kanou-kaikeisya.com

代表社員 税理士

狩野 智雄

(昭和56年卒)

〒114-0002 東京都北区王子2丁目28番2号 Tel:03-3913-1964 Fax:03-3912-0835
IP:050-5517-4071 Mobile:090-1534-8396 E-mail:tkanou@kanou-kaikeisya.com

昭和五十六年卒
須藤司法書士事務所
須藤 貢一
〒三五〇〇四六
江東区牡丹二一九一六九一四
TEL〇三三六四三一六五〇

総合建設・不動産

正宗産業株式会社

代表取締役 市川 洋治

(56年卒)

〒210-0834

神奈川県川崎市川崎区大島5-8-13

電話 044-244-1054(代)

FAX 044-211-3256

神田天井家

(旧天井いもや)

神田神保町3-1-14

(9月より移転しました)

営業時間:11時~16時

日・祝祭日定休日

神保町駅A1出口より徒歩1分

TEL.03-3293-0366

株式会社東新理興

板硝子・理化学製品は齊木におまかせ!

昭和56年卒 明翔会

代表取締役 齊木 麻州男

〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-4

TEL.03-3814-7565 FAX.03-3818-0208

祝 第47回総明会 総会・懇親会

明翔会

(昭和56年卒)

<http://www.k4.dion.ne.jp/~terachan/>

同期の皆さんホームページを御覧ください。連絡お待ちしております。

『明魂会』

昭和57年卒 明魂会 菊池 正純

「明治魂の伝承」をスローガンに掲げ、われわれ明魂会が幹事学年を務めさせていただいてから、早や2年が経ちました。ANAインターコンチネンタルホテル東京での懇親パーティー最後のあの大地を揺るがすような校歌の大合唱は、一生忘れることのない思い出となっています。

めつつ、今は後輩諸君にもこの「宝物」を掴んでほしいと、叱咤激励する立場になっています。

よく後輩諸君から、「幹事学年のときに何人集まりましたか」と問われます。答えは、250余名の同期のうち、連絡先を把握できている者が約200名、総明会総会にスタッフとして参加した者が約60名です。学年それぞれに状況は異なると思いますが、幹事学年のときの状況を「少なくとも」維持したいというのが、共通の思いです。

そして今は、先輩諸兄からいただいた「幹事学年を乗り越える」と一生の友人ができる・だから頑張れ!」との叱咤激励のお言葉を胸に秘

はないでしょうか。

明魂会では、今年も6月に定例の懇親会を開催し、幹事学年（明心会）からの出席も得て、大変楽しいひとときを過ごしました。今回初めて顔を見せてくれた同期が多かったのは嬉しいことでしたが、参加人数は30名ほどに留まりました。なんとか50名を超える会を維持したいと思っていたところ、田中幹浩明魂会副会長の発案により、今後は懇親会の幹事を持ち回りにし、幹事を中心に斬新な企画を考えて、一人でも多くの同期に出席してもらえようと呼び掛けていこうと、満場一致で決まりました。

われわれ「明魂会」は、これからも、更なる『飛躍』を目指していきます!

祝 第47回総明会総会・懇親会
頑張れ! 明心会!!

明魂会

昭和57年卒

<http://www.meikonkai.com>

総明開発株式会社

昭和57年卒 明魂会
硬式野球部OB会

代表取締役

染谷 貴男

〒340-0052
埼玉県草加市金明町473-4
TEL.048-946-2000
FAX.048-946-1700

神奈川歯科大学

大学院研究科長
生体管理医学講座薬理学分野
バイオラジカル研究所

教授 **李 昌一**

昭和57年卒 明魂会

紙一般包装資材企画販売 近代紙業株式会社

〒340-0834埼玉県八潮市大曽根1420
<http://www.kind-ai.co.jp>

昭和57年卒 明魂会
地理研究部OB会

小林 謙之
KENJI KOBAYASHI
k-koba@kind-ai.co.jp



平成3年卒

常務取締役

廣田 拓郎

東京都台東区浅草橋2-13-9
TEL. 03-3861-5151

<http://www.lighttec-inc.jp/>

株式会社 レストラン・ピガール 明大1号店

ケータリング パーティー
各種お弁当承ります。

〒182-0033
東京都調布市富士見町4-23-25
明治大学付属明治高等学校・中学校内
TEL/FAX.042-480-9703
担当総括支配人 山口剛志

昭和58年卒 明輪会

有限会社 遠藤印刷

遠藤 憲治

東京都千代田区飯田橋3-2-3
TEL 03-3262-2025

建材・住宅設備機器専門商社

株式会社 **タカムラ**

高村 昌秀

昭和58年卒

東京都世田谷区代田5-7-6
TEL.03-3414-5101

昭和58年卒 明輪会

石原クリーニング(株)

石原 清隆

www.ishihara-cl.com



本 社

営業本部

建築資材総合商社 株式会社オオモリ・マテリクス

代表取締役 **大森清貴**(長男 明治大学硬式野球部 主務3年)

〒101-0023 東京都千代田区神田松永町18番地
TEL.03-3253-9411 FAX.03-3253-9418

〒135-0053 東京都江東区辰巳2丁目3番1号
TEL.03-5534-7700 FAX.03-5534-7708

『明輪会』

昭和58年卒明輪会

並木 功



僕ら明輪会の総会は7月16日(土)に同期の井上君のお店で賑やかに開催されました。昨年11月の総明会総会の開催が随分前のことに思えますが、それ以来の再会となった旧

友たちとも、時を感じさせない一体感の下、大塚委員長の挨拶を皮切りに、お酒を飲みながらワイワイガヤガヤと緩い感じ(笑)でスタートしました。

総明会総会の報告を各委員長が報告した後、今回の最大の議題である「今後の活動」についての提案がいくつか挙がりました。同期の死と総明会の準備を発端に再開した同期の輪を、今後如何に楽しく長く続けていくか、一人でも多くの同期が集まれる環境を作るか意見が出されました。

僕らの代の名称は「明輪会」です。「東京五輪」と「ひとのわ ころのわ」がKey Wordです。みんなが覚えやすいように、オリンピックの年には少しだけ派手に、それ以外の

年は分相応に、でも必ず毎年みんなで集まって旧交を温めようということになりました。

来年はロンドン五輪の年です。チョットだけ派手にやりますので運営役員を選出し準備を開始します。同期の中の会報委員も決まり、みんなの近況報告などが掲載された会報がお手元に既に届いていると思います。

会には岸先生もお見えになり、未だご活躍のシニア演劇についてのお話など、人生の先輩としてのお話も聞くことが出来ました。

今回、卒業以来初参加の方がいたことは嬉しいかぎりです。こうやって一人でも多くの同期に輪が広がっていくことを目標に、懇親会、二次会と楽しい夜は更けていきました。

祝 第47回 総明会・懇親会

頑張れ!明心会!!

めい わ かい
明 輪 会

去年はありがとうございました。

ひとのわ
ころのわ

有限会社クリーニング
アカシヤ

昭和58年卒 明輪会

小野 洋

東京都目黒区鷹番3-7-18
TEL 03-3714-0425

一番碾き蕎麦

よしみや

大塚 達宏 (昭和58年卒)

大塚 啓史 (平成23年卒)
明治大学1年

川崎市宮前区小台1-19-5-B1
TEL.044-853-0753
よしみや.jp

昭和58年卒 明輪会

青木経営法務事務所

行政書士

青木 正美

東京都江戸川区南篠崎町4-25-4
TEL 03-3676-5420
FAX 03-3676-5421

昭和58年卒 明輪会

坂井 周太郎

Music & Dining Bar

La Cuji

東京都文京区根津2-26-1
携帯: 090-8330-6827
E-mail: bar.lacuji@ezweb.ne.jp

海鮮居酒屋

はなの舞湯島店

昭和58年卒 明輪会

井上 直樹

東京都文京区湯島3-24-13
東京家具会館ビルB1
TEL 03-3836-5945
ホームページ
<http://r.gnavi.co.jp/g192815>

(有)ブレインウェーブ

57 明輪会 58 明輪会
川口明高会

大熊 健介

☆精工実業株式会社
総合不動産業

日本料理 手打ちそば

浅草 十和田

富永 龍司

昭和58年卒 明輪会

台東区浅草1-13-4
TEL. 03-3841-7375

公認会計士

根津 光弘

昭和59年卒

明心会

ホームページ、パンフレット、カタログ、広告チラシ、メニュー、看板
など、イメージアップに役立つデザイン制作を行っています。
お気軽にご相談下さい。

グラフィックデザイナー

島村 武史 昭和59年卒
明心会

〒171-0052 豊島区南長崎3-31-14
TEL.03-5996-6828 FAX.03-5996-6833
<http://www.shimamura-design.com/>

かつ亭 おし田

こだわりとんかつ

押田 光央

昭和59年卒 明心会

埼玉県草加市谷塚1-2-45
TEL.048-929-1318
<http://katsu-oshida.com/>

『明心会』

昭和59年卒明心会 押田 光央

私は、幹事学年で寄付広告を担当した押田と申します。中学では野球部、高校ではマンドリン部に所属しておりました。

昨年、「明心会」は紫紺館



に於いて同期会を26年間の時を経て開催する事が出来ました。総明会の「幹事学年」が存在しなければ「あの感動！」は一生涯味わえなかつたと思います。すでに3回目の同期会を7月に行いました。

私が幹事学年のお手伝いをさせて頂くきっかけになったのは、同期会出席後、人生の折り返し地点を通過しているにもかかわらず、知人との繋がりが希薄していた事と、明治を愛するアツイ先輩方、同期たちとの再会が今の自分の誇りになったからであ

ります。誇れる母校を持てた幸せを感じております。「明治中高の気質(心)」は、先輩を敬い、自分達の意見をしっかりと発言し、後輩達を温かく見守る「そんな「心」をつないでいく」という意味合いからと自分では思っております。

「未来へつなぐ絆」100周年に向かって」をテーマに総明会総会・懇親会パーティーをむかえますが、東日本大震災の影響もあり、「明輪会」の先輩の試みでありました「明大明治カミング」を引き継ぐ事が出来ませんでした。が、先輩の意志は引き継ぐ事が出来る様、精一杯頑張ります。最後になりますが、総明会の今後のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

第47回 総明会総会・懇親会

未来へつなぐ絆
～100周年に向かって

本年度幹事学年
昭和59年卒

めい しん かい
明 心 会

11月19日(土)の総明会には皆様のお越しを心よりお待ちしております。



株式会社
横濱屋

- ◎業務用酒類卸
- ◎スーパーマーケット
- ◎酒類専門店

横浜市南区宮元町4-93
TEL.045-712-2670

お酒の横濱屋 蒔田店 店長

昭和59年卒 明心会
硬式野球部OB

大山 輝芳

有限会社**忠建商事**

不動産の有効活用 売買・賃貸・企画・管理

昭和59年卒 明心会 硬式野球部OB
代表取締役

渡辺 憲一

〒224-0001
横浜市都筑区中川7-17-18
TEL. 045-911-3011

<http://www.chukenshouji.com/>

田中重幸税理士事務所

昭和59年卒 明心会

税理士 **田中重幸**

〒133-0044 江戸川区本一色1-23-13
TEL.03-3674-6127

<http://www.tanaka-kaikei.com/>

株式会社 **山泰製作所**

取締役 山本 雅宣 (昭和59年卒)
営業部長 バスケット部OB

〒949-6775

新潟県南魚沼市宮字西原2294番8 (津久野工業団地内)

TEL 025-773-3428 FAX 025-773-2763

E-mail masanobu-yamamoto@yamatai-mfg co jp

丸喜株式会社

FOOTWEAR製造卸

専務取締役

河原 勢朗

昭和59年卒 明心会

〒111-0032

東京都台東区浅草6-4-12

TEL.03-3876-1751

FAX.03-3875-6168

s-kawahara@maruki-net.com

株式会社 **エヌエスピー**


World Wide Web Hosting
& Authoring Services

代表取締役社長

根津 光弘

昭和59年卒 明心会

<http://www.nsb.ne.jp/>

 @mnezu

昭和59年卒 明心会

ライフプランナー

渡邊 文夫

ソニー生命保険株式会社

新宿ライフプランナーセンター第9支社

東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビル4F

TEL.03-5358-1709 携帯 090-4376-6146 SL11-4290-0020

『闘紺会』

昭和60年卒 闘紺会 渡辺 智郎

昭和60年卒業の同期会を『闘紺会』と名付けさせていたきました。

我々、60年卒業生は、当時のバブルに乗り遅れ、その後の長く、今に到るまで出口の見えない混沌とした世の中を果敢に歩んだのではないかと思います。そんな世知がない

世の中でも、往年のアントニオ猪木のように、勝つまで諦めない『闘魂』に感動した青春時代の思いを表現すべく、『闘魂』に掛けさせていただいたのは言うまでもありません。紫紺の旗を胸に秘め、果敢に闘い続けよう！という気持ちから、命名いたしました。

正直なところ私どもの卒業年次は、あまり同期会を開くことがありませんでした。各々のクラブ、同期の結婚式の二次会などで三々五々集まるのが関の山で、卒業以来二十余年、数回しか集まっておられません。

ところが過日行われた、山田伸夫先生『卒業』慰労会『ヤマダ大感謝祭』においては想像以上に同期があつまりました。それは、本当に懐かし

く、中学・高校時代にタイムスリップした感覚でした。五周りぐらい太ってしまった友。有名企業にて重責を担う立場の者。白髪になったやつ。

集まった同期から、あいつは、いま介護の関係の大手の会社で、社長になったみたいだよ、とか。この間、日経に載っている、びっくりだよ！なんていう、うれしい話。また、あいつは、去年亡くなったみたいだ。突然死だつて……。などという悲しい話。あれやこれや話が渦巻く中、宴も佳境に入り校歌・応援歌が始まり、卒業以来、二十余年ぶりに接した『白雲なびく』に、感動のあまり泣き崩れた同期もありました。そんな友を目の当たりにして、私自身、「改めて明高を卒業して良かった」と思っ

たと同時に、みんなそれぞれ、苦勞してここまで来ているのだらうな、と涙腺が緩みました。私どもの同期は良く言えば個性的で、まとまるかどうか憂いがあったことも事実です。山田先生から機会をいただき

六十年同期三十余名が集い、その場にて、同期会の、結成集会となりました。これを機に、同期一人でも多くの熱い思いを集結できる場として闘紺会が機能できたらと考えます。

代表に生徒会長を務めた柔道部OB田中宏昌が就任いたしました。

我々同期会は、

一、我々同期、最後の一人が命尽きるまでこの会を運営すること。

一、同期一人々が元氣の出る、有意義な情報交換の集まりとすること。

一、我々幹事学年の総明会総会が、総明会発足以来の動員がなされること。

以上を目標に運営したいと思

います。
何かと、至らぬ点が多々あるかと存じますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

『川口明高会』

昭和59年卒 明心会 島村 武史

平成23年2月16日(水)

川口の駅に十数年ぶりに降り立った時、ずいぶん風景は変わっていましたが妙に懐かしい気分になりました。そ

ういえば、昔川口の同期の家に、よく遊びに行ったなあ。そんな懐かしい川口で開催された、川口明高会の例会に幹事学年としておじゃましました。

川口在住の明高卒業生が中心のこの会は、川口を離れた方はもちろん、川口以外在住の方も、集まる楽しい会だそうで福島校長以来、30年以上の歴史があり、開催場所も、34年卒の内木先輩の経営する「海老家味可久門」というお店で毎年開催しているそうです。

今回は、海外に移住される前幹事長の事務局長の送別会も兼ね、そして今年勇退された山田先生をお招きしての内容の濃い会だったようです。

そして目を引いたのは、写真にも写っている20周年の時に制作された川口明高会旗です。この会はただの明高卒業生の会ではないと思いました。この会旗に、川口明高会の地域密着型明高生の絆の深さを感じました。この暖かい会が、末永く続くことをお祈り申し上げます。

そして、私たち幹事学年にたくさんの寄付・広告のご協力、心から感謝申し上げます。サポートしていただいた、明輪会の先輩方誠にありがとうございました。

川口明高会 (創立 昭和53年)



川口明高会旗

初代会長	大熊 康浩	二九卒
二代会長	目良 昇	三一卒
三代目会長	久松 勇	三三卒
四代目会長	天野 洋一	三五卒
五代目会長	荻野 布昌	四〇卒 物産
六代目会長	石井 次男	四三卒
七代目会長	由本 俊昭	四五卒
八代目会長	土屋 悌一郎	四八卒
【事務局】		
川口市 307-14		
石井 君忠	五七卒	
048-294-3780		

『評議員・班クラブOB・OG会懇親パーティー』

総明会 総務委員長 大西 静士郎

総明会『評議員・班クラブOB・OG会』は、各卒業年から選出された代表の評議委員の方と各班、

クラブにて結成された各OB・OG会代表の評議委員の方が集まって定期的に行なっています。また、

堅い「評議会」とは別に親睦を深める場としての懇親会を年に1回のペースで行なっており、今年も7月2

日に総明会『評議員・班クラブOB・OG会』の懇親パーティーが秋葉原「肉の万世」ティアラホールにて開催されました。

今年は、昨年を上回る89名の方々のご参加を頂きました。さらに、明治高校よ

り笠松浩義新事務長、総明会ご担当の吉田重幸総務主任先生のご出席を頂き、盛大な会を開催することができました。

会は尾島会長の挨拶で始まり、笠松事務長からは明治高校100周年事業への総明会からの寄付に対するお礼が述べられ、母校と総明会のつながりを強く意識されているように思えました。

各委員会の堅い報告の後、昭和27年卒明高会米山耕右氏による乾杯の挨拶の後、吉田先生から学校報告と今年（平成23年）明治高校を卒業された新会員の代表・評議委員11人を紹介していただきました。さらに、その後各班・クラブO

B・OG会の出席者の方から活動状況のお話をいただきました。

今回は、組織委員会のご尽力もあり、平成23年卒業の新会員、総明会としては初めての女性会員も含めた、11名の若い方々が出席してくれたため、非常に盛りあがったように思えました。

今年の懇親会に参加してくれた調布校舎移転・男女共学化第一期生である新会員を見ると、総明会の新しい時代が近付いているように感じました。来年以降も、若い会員の皆さんが参加しやすいような雰囲気作りを考えていきたいと思っています。



祝 第47回総明会総会

明卓OB会
第32回 総会

日時:10月22日(土) 17:30

会場:明大紫紺館6F

多数のご出席をお待ちしております。

明治高等学校卓球部OB会
会長 高橋正侑(昭和38年卒)

図書班OB会

祝 第四十七回総明会総会・懇親会

連絡先 平田 幸彦

〇三・三五八九・〇六八七

大西静士郎

〇九・〇一・二四三・一一三三五

祝 第47回総明会 総会・懇親会

吹奏楽班OB会

会長 竹越利之
(昭和53年卒)

祝 第47回総明会総会

がんばれ明心会

歴史研究部OB会

会長	山形 英明	(昭和45年卒)
事務局長	大塚健太郎	(昭和37年卒)
監事	平沢 一義	(昭和42年卒)



明高写真部OB会

写真部OBの方、是非下記へご連絡ください。

写真部OB会発足委員 栗田 茂(昭和44年卒)

Email kurishige@pop12.odn.ne.jp

携帯電話.090-3138-5692 FAX.03-3677-2425

『硬式野球部OB会明球会』

昭和51年卒 明球会会長 一泉 二郎

平成23年7月17日午後1時58分、気温37度、府中市市民球場、今年の夏の大会2回戦対成蹊戦の試合開始。結果は、平野君の4安打完投、3対1の快勝。小林千春監督の日々のご指導の成果・結果の一端が表れた試合だと思えます。2万人近い観客席、本日も多くのOBが観戦にお越しになっていらっしゃいました。私も経験豊かな方々と楽しく観戦させて頂きました。温厚な澤田前監督、鋭い辛口コメントの岡崎元コーチ、紳士的で片山さんをカバーする小泉

さん、面白漫談解説の片山さん、お優しいな児玉さん、駿台クラブで活躍していらっしゃる田中確正さん、暑くて（人情も）厚くて、素晴らしいひと時を過ごしました。國井さんは前日色々と打合せを致しましたが、当日はご多忙にて観戦出来ず残念でした。また、毎試合観戦にお越しになっていらした前田さんの体調復活も祈念致しております。

6月25日の総会・激励会には、大澤さん・飯田さんが見えになりました。浮貝さん・大澤さんから甲子園の思い出

を語って頂きました。当日練習試合を行った安田学園の

森泉さんも、たまたま遠くからお見受け致しました。お体が大きくなれた感じですが、お元氣そうで良かったです。

しかし、先日安田学園が惜敗してしまったのは、誠に残念でした。森泉さんのご心労は如何許りかと思います。

多くのOBがグラウンドにいらつやっています。小林監督のご人徳と思料致します。毎日泊まり込みでご指導されている監督始めコーチの方々のご努力に敬服致しております。

私は、常日頃から、ストレートに解り易くお話をされる小林監督に大変助けられており、とても感謝致しております。

小林監督、更なる益々のご活躍を心から祈念致してお

ります。

最後になりましたが、校長先生・部長先生始め学校関係者の方々のご支援に心から感謝申し上げます。

明球会の方々におかれましては、時代世代で様々な思いがあると思いますが、来年早々には硬式野球部創部80周年を祝う会（仮称）も予定致しております。皆様様の参加をお願い申し上げます。明球会運営へのご質問・ご住所ご連絡先のご変更・同期の方を始め会員の方々情報等ご連絡をお待ち致しております。会報が届かない方がいらっしゃいましたら、是非ご一報下さいませ。併せまして、お声を掛け合つて頂き、お一人でも多くの会員からの明球会会費納入をお願い申し上げます。

『明治大学付属明治高等学校 應援團OB会』

昭和45年卒 副会長 比留間 竹郎

應援團OB会は一昨年60周年を迎え、今年は62年目になります。かくなる私も今年還暦を迎えました。

私は区立中学より明治高

等学校に入学しました。歓迎会で應援団の部活紹介を見た母から「絶対に入るな!」と釘を刺されていたのにも関わらず、應援団への入班を決めてしまいました。これが私の人生を変える程の「明治馬鹿」になるきっかけとなりました。

應援団での思い出は数多くありますが、一番忘れられないのは練習中に飲んだ「水のうまさ」です。薬缶の蓋で少しもらえる水のおいしいこと。特に江見の公民館での夏合宿は本当にきつく、

社会に出てどんなに苦しくてもその時の事を思えば楽に感じる程です。

我々應援團OB会は、80才の小田川名誉会長から今年の卒業生まで脈々と続いております。諸先輩方には合宿にも参加して頂き、現役部員とも交流をして頂いております。

現在の應援団はリーダー部が七人、チアー部が四十人となりました。男子部員がもう少し増えてくれればと切に願っております。



祝 第47回 総明会総会 明治大学付属明治高等学校 應援團OB会

会 長 田村 正彦（昭和30年卒）
評議員 佐藤 欣生（昭和28年卒）

『礼節の絆——剣道部OB会見心会』

昭和57年卒見心会 会計 伊藤 直孝

明治高校は来年創立100周年を迎えます。今年百三十周年の明治大学は「世界へ」との方針を打ち出しており、付属高校も何れこれに合わせるように新しい明治へと変遷していくでしょう。

しかしいかに国際化の時代になろうと、個々がまず人格を形成し、日本人としての誇りを大切にする心を忘れてはなりません。それが人としての基本だと思うからです。全日本剣道連盟は剣道の理念を「剣の理法の修練による人間形成の道」と定めています。正にこれに通じる理念です。

今回総会のテーマは「絆」です。辞書には、絆とは、断つにしのびない恩愛とあります。東

日本大震災の際にも「絆」は世界でとりあげられました。この絆を未来へつなぐために最も大事なものは何でしょうか。それはまず「理性」であると私は考えます。そしてそれにどれだけ厚い「情」を込められるかによって、絆の深さが違ってくるのではないのでしょうか。

一昨年より私は、見心会の会計を担当させていただき、多くの先輩方と絆を深めさせていただいています。武道を志す

吾々が最も大切にしている絆、それは礼儀と節度の心です。

「礼に始まり、礼に終わる」

との理念はもはや社会の常識ですが、剣道の世界では例外は認められません。例えば、一本をとった際にガッツポーズ

をすると不適切行為となり取り消されることがあります。礼儀に悖る行為を許さない、これが剣道の理念です。

礼といえば、学生時代に大変お世話になった園部監督のお姿を思い出します。稽古にお見えの際、必ず道場に丁寧に一礼をされてから中に入られ、退出されるときも、お見送りする生徒の輪の中にあつて、丁寧に一礼をされ退出していました。剣道に対する園部監督の真摯な思いが今心に蘇ってきます。

また「その日最初と最後の

挨拶だけは絶対に欠かしてはいかん。なぜならそここそが、お互いの意見に差異が生じた場合にもなお、相互に人格を尊重し合う証だからだ」とは、今は亡き父の言葉でした。

お相手を尊重する心、特に始めと終わりの礼の大切さを改めて思い起こし、未来へ引き継いでいって頂きたいと思っています。その積み重ねが「絆」となつて、日本人の心、とりわけ質実剛健の明治魂が世界へと永遠に受け継がれていくことを希うものであります。

最後に見心会の先輩方、生徒諸君は文武両道の精神で日々稽古に励んでおります。偶には調布の道場へお運び下さい。また総会、懇親会等のご案内の際は是非ご参集を頂き、大いに飲みましょう。

『カミナリに一番近い合宿所——明水会』

昭和63年卒 明水会 木内 和助

中1の私たちは、またその合宿の怖さを知らなかった。先輩達はそこで何が起きるかを知っていたようだったが、合宿未体験の私たちは、まるで遠足に行くかのようにしやいでいた。バスは猪苗代湖を横目にまるでスキー場に行くように山を登っていく。合宿所はスキー場をも越え、さらに上へと上ったところにあった。私は、一昨年の冬、たしかそのスキー場でスキーをやったなと思い、少しだけ自分が置かれている場面を想像することができた。

合宿所に着くとまだ昼で、私たちの前に合宿をしているT高校がそこで最後の記録会のようなものをしていった。そして、彼らの速さに驚いた。私たちはその宿舎で、見たこともないような大広間に案内された。その日は、午後3時からの練習だけであった。3時間泳ぎつ放しというその練習だったが、私たちはプールがない水泳部、そもそも3時間も泳ぎ続けた記憶もない。不安よりも好奇心が私たちをそのプールへと誘っていた。準備体操が終わり、プー

ルへ足を少しつけたとき、私たちは、自分たちが今おかれた立場と厳しさを突然突きつけられた。何せ水がとんでもなく冷たいのである。これが、全ての始まりだった。

それから、厳しい練習と水の冷たさに圧倒され、紫色の唇はピンクになかなか戻らない日々が続いた。早朝1時間半、午前中2時間、午後3時間で計10キロを越えるときもあるその練習は、以降5年間、高Ⅱで引退するまで続いた。早朝などは気温がとても低いので、プールに手を入れると水が温かく感じる。ときすらあったが、体を入ると冷たいなんてものではなかった。

その合宿所は山の上にあり、スキー場よりも標高が

高い所にある。しかも、夏のお盆前後で台風が来るときもあった。カミナリがなると練習は一時中止だったが、あまりにカミナリが多い年はそのまま練習を続けた。光と音が同時に降ってくる。そして地響きがすごい。たぶん近くに落ちているのだろう。空も暗く、まるで罰ゲームのような環境での練習だ。私はもうだめなんじゃないか。泳ぐのなんか意味がないんじゃないか。そう思ったことも何度かあった。

無事合宿が終わり、くたくたになって家に帰る。翌日は、練習はお休みである。私は水泳部の同級生と連れ合って、プライベートでまたプールを楽しむのでした。

『明雪会60周年記念パーティー』

昭和57年卒 明雪会 鳴海 浩樹

さる10月1日明雪会の創

部60周年の記念パーティーが明治大学のリバティタワーで行われた。当日は明雪会会員のみならず総明会からも多数ご参加いただき、明雪会会長他会員一同厚く御礼を申し上げる次第である。当初帝國ホテル光の間で行う予定であったが、震災その他の影響を考慮して急遽明治大学のリバティタワーに会場を変更しての開催であった。しかしながら皆様方のお陰をもって創部60周年記念祝賀会を盛会のうちに終えることができた。

重ねて感謝する次第である。

水落先生が亡くなられてはや7年が過ぎた。前回の節目の50周年のときにはまだまだご健在で、元氣な姿を我々に見せていただいた。しかし残念ながら今回は水落先生にお出でいただくことは叶わなかった。とても残念である。でも多分先生はリバティタワーのどこから我々と一緒に参加してくれていたはずである。ふと上を見上げた時懐かしい水落先生の優しい笑顔がリバティタワーのスタンドグラスの合間から見えた、ような気がした。

今年度の幹事学年は震災

の影響で出遅れてかなり苦労しているようである。明雪会からは中村君が寄付広告の委員で頑張っている。できるだけ力になるようにしたいと思う。私も幹事学年のときは明雪会で諸先輩方にグッズを買っていただいたり、会報の広告をお願いしたりして随分集金をさせていただいた。幹事学年から解放された後も、さすがにやり逃げという訳にはいかず、今はできるだけ明雪会の仕事を手伝わせてもらっている。そこそこに義理を果たしたら足を洗うつもりであったが、けっこう楽しいのでそれもいつになることやら。でもこのご時世そういう仕事ができる境遇にあるということはつくづく幸せなことだと思う。

明雪会 スキー部OB会

会 長	堀 眞壽 (昭46年卒)
副会長	戸張 毅 (昭47年卒)
〃	津守 徹 (昭51年卒)
名誉会長	若松 弘昌 (昭39年卒)
顧問	大津富士男 (昭28年卒)
〃	佐藤 健一 (昭31年卒)
〃	大出 育男 (昭31年卒)
〃	藤井 英一 (昭32年卒)
〃	山田 和孝 (昭36年卒)
〃	小山 雅司 (昭37年卒)
〃	井上 進治 (昭38年卒)
幹 事	沼田 哲明 (昭50年卒)
〃	服部 憲一 (昭50年卒)
〃	岡本 雅仁 (昭51年卒)
事務局	五十嵐公一 (昭54年卒)
〃	菅野 栄一 (昭55年卒)
〃	吉口 市郎 (昭55年卒)
〃	狩野 智雄 (昭56年卒)
〃	鳴海 浩樹 (昭57年卒)
〃	深谷 剣 (昭62年卒)

創部60周年記念祝賀会
御協力有難うございました。
会員一同厚く御礼申し上げます。

明治中学・高校水泳部OB会

明水会

会長 石川 守也(S36年卒)

(株)グローバル インシュアランス
保険総合コンサルタント

代表取締役

若松 弘昌

(昭和39年卒 明雪会)

〒141-0031 品川区西五反田2-9-7
ドルミ五反田アンメゾン1001号
TEL. 03-3491-0900
FAX. 03-3491-0934

見心会

明治高校剣道部OB会

会長	矢光 善美	幹事長	木村 茂
副会長	中島 健一	監督	羽田 郁雄
副会長	鈴木 幸男	会計	伊藤 直孝

販売促進のパートナー

stad

広告代理店

株式会社 スタッドプラン

TEL.03-6915-2711

www.stadplan.co.jp

代表取締役 千崎 修

昭和54年卒 明誠会/明雪会会員

祝 第47回 総明会総会 明治高校 マンドリン部OB会

硬式野球部OB会

明球会

会長 一泉二郎 (昭和51年卒)

ホームページURL <http://o-meiji.com/>

事務局連絡 E-mail: mail@o-meiji.com

『明治高校バレー部OB会の絆』

昭和52年卒 事務局 樋田 哲次

総明会の皆様、こんにちは。

当OB会の昨年度の行事は中止になったものが多かったのですが、唯一行えたのが年末懇親会で当間会長、片山副会長など30名のOBと、山中先生、牧野先生にご出席いただきました。現在のOB会は、250名ほどいますが、会費を納めていただいている方は約70名程度となっています。

現役を御紹介しますと、高校生は男子16名、女子18名、中学生は男子7名、女子18名という陣営です。

高校男子の戦績は、5月の関東大会予選はベスト16に進みました。本大会出場を賭けた順位決定リーグ戦は、健闘空しく連敗し、3年ぶりの出場は叶いませんでした。6月の国体&インターハイ予選もベスト16でした。

高校女子は、昨秋の新人戦こそ予選リーグで2勝しましたが、春の2大会では勝利に見放されています。中学女子は、春の大会5チームリーグ（変則リーグ）で3位、多摩大会リーグ戦2位、夏季大会5チームリーグ（変則リーグ）3

位で、ますますの戦績です。それぞれ、今後の活躍に期待します。

さてページも余っていますので昔話でも書きましょうか？

バレー部の初代顧問は松枝正弘先生です。先生は昭和3

年のお生まれです。先生は昭和40年代後半に糖尿病を患い、それから少し元気がありませんでした。それでも体育教師、バレー部やJRCの顧問、そして生活指導教諭として、乱れた服装や行動に対して、愛のムチがすぐ飛びます。このようなことから明高随一の名物教師と言ってもよい方でした。

先生に少し元気がなくてもOBは健在です。大学生や元氣なOBが練習に駆けつけて、熱心な指導をします。う

さぎとび、指立伏せ、ワンマンレシーブ、100本アタックなどやりました。練習がきつくて部員はすぐ退部し、各学年に多くて6人、少ないと1人。中学生は1人もいない学年もありました。

この辛い練習に耐えて、試合に勝てれば救われるのでしょうが、つなぎが悪く、出ると負けで、せいせい2回勝てればいいほうで、2日目に進んだことはありませんでした。でも辛かったところこそ、部員間の結束が強く、絆が強まったとも言えます。

来年は、松枝先生の23回忌を行う予定です。多くの皆様のご出席をお待ちします。

OB会事務局 連絡先

090-4539-1363

toietsu@nifty.com

明治高校バレー部OB会

顧問 山中禎一郎先生

会長 長当間堅一朗 (S32年卒)

副会長 吉田 信行 (S37年卒)

副会長 片山 眞 (S39年卒)

幹事 長 服部 雄二 (S44年卒)

幹事 長 補佐 岩崎 広人 (S57年卒)

幹事 長 補佐 岡永 健二 (H4年卒)

事務局長 酒井 孝憲 (S40年卒)

事務局長 補佐 樋田 哲次 (S52年卒)

事務局長 補佐 山本 直之 (H8年卒)

会計 加藤 裕司 (H8年卒)

H.P担当 阿部 徹也 (H11年卒)

<http://www.geocities.co.jp/meilivolley/>

有限会社 共栄化工
一般 装飾品 鍍金

昭和59年卒 明心会 バレー部OB

代表取締役 **岩井 孝之**

〒131-0041 東京都墨田区八広2-18-13
TEL.03-3617-6050 FAX.03-3618-0711

soken

ソーケンエンタープライズ株式会社

専務取締役

小川 滋

昭和44年卒 男坂倶楽部 バレー部OB

〒125-0062 葛飾区青戸4-18-12
TEL.03-3603-8811 FAX.03-3690-4641
E-mail s-ogawa@soken-ep.co.jp

昭和57年卒 明魂会 岩崎広人



埼玉・蓮田名物
島田造り



乾麺「島田造り」は、製造元と直結した直販・通販のみの販売です。

おきなさと
翁の郷

有限会社 翁の郷

〒349-0133 埼玉県蓮田市大字関戸280
<http://www.okina-no-sato.co.jp>

お客様フリーダイヤル
0120-8733-07
営業時間 9:00~18:00 / 火曜日定休

製造元

株式会社 **岩崎食品工業**
本社工場 埼玉県蓮田市大字関戸280

『年代をこえた絆を―バスケットボール部』

昭和63年卒 小柳 貴裕

もともとバスケットは5人でチームを組んで戦うスポーツです。チームワークが勝敗に大きく左右するため、自然と目には見えない

絆というものが生まれ一緒に戦った仲間は卒業してからも友として深く繋がっています。

バスケットボール部OB

会は故山口栄蔵先生から始まり前顧問の前島先生、現顧問の谷先生らを柱として脈々とその人脈をつなぎ現在OB数600名を越える大所帯となりました。この大所帯を支えている根本は「現役のために・」です。このスローガンのもとにOBが現役を応援し現役は結果でOBに恩返しをす

る。永遠とつづくこの行為が下の者が上を敬い社会的立場とは別に純粹でかつわかりやすい上下関係を生んでいるのだと思います。

ともに戦った仲間との横

の繋がりに加え脈々と受け継がれた縦の繋がりが、縦横無尽に広がっているこの繋がりがこそ我がバスケットボール部の誇りであります。

今年の現役ですが、中学男子41名女子15名、高校男子29名女子11名と例年のことながら大所帯です。成績も中学男子は東京都700校中ベスト32と健闘、高校女子にいたっては念願の1勝を勝ち取るなどOBの期待に応えています。我々OBもより一層の応援をしてあげたいものです。

明治も共学へと変わり、今年からOB会にもOGが加わりました。毎年9月の最終日曜日に開催されるOB総会も様変わりをしていくでしょう。

しかし、「現役のため」に「」のスローガンがいままでわれわれの心のかんかにありつづけるかぎり、バスケットボール部は繁栄しつづけるであろうと信じています。



有限会社三友金型

ゴム金型 設計・製作 短納期対応

昭和63年卒 バスケット部OB

代表取締役

小柳 貴裕

墨田区東向島6-25-13

TEL. 03-3617-6683

FAX. 03-3610-1299

昭和43年卒

三田 幹男

紫讃会

米田税務会計事務所

昭和53年卒

税理士 米田晴彦

〒130-0026

墨田区両国2-17-3

(両国高橋ビル3F)

TEL 03-3631-8878

FAX 03-3632-3346

E-Mail: yonetakaikai@tkcnf.or.jp

昭和シェル石油(株)特約店

株式会社 ナガイ

代表取締役社長

田中 幹浩

昭和57年卒

明魂会・バスケットボール部OB

〒124-0006

東京都葛飾区堀切3-12-10

TEL.03-3691-1981

寺村梱包株式会社

取締役会長 寺村武二

(昭和26年卒猿楽会 水泳部OB)

代表取締役 寺村一義

(昭和56年卒明翔会 バスケットOB)

東京都文京区本郷2-19-11

TEL 03-3813-6686

FAX 03-3813-6689

http://www.teramura-pack.co.jp

総合電設資材卸

伊東電機株式会社

代表取締役 伊東 稔 昭和59年卒
バスケット部OB

本社: 東京都江戸川区松島3-34-21

TEL.03-3654-9214~5 FAX.03-3954-9256

E-mail ito@ito-den.com

船橋営業所・松戸営業所

明治高校バスケット部OB会

めざせ!! インターハイ出場!
行くぞ! 関東大会!

名 誉 顧 問 晨 匡一郎

OB会会長 吉田 博 (S51卒)

副 会 長 米田 晴彦 (S53卒)

木戸 基満 (S57卒)

山下 康彦 (H4卒)

総明会担当 佐藤 眞弘 (S49卒)

田中 幹浩 (S57卒)

総務部長

木戸 基満

(S57卒)

事業部長

小柳 貴裕

(S63卒)

財務部長

門川 隆之

(S58卒)

監 査

並木 功

(S58卒)

『放送班OB会』

昭和57年卒明魂会 宮田 健

放送班OB会のうち、昭和53年から昭和61年卒業生を中心とした有志で、当時の放送班顧問の先生であり恩師でもある、故田村晴彦先生の



命日(5月17日)にあわせ毎年5月の第3土曜日に先生の眠る港区三田の長久寺へ墓参りと懇親会を行っています。

今年も例年通り、第3土曜の5月21日に開催しました。参加数が低迷気味でしたが昨年から上昇傾向となり、今年も賑やかな募参となりました。

昨年残念ながらご参加頂けなかった故田村先生のお兄様で、応援団OB会会長でもある田村正彦先輩には、昨年からスケジュールを空けて頂いておりましたが、更に

故田村先生の奥さま、ご子息からもご参加頂けるとのご連絡を頂きました。

今年は、昭和51年卒明魂会の先輩も参加して下さり卒業生総勢14名が、故田村先生の墓前で手を合わせ、一人ひとり近況を先生に報告しました。そして、門前で恒例の記念写真を故田村先生の奥さま、ご子息を中心に撮影。今年も好天に恵まれました。これも参加の日ごろの行いのお蔭かと思えます・・・。

その後、麻布十番に場所を移して開催した懇親会には、急用で募参にご一緒頂けなかった田村正彦先輩も合流して頂きました。総勢17名は、時のたつものも忘れ現役時代の思い出話に花を咲かせ

ました。

今後、今年のように放送班OBに限らず、故田村先生にゆかりのある方には気軽に参加して頂き、ともに楽しい時間を過ごしたいと思ひます。間違いなく先生も喜んで下さるはずですよ。来年は23回忌「そのうち自分も！」とお考えの皆さま。どうぞお気軽にご参加ください。興味のある方は、インターネットの掲示板や、メーリングリストをご利用ください。

掲示板のアドレスは、
<http://8630.teacup.com/mbc/bbs>
 携帯電話でもご利用頂けます。
 またメーリングリスト参加希望の方は、
<http://groups.yahoo.co.jp/group/tamurakai/>
 の「グループへの参加(自動処理)」から手続きをしていただくとともに、
tamurakai-owner@yahoo.co.jp
 へご連絡ください。

『物理部OB会 明物会』

昭和45年卒 獅子の会 評議員 礪部 進

明物会は物理部のOB会です。物理部の発足は昭和42年にまで遡ります。科学部が発展解消して、物理部と化学部ができたのです。

物理というとお堅いイメージが付いて廻りますが、同じ時期に誕生した化学部と科学部では間違いやすいこともあります。また、お

堅いネーミングが、お固くない活動内容とギャップがあつて、面白いとも思っております。

現在は6月に新入会員歓迎会、11月に総会を開催しております。

昨年は6月12日（土）に新入部員歓迎会を開催し、1人の大学生を迎えました。当日の参

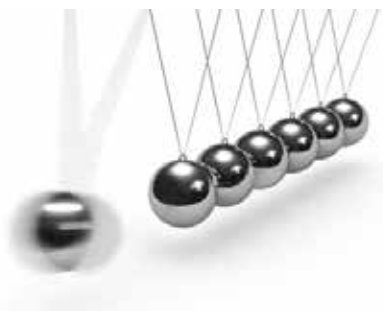
加者は、井家上会長以下11名でした。

今年度の新入部員歓迎会は開催されておりませんが、3人の大学生を迎えております。

11月27日（土）には井家上会長以下15名で総会を開催しました。上は60才代から現役の高校生の部員まで参加してくれる、文化部では珍しい幅の広い年齢構成を誇っております。

しかしながら、明物会としては、現役部員の少なさに危機感を持っております。現役に対してはOB会有志が学校を訪問し、文化祭のバックアップだけでなく、コーチ的な活動もしています。ただ単に増えれば良い訳ではありませんが、OB

会として増やすための努力や援助をしていきたいと思っています。そのためには、ホームページの活用や、現役の部員や顧問の先生方との交流を更に図らねばならないと思っております。



『個人的に感じた 地理研究部OB会』

昭和57年卒 地理研究部OB 小林 謙之

地理を研究する部。

ちよっとわかりづらい部活動である。地理学とは、インターネットのウィキペディアによると、空間ならびに自然と、経済・社会との関係を対象とする学問であると記載されていた。自然科学や人文科学の要素も含んでいるようだ。もともとわかりづらくなった。

地理研に入ったのは中学1年の秋。翌年の春合宿は、石川県金沢市の伝統工芸の加賀友禅染の調査で、金沢などの北陸へ1週間ほ

ど行った。商工会議所や製

造現場でいろいろな大人から話を聞いた。それが、文化祭での展示物となっていく。フィールドワークからデスクワークへ。企画（立案）↓計画↓調査↓まとめ。今思うといろいろな勉強になった。

研究（練習）から導かれる結果（勝敗）。練習すれば、

上手になり勝てる。勉強すれば、利口になり、点数が上がる。努力すれば、必ず成功する。そう教えられてきた世の通説が必ずしも全

てではないことを地理研で学んだ気がする。

得てして結果を急ぎ、結

果を重視する風潮が広がっている現在、経過を楽しみそこに重点を置くのもおもしろい。これから、現役の生徒たちが興味のあることを調査し、それを発表する。その対象は、伝統工芸でも、テクノパークと云われるハイテク工場地帯でも地域特産の果物や畜産や漁業でも、自然エネルギー発電所や原発だっており。地理研ってそういうクラブであってほしい。



祝 第47回総明会総会・懇親会 地理研究部OB会

名誉会長 牛久 順之 (昭和25年卒)
会長 大塚 和哉 (昭和32年卒)
事務局長 堀井 雅俊 (昭和40年卒)

地理研究部OBの方、是非ご一報下さい。k-koba@kind-ai.com 事務局まで



『トコロ』

昭和52年卒 男子校根性組 大西 静士郎

1995年に退職された後藤朋智先生（化学）を囲んで、当時の教え子たちをはじめとする先生にお世話になった者たちが集う『ごとう会』が、今年も五月十日（火）に秋葉原・肉の万世八階ティアラホールで開催されました。

しかしながら、今年ほど開催を危ぶまれた年はなかったのではないかと思います。なぜなら、例年のように、会場を予約し、案内の発送などの打ち合わせを始めようと思った矢先に起こったのが、三月十一日の東日本大震災でした。

その日から、世話人一同はメール、電話を使って、連絡を取り合う毎日に入りました。自粛して延期すべきか、中止すべきか。いろいろな意見が、電話、メールを通じて飛び交いました。後藤先生から、今年中止した方がよいのではないかと、というご助言をいただいたのもこの頃でした。

さんざん迷った挙句私たちが到達した結論は、『ごとう会』を例年通りに開催しよう。『ごとう会』は、年に一回、後藤朋智先生ご夫妻を元生徒たちがご招待して旧交を温める

場であること。そして、震災を体感し、東北・関東地方の悲惨な現状を知った私たちにできるのは、私たちが震災に「生き残った者」であることを自覚し、どう生きればいいのかを自問自答し続けること。一日でも早く日常生活に戻り、経済活動に励み、前年より1%でも多く稼いで、1円でも多く納税し、被災地の復旧復興に正しく使われることを監視することが、私たちにできる精一杯のことではないかと思っ

た。それが大きな理由でした。

今考えると、かなり肩に力が入っていたように思います。しかしながら、ここまで考え、話し合えたことは、私たちにとって貴重な経験でした。

当日は40人近い方々にご出席いただき、今年も先生を囲

んで、楽しいひとときを過ごすことができました。これも、多くの方々のご尽力のおかげと感謝しています。ありがとうございました。

なお、この会は有志による手作りの会のため、多くの皆様にお声をかけきれていないと思います。これを讀まれて、後藤先生にお会いしたいとお思いになられた方は、ご遠慮なく事務局(090・2243・2351 大西)までお問い合わせください。

来年も5月10日に『ごとう会』を開催する予定です。

3月11日から、早くも七か月が過ぎようとしています。私たちは、自らに問いかけています。あの時の記憶が風化していないか、あの時の気持を忘れるな、と。

『卯の木会』

昭和50年卒 明紫会 桑崎 安弘



昭和50年卒業の明紫会・桑崎です。【卯の木会】は、我々が昭和50年に発足した、【卯木監督を守る会】が前身

で、今年で36回を迎える事ができました。当初は卯木監督を守るなどと、恐れ多い会の名前だったのですが、卯木さんには、明治大学進学や、就職、結婚などと人生の節目には、必ず相談に乗って頂き、これは卯木さんに守って頂く会だと言う事になり、シンプルに【卯の木会】と改名させて頂きました。その後野球部出身だけでなく、明治高校・中学校に一日でも在籍した人は会に入れる権利があると、柔軟な会則で、毎年新年会を開催致しております。

卯木さんが常々おっしゃっていた事で、卯の木会は会則に縛られる事なく明治高校・中学校、総明会、明球会、等々に側面から応援できる体制を引いておくように、という事を根幹に活動致しております。卯木さんがお亡くなりになって、今年で早三年が経ちました。

生前、卯木さんには数々の人生での教訓を教えて頂きましたが、とにかく仲間を大事にして、自分の最後は大勢の仲間に焼香をして貰える、そういう人間にならなくては駄目なんだ。とおっしゃっていた事が、我々も五十代半ばになって、改めて重要な人生教訓なんだと、気付かせて頂きました。我々も人生の折り返し点は過ぎて、もうすぐ

ゴールになってしまっていますが、残された年月に、少しでも多くの後輩に、明治魂・卯木精神を伝えて行きたく考えております。

明治高校硬式野球部は今年で創部八十周年を迎え、明球会の行事には率先してお手伝いをしていきたい、また明治高校・中学校は来年100周年を迎えます。もちろんこちらの行事にも、率先垂範できる事を改めまして肝に命じております。

卯木さんが愛した、明治高校・中学校に少しでも恩返しできるように、まだまだ頑張つて参りますので、今後共総明会・会員の皆様には、ご指導下さいます様、宜しくお願い申し上げます。

『明治高校を甲子園に送る会』

昭和55年卒 紫魂会 渡辺 裕之

第47回総明会総会・懇親会の開催、おめでとうございます。

当会も発足して早8年が経ちました。その間、会員の皆様からの貴重な浄財で

ある年会費でグラウンド整備用品やボール等消耗品の寄贈をはじめ、毎年夏の西東京大会に向けての激励会を

「野球部父母会」「明球会」と三団体共催で行ない、物

心両面に渡って応援をしています。

本年は6月25日、大学野球部合宿所の食堂にて激励会を開催しました。昨年の秋季大会での

選手達の活躍もあって、例年になく盛会に行うことが出来ました。

当会は明治野球を愛してやまない有志の集まりです。会員は明中高のOBはもとよりPTA関係者や明中高とは直接関係なくとも明治野球が好きの方と多岐に亘っております。

この夏は3回戦で惜しくも夢散ってしまいました。が、確実に年々力をつけていると感じております。

9月に入ると秋季大会ブロック予選が開会します。皆様も是非球場に足を運んで頂き、声が囁れる程の大声で声援を送り、手が腫れる程のたくさん拍手で応援しましょう!!

明高野球部を甲子園に送る会

会長 山 浦 晟 暉

昭和29年卒
TEL. 03 (3378) 2151

明治高校を甲子園に送る会
入会申し込み先
事務局 渡辺裕之

090-1125-4071
gluv@rondoplala.or.jp



『第1回ヤマダ大感謝祭開催』

伸夫Children 会員No.000001

昭和50年卒 三森 勲



「やあまあだーっ！ やあまあだーっ！ やあまあだーっ！……」大きな山田コールの大合唱！ 教え子達を中心とした参列者の花道を目を真つ赤にしながらも笑顔の山田先生、そして奥様悦子さんがメインステージから出口に

向かつて進む。

出口近くで「わあああー」という声とともに先生が宙に舞った！

2011年7月31日（土）猿楽町に至近の飯田橋、ホテルメトロポリタン エドモントで「ヤマダ大感謝祭」が開催

され、約300名の山田伸夫先生にゆかりのある方々、教え子達が集まりました。

昭和48年4月、数学科教諭として明治高校に奉職され前人未到の38年間の長きにわたる応援指導班の顧問を歴任されました山田先生。「私も体を張って全力で取り込みます。血と汗と涙が通じ合える付き合いができるようによろしく願います。」の挨拶で始まり、それは信念というべく38年間貫き通されました。

当初予定していた4月は、東日本大震災の状況を鑑み、7月となりましたが、実行委員会も応援団OB会並びに教え子の有志達で再編され、会議をすること20数回「山田先生を泣かす！」を合言葉に企画を練り上げました。

オープニングは山田先生の最後の授業の映像から始まり、「PROJECT Y」と銘打ち、先生の功績を映像で表現しました（当日の模様をDVDにしました。ご希望の方は同期の応援団OBにお問い合わせください）。

会の締めはやはり「校歌」！ 応援指導班顧問として校歌2番をリードしていただきました。38年間のリーダーテクはOBも顔負けの迫力あるモノでした。

最後に山田先生から奥様へ38年間の苦勞をねぎらう感謝状を先生自ら読み上げ奥様に渡した感激は、会に参加した方々の心を揺さぶるものがありました。

「第2回ヤマダ感謝祭」は来春開催される予定です。

Soumeikai Activity Report

2010年度総明会活動報告



平成23年度 総明会 役員一覧

(敬称略)

委員会・役職	年 卒	氏 名
名誉会長	昭和36年卒	向殿 政男
顧問	明治高校校長	金子 光男
顧問	昭和21年卒	小林 昭雄
顧問	昭和29年卒	山浦 晟暉
顧問	昭和32年卒	山崎 敬生
顧問	昭和43年卒	佐久間 洋一
顧問	昭和44年卒	服部 雄二
監事	昭和39年卒	佐藤 仁
監事	昭和40年卒	阿部 正行

[illegible]

総明会評議員一覧

同期会

(敬称略)

卒業年	名 称	氏 名	氏 名	卒業年	名 称	氏 名	氏 名
昭和11年		板垣 忠吉		昭和53年	紫 友 会	井口 幸洋	竹越 和之
昭和12年		中富 光國		昭和54年	明 誠 会	志村 大迫	水上 泰良
昭和15年	明中26会	三笠 昌英		昭和55年	紫 魂 会	好孝 智雄	渡辺 裕之
昭和19年		鈴木 昭雄	斉藤 久也	昭和56年	明 翔 会	狩野 広人	齊木 州男
昭和21・22年	午巳の会	小林 功		昭和57年	明 魂 会	岩崎 達宏	田中 幹浩
昭和25年	明二会	内藤 玉城	高橋 信雄	昭和58年	明 輪 会	大塚 重幸	高橋 浩文
昭和26年	猿 楽 会	熊井 実	寺村 武二	昭和59年	明 心 会	田中 重之	渡辺 文夫
昭和27年	明 高 会	米山 耕右	渡邊 幹夫	昭和60年	明 紺 会	鈴木 智郎	山口 達明
昭和28年	明 窓 会	戸田 一郎				渡辺 友義	栗本 宜長
八丈島高校	八 明 会	高橋 和夫	持丸 孝雄	昭和61年			
昭和29年	29 会	小川 安弘	橋崎 正義	昭和62年		光岡 孝之	米持 貴史
昭和30年		石田 彰之	宇田川 雄弘	昭和63年			
昭和31年	明 楽 会	大出 育男	佐藤 健一	平成1年		鈴木 弘和	森 正樹
昭和32年	明 治 会	石坂 善正	山崎 敬生	平成2年		斎藤 直宏	山口 一郎
昭和33年	三 三 会	藤田 義茂		平成3年		小畑 啓	
昭和34年	旧 雨 会	加藤 佳一		平成4年		安藤 高利	
昭和35年	珊瑚の会	天野 洋一	倉林 貞夫	平成5年		新村 哲也	
昭和36年	明 駿 会	加藤 真義	谷 正之	平成6年		石田 頼央	
昭和37年	37 会	戸谷 誠樹	中村 哲士	平成7年			
昭和38年	二年に一会	高橋 正侑	三浦 昭生	平成8年		香川 満洋	小谷 健志
昭和39年	一一七会	佐藤 仁		平成9年		秋山 光億	平田 健寛
昭和40年	明 優 会	阿部 正行	大関 清人	平成10年	紫 98 俱 会	石川 一仁	戸邊 寛
昭和41年	41 明友会	小川 秀次	菊本 哲也	平成11年	明 哲 会	玉木 万理夫	
昭和42年	M 41	新村 秀男	結城 康郎	平成12年	明 治 21	大橋 弘領	
昭和43年	紫 議 会	小田嶋保男	志村 孝夫	平成13年		上原 康仁	
昭和44年	男坂俱樂部	寺田 康夫	中河 一樹	平成14年		大川 康介	武 雄一郎
昭和45年	獅子の会	上野 隆史	山形 英明	平成15年		杉田 将平	徳竹 正憲
昭和46年	明 潮 会	金子 敏一	木村 茂	平成16年		荒川 佳史	室井 純
昭和47年	四七同志会	内田 茂	廣野 宏士	平成17年	白 雲 会	角田 隆悟	山崎 裕貴
昭和48年	波 の 会	南海 重明	海老根一介	平成18年		大角 惇	横倉 光輝
昭和49年	翼 明 会	石田 和夫	大前 実之	平成19年		早川 慎吾	
昭和50年	明 紫 会	三森 勳	吉武 孝生	平成20年		大森 貴之	加藤 敦
昭和51年	明々会	前田 稲一朗	山田 真也	平成21年	明 雄 会	亀屋 将紀	佐藤 亨太郎
昭和52年	男子校根性組	石黒 理樹	小嶋 真作	平成22年			
				平成23年			

班部OB会

名 称	氏 名	名 称	氏 名
生徒会本部	休 会	庭 球 部	岩佐 浩之
応援指導班	佐藤 欣生	バ レ ー 部	樋田 哲次
新聞班	西山 光彦	フ ェ ン シ ン グ 部	伊藤 秀文
吹奏楽班	竹越 利之	陸 上 競 技 部	不 明
図書班	平田 幸彦	バスケ ト ボ ー ル 部	吉田 博
放送班	吉田 雅博	囲 碁 部	田島 弘資
剣道部(見心会)	鈴木 幸男	化 学 部	森 八一
硬式野球部(明球会)	世古 俊之	物 理 部(明物会)	磯部 進
サッカー部	大室 智	マ ン ド リ ン 部	休 会
柔道部	小川 洋一	地 理 研 究 部	小林 謙之
水泳部(明水会)	石川 守也	歴 史 研 究 部	土田 正昭
スキー部(明雪会)	吉口 市郎	アイスホッケー愛好会(明水会)	武藤 仁
卓球部(明卓会)	山崎 泰夫	J R C	横谷 昌明

昨年1年間ご連絡を取らなかった評議員の方はお名前を記載できませんでした。
お気づきの方は、総明会事務局まで、ご連絡を頂けますようお願いいたします。

2010年度 活動報告

総明会 専務理事
竹澤 啓

2011年11月20日に第46回総明

会総会・懇親会(幹事学年 明輪会・昭和58年卒)そして、新しい試みとして「明大明治カミシング」と合わせて盛大に開催されました。総明会会員・明治高校・中学関係者並びに各班クラブの皆様様の多大なご協力に大変感謝しております。

ます。ありがとうございました。

今年は東日本大震災の影響もあり卒業生との昼食会の延期また理事会・評議員会の開催日程の変更、総明会チャリティーゴルフの延期等行事日程の大幅な変更を余儀なくされました。総明会会員の皆様には大変ご迷惑おかけ致しましたことをここに詫言ひ申し上げます。

新校舎に移転して男女共学となつてから3年が経ち初めて64名の女子の卒業生を総明会に迎えることとなりました。そこで、今年の班、クラブOB会は「班クラブOB・OG会」としました。OB会の名称については今後は各班、クラブにおいてご検討いただきますようお願い致します。

平成23年の男子の新卒業生は218

名で、総勢282名となります。総明会会員数については今年度卒業生を加え18612名の卒業生総数となり、現在総明会で住所を把握している会員総数は11782名となっております。

このたび、母校明治高校は創立100周年を2012年に迎えます。一昨年より募集してきました皆様方のご寄付により3000万円の寄付をさせていただくことに決定致しました。ありがとうございました。さらに、現在も会員の皆様方に更なるご寄付をお願い致しております。ご協力のほどを切にお願い申し上げます。

2010年度の活動報告としまして上記表に記載しました。会合等の詳しい説明を省きましたが去年より総明会ホームページを一新しております。見やすく、そして新しい情報をいち早く写真付きで掲載いたしております。ぜひ会員の皆様にはホームページを見ていただきたく申し上げます。(131ページ参照)

平成22年11月20日	総会・懇親会(ホテルイースト21)
12月11日	忘年会
平成23年1月21日	第一回評議員会
1月28日	第一回評議員会
2月15日	新卒業生総明会説明会
2月25日	武陵会懇親会
3月10日	明治高校卒業式
4月6日	明治高校入学式
4月21日	第二回理事会
4月28日	第二回評議員会
5月20日	第三回理事会
5月21日	武陵会総会(明大中野高校)
6月25日	白駿会総会(京王フラザホテル)
7月2日	評議員・班クラブOB・OG会懇親会 パーティー(肉の万世)
7月22日	第四回理事会
9月19日	第16回総明会チャリティーゴルフ

総明会 平成22年度 一般会計報告

(自)平成22年4月1日～(至)平成23年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	8,144,020円	会議費	585,101円
新入会員入会金	2,820,000円	交流費(学校・他)	1,208,041円
新入会員永久会費	2,820,000円	通信費・事務費	1,306,188円
学年会費	805,000円	各委員会活動費	686,750円
雑入(会議費・他)	707,000円	雑費	214,656円
寄付金	200,000円	基金へ組入れ	3,000,000円
利息	1,126円	次年度繰越金	8,496,410円
合 計	15,497,146 円	合 計	15,497,146円

総明会 平成22年度 基金会計報告

(自)平成22年4月1日～(至)平成23年3月31日

基金区分	平成21年度末残金	平成22年度増減額	平成22年度末残金
事業遂行基金	6,827,270円	1,016,668円 一般会計から繰入及び利息	7,843,938円
財政基盤基金	8,005,194円	1,994,806円 一般会計から繰入	10,000,000円
100周年記念事業 特別基金	10,713,000円	1,387,000円 寄付金募集	12,100,000円

上記の通り報告いたします。

平成23年3月31日 会長 尾島育四郎 会計 中村 正容

監査の結果相違ありません。

平成23年6月30日 監査 佐藤 仁 監査 阿部 正行

総明会 平成23年度 一般会計予算(案)

(自)平成23年4月1日～(至)平成24年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	8,496,410円	会議費	600,000円
新入会員入会金	2,500,000円	交流費(学校・他)	1,300,000円
新入会員永久会費	2,500,000円	通信費・事務費	1,210,000円
学年会費	800,000円	各委員会活動費	1,070,000円
雑入(会議費・他)	700,000円	雑費	1,700,000円
寄付金・利息	203,590円	基金へ組入れ	1,000,000円
		次年度繰越金	8,320,000円
合 計	15,200,000円	合 計	15,200,000円

総明会 平成23年度 基金会計報告(案)

(自)平成23年4月1日～(至)平成24年3月31日

基金区分	平成22年度末残金	平成23年度増減額	平成23年度末残金
事業遂行基金	7,843,938円	1,000,000円 一般会計から繰入及び利息	8,843,938円
財政基盤基金	10,000,000円	—	10,000,000円
100周年記念事業 特別基金	12,100,000円	400,000円 寄付金募集	12,500,000円

「会則改定時の思い出」

総明会 総会委員長
戸張 毅

平成15年の11月、浅草橋にある鰻処「なかや」に集まった男達約20名、各学年を代表する面々である。集まった有志の目的は総明会を良くしたいということである。当時の会長選出方法は、役員で決めた会長候補を総会で承認することで選出されていた。それとは別に会費徴収も会則には規定はされているが、会則通り支払っている学年とそうでない学年があり、そのことも改善したい。この二点「人事」と「会費」の会則改定を目的に有志が総明会執行部に働きかけ、執行部の受入を得て「感謝」実現したのが組織検討委員会なる委員会です。平成16年2月に第1回会合が開かれ、委員長に北島一弘氏、副委員長に比

留間竹郎氏、委員に安藤賢司氏、関谷芳久氏、廣野宏士氏、山崎秀樹氏、山田真也氏、竹越利之氏と私戸張毅の9名であった。自分は、浅草橋の「なかや」に集まった時の代表で応援団OB会会長の田村正彦先生から推薦頂き、末席で加わることとなったのです。参加して驚いたのは、想像もしてなかった喧々諤々、忌憚ない意見の応酬であったこと。いつしか自分も積極的に加わっていたこと、とても不思議でした。校歌にある「独立自治」、「権利自由」の理念に係わる議論は、ついつい熱い明治魂のぶつかり合いになり、素のまま本音の話し合いが行なわれました。結果、平成18年の総会で新会則は承認され施行に至りました。

その当時安藤氏（大正14年生れ）とは親子ほどの歳の差があったにも関わらず、時には厳しい表情で率直なご意見を述べられ、時には温和なお顔の好々爺の表情で自分達の意見をお聞きいただいたこと、感謝いたします。残念ながら安藤氏は、昨年他界されました。ご冥福をお祈りいたします。今年には会長選挙の年、民主的な選挙で選ばれた会長にはある程度大きな権限を持つて運営いただくことが会則に盛り込まれました。残る会費の問題は、現在吉田耕太郎委員長の下、会費検討小委員会で検討中です。以上活動報告に代えて、会則改定時のことを綴ってみました。最後になります。が、総会委員長として明心会（幹事学年）、総会委員会とともに明治高校、総明会の発展のお役に立てますよう誠心誠意任務を遂行していく所存です。どうぞ温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会報委員会 活動報告

総明会 会報副委員長
衛藤 雅一

皆様、毎年総明会会報をご覧いただきましてありがとうございます。今年は、貴重な紙面をお借りして会報委員会の活動について少しご紹介させていただきます。

幹事学年の引継ぎ式が終了し、翌年1月に第1回の会報委員会が招集さ

れ、以降月1回のペースで紫紺館を中心に定例会議を開催します。会報委員会は幹事学年の会報作

成の協力を
行うことが
大切な役割
であり、幹
事学年の企

画や、台割管理、総明会会員の皆様へ会報をお届けするまでのお手伝いをします。

幹事学年の会報委員は諸先輩方が趣向を凝らして作成してきた会報を参考として、毎年様々な趣向を凝らした企画を出していきます。

しかしながら卒業後二七年もたつてから突然降ってわいて来た慣れない会報作成の役目、協力してもらえ同期の確保もままならないまま会報作成は進んでいきます。そんな時に少しでも幹事学年の不安を取り除き、会報作成ができるようにと優しく親切に手を差し伸べます（一部の委員の中には非常に怖い方もいらっ

しやるようですが？）。会報委員のメンバーは皆ほろほろになるまで読み込んだ会報誌を持参し委員会に望みます。そして委員会終了後も会議室から飲み屋へ場所を変え議論？を続けます。歴史にこだわる先輩、写真にこだわる先輩、内容にこだわる先輩など等皆色々なことを言いますが思いは唯一つ。素晴らしい会報を皆様にお届けすることだけです。

このように、前年の幹事学年の会報委員をはじめとし、大先輩の方々まで多くの皆様のお力をお借りして会報委員会は活動を行っています。限られた時間と紙面の中で総明会の皆様に少しでも多くの情報をお知らせすべく会報作成しておりますが何かと皆様方に「無理なお願いや、ご協力をお願いすることもあるかもしれませんが、これからは会報委員会にご協力いただきますようお願いいたします。



組織委員会 活動報告

総明会 組織委員長
菊池 正純

組織委員会担当理事、昭和57年3月卒「明魂会」の菊池と申します。

組織委員会では、学生を中心とした若手会員をサポートし、総明会全体の組織が盤石なものとなるよう種々の活動を行っています。以下、主な活動を紹介します。

一つは、卒業を間近に控えた明高3年生を対象とする説明会の開催です。毎年春先に明高へ出向き、「総明会」の成り立ちや現在の活動、引いては明高卒業生としての心意気、といったことを説明しています。この説明会を通じて、卒業生に「総明会」を身近に感じてもらい、ひいては各行事への積極的な参加に繋げたいと

考えています。

二つ目は、大学卒業の時期に合わせた同期会開催の支援です。社会人となつて間もないうちは時間が制約されて、同期が一同に会することは難しいと聞くので、大学卒業時の3月に同期会を開催するようサポートしています。

今年は、東日本大震災の発災により明治大学の卒業式も取りやめとなる中、3月18日に、大学卒業学年の60余名が御茶ノ水の某居酒屋に集まり、大変な盛会でした。私も参加させていただきましたが、明るくはつらつとした中にも礼儀をわきまえた後輩諸君の様子を見て、さすがは

明高卒業生！と意を強くしました。

最後に、例年10月頃に開催している「若手の会」を紹介します。この会は、大学在学年次4学年のクラス委員に集まってもらい、互いに懇親を深めようというもので、「総明会」役員にもご出席をいただき、毎年愉快なひとときを過ごしています。この会を通じて、将来の「総明会」のコアメンバーとなる若手会員が、「総明会」をより親しいものを感じてくれたらありがたいと思っています。

以上のような活動を通して、総明会組織の礎を構築すべく活動している組織委員会に対し、引き続きのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

育成委員会 活動報告

総明会 育成委員長
染谷 貴男

育成委員長を仰せつかつております、昭和57年卒 明魂会 染谷貴男で御座います。そして副委員長 宮田 健氏（57年卒 明魂会）とともに、二人ではありますが、活動をさせて頂いております。

さて、一昨年に幹事学年を勤め上げ、早や一年半が過ぎました。

当時を思い起こすと、ある同期は班・部の先輩から…、またある同期は地域での先輩との出会いの中から、「来年はお前達だぞっ!」「宜しく頼むぞっ!」と幹事学年制度があるのを知られました。

そして、半ば強制的に? 話を頂いた同期は、周りに声を掛け、相談し、そち

こちらの2、3人の輪が別々に動き始め、時間を掛けて結合し、最終的に大きな輪になっていった様に記憶しています。

私達、育成委員会では、担当学年の「幹事学年」への大きな不安等を和らげる事が出来る様、数年前より声掛けをし、まずは総明会自体を事前によく知って貰い、非常に大変な一年ではあります、有意義な一年を楽しく活動出来る様、サポートをして行きたいと思っております。

今年度幹事学年の「明心会」とは、実行委員長の大山君をはじめ、藤原・赤澤・増田・高島君等々 野球部の後輩達は勿論の事、島村・田中・渡辺・押田君等とは、早くから交流を持ちました。

昨年2月には、新橋の中国料理店「新橋亭」にて、コアメンバーの集まりがあり、30冊近い総明会会報を持参し、参加して参りました。それから数回の会合を重ね、晴れて10月の全体会合を迎え、竹澤専務理事・宮田副委員長と明輪会 大塚実行委員長とともに祝いに参りました。

そして、昭和60年卒の来年度幹事学年については、同期会名称が「闘紺会」、実行委員長は、柔道部OBの田中宏昌君に決定しました。他にも鈴木重之君・渡辺智郎君等々、そうそうたるメンバーが周りを固めており、「明心会」同様、大変頼もしい幹事学年になってくれそうです。

最後になりますが、班・クラブの繋がりが、または地域の繋がりが等、後輩達の情報のご提供を改めてお願い申し上げます。活動報告とさせて頂きます。

総務委員会の『お仕事』

総明会 総務委員長
大西 静士郎

総務委員会の仕事は、大きく分けて三つあります。年数回行なわれる評議員会の準備・受付・議事録の作成、毎年七月に行なわれる「評議員 班クラブ O B ・ O G 会懇親パーティー」（以下、懇親会）と年末に行なわれる総明会の忘年会の準備・実行です。

評議員会の場合、日程・会場はすでに決まっていますので、総務委員会の行なう準備は案内状の発送、出欠者の集計、食事が必要なら人数分の弁当・飲物の手配などがあります。評議員会当日は、会場の準備が整っているか確認し、受付を行います。評議員会が始まると、議事録担当の委員が議事を記録します。

懇親会と忘年会の準備は、日程の決定、会場の選択から始まり、案内状の発送、出欠者の集計、料理の手配、当日の進行役の選定と式次第を作成しての打ち合わせなどがあります。当日は、受付から始まり、スムーズな進行に気を遣います。

総務委員の仕事で最も大変なのが、評議員会や総会の議事録の作成でしょう。最近は優秀な I C レコーダーのおかげで、録音した内容を聞いて議事録を作成できるようになりました。しかしながら、発言者の滑舌が悪かったり、論旨が一貫していないので発言者の真意が分からなかったり、と何度も聞き返すことになるので、一つの議

事録を作成するのに、一日に三、四時間かけても四、五日はかかります。

総務委員会の仕事を説明する時に、冗談半分で、「総務は、労働集約産業です」と言うのですが、これまでの説明で人手と時間がいかにかかるか、少しは分かってもらえたでしょうか。

それでも総務委員会の仕事は面白い、と言っておきます。

例えば、大変だ、大変だ、と言っている議事録作成の仕事でさえ、何回かやっている、言葉の重みが分かってきますし、論旨が明晰な方（最近では、明治高校校長の金子光男先生のお話が出色です。何回聞いても聞き飽きない、名人の話を聞いているよう、と言ったら言い過ぎですか？）の発言に出会うと、この作業が俄然面白くなるのです。

興味を持った方は、総務委員会に参加してみませんか。

広報委員会 活動報告

総明会 広報副委員長
熊谷 康生

総明会ホームページに 新コーナー「明好探訪」登場！

広報委員会では総明会ホームページを通じて卒業生、在校生の皆様に様々な情報を発信しておりますが、

2011年6月より新たに「明好探訪」というコーナーを設けました。

このコーナーは総明会会員の方のお店や会社を訪問取材し、総明会ホームページの中で紹介をするというもので、今までには無かったタイプのページとなっており、

せっかくなら同窓生のお店に行ってみませんか。同窓生の会社と付き合ってみませんか。皆でタッグを組んで突き進みましょう。前への精神です。

年代はそれぞれ違うかもしれませんが、同じ学校で勉学（？）に励んできた者どうし。これからも一緒に楽しんでいきましょう！

広報委員会では明好探訪で紹介するお店、会社を募集中です。

あなたのお店や会社も明好探訪で紹介させていただきます。

自薦他薦は問いません。ご希望の方は広報委員会までお知らせください。

なお、広報委員会では新しいメンバーも募集しております。一緒に総明会のホームページ運営を楽しみませんか？こちららご希望の方は広報委員会までご連絡をお願いします。

<http://www.meiji.cside7.com>

※総明会の会員ページがございます。会員ページに入るには、ユーザー名とパスワードが必要です。「会員ページに入る」ボタンを押すと、ユーザー名とパスワードの入力を求めていますので下記をご入力ください。

ユーザー名：meiji パスワード：otokozaka

イブのページとなっており、すぐ近所に後輩のお店が有ったり、取引先が先輩の会社だったり・・・意外な出会いや発見があるかもしれません。



100周年記念担当 活動報告

100周年記念担当

桑崎 安弘

委員長

昭和50年卒業、100周年委員長の桑崎です。

来年は母校・明治高校・中学校が創立100周年を迎えますが、学校側では、【創立100周年記念事業委員会】を発足し、尾島会長、向殿前会長には、副委員長の大役を務めて頂いております。

また来年には学校主催で、11月に、【創立100周年記念式典・祝賀会】を開催する予定や、【鵜沢総明教育振興・奨学金】というプログラムを作り、在校生に対し、もつと世界を知る為に、海外交流を行う事や、文化・スポーツの活動に対する支援、また家庭の事情により進学が難しくなった生徒に対し

て、将来の夢をつなぐ為の支援を行なうと言うような案が策定され議論されております。

我々、総明会としても最大の応援体制を引いて行く為に、来年春には、総明会主催の【創立100周年記念祝賀会】を行い、明治高校・中学校に更なる支援を行ないたく考えております。

総明会・会員の皆様には、これからも、ご寄付をお願いしたり、また祝賀会へのご参加をお願いしたりと、さまざまな負担をお掛け致す事とは思いますが、母校の100周年は、来年一年しかございませんので、皆様方の更なるお力添えの程、宜しくお願い致します。



平成22年度企画委員会活動「明朗会」

総明会 企画副委員長
小林 謙之

平成22年9月25日(土)、秋晴れの
中、毎年恒例となりました『明朗会』が
行われました。

今年度は、『スカイツリーを見なが
ら露天風呂を満喫! & 落語鑑賞&懇
親会』と銘打ち、浅草ROXのまつり

湯を舞台に大勢の先輩方にご参加頂
き総勢42名の盛大な会になりました。

当日は15:30にご集合頂き、まずは
温泉を楽しんで頂きました。建設中の
スカイツリーを眺めながら浸かる露天
風呂も今年しか体験できないとのお

声もあり、大変ご好評で
した。

続いて17:00より『大
入ひろま』で、湯上りの
生ビールを飲みながら、
嘶家立川らく里さんが
演じる落語『目黒のさん
ま』や『南京玉簾』の芸
をご覧頂きました。即席
の高座にもかかわらず

熱演頂き、先輩方の大きな笑い声と相
まって会場は大変盛り上がりしました。

その後、懇親会は昭和28年卒の松倉
先輩の乾杯で始まり、年代別の自己紹
介や班クラブ別の紹介、

カラオケに恒例のジャンケン大会
等、時間が過ぎるのを忘れるくらい盛
り上がりしました。そして、締めはやはり
校歌斉唱。昭和36年卒の加藤先輩を
リーダーに全員が一体となって、『お、
明治』の歌声が館内に響き渡りました。
19:30過ぎ、全員での記念撮影の後、
名残惜しい解散となりました。当委
員会は、先輩方に参加したいと思っ
て頂ける企画をこれからも考えて参り
ます。是非、来年もご参加お待ちしております。

最後に、お手伝いを頂いた幹事学年
をはじめ、ご寄付、ご協力を賜りました
方々に感謝申し上げます。



第17回チャリティゴルフ大会

昭和59年卒明心会
渡邊 文夫

毎年6月に開催されていました総明会チャリティーゴルフ大会。

今年のご周知の通り、このたびの東日本大震災の影響によりこの9月19日(月・祝日)に延期されましたが、お陰様で無事開催の運びとなりました。

例年の当会目的である「会員相互の親睦及び母校とのコミュニケーションの充実」に加え「東日本大震災により大きな被害を受けた現地へのチャリ

ティー」を兼ねたゴルフ大会となり、ご参加頂いた皆様にとっても大いに意義あるゴルフコンペになったと思います。

場所は昨年同様の千葉県香取市の「成田の森カントリークラブ」。晴天に恵まれ絶好のゴルフ日和となりました。お世話になった恩師を始めとし、PTAの皆様、昭和31年卒業の大先輩から平成10年卒業の若人まで総勢106名という参加者が100名を超え、大変賑やかなゴルフ大会となりました。

競技内容は、新ペリア方式による「個人順位戦」、各学年代表者3名および選抜チームによる「学年対抗戦」、昭和45年卒業以前の先輩方による「大先輩名人戦」(名人戦・大名人戦)からなる3種類の競技とドラコン・ニアピンの各コン

テストにて大いに腕を奮って頂きました。昨年同様のコースとあつて、「今年こそは・・・」という思いを秘めた参加者が見受けられましたが、結果は如何だったでしょうか？(来年も頑張ってください)

表彰式は例年同様、総明会役員の挨拶に始まり、各戦の結果発表、優勝者の挨拶と後半になるにつれ会場内のボルテージも大いに盛り上がり、最後は当然「校歌斉唱」、参加者皆様の本日最高のショットとも言うべき歌声で閉幕となりました。今年で第17回、諸先輩が築き上げられたゴルフ大会も学校同様の「伝統」という言葉が相応しくなってきたと思ひ始めたのは、私だけでしょいか？

是非、来年も今年のご参加者のお顔だけでなく、今年はまだまご来場できなかった方々のご参加をお待ち申し上げます。最後になりましたが寄付等、大会運営にご協力を賜りました皆様に厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。



個人 順位戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GRS	HD	NET
	優 勝	大森 清貴	白駿会	41	36	77	7.2	69.8
	準優勝	志村 和哉	S54	46	48	94	22.8	71.2
	3位	榛葉紀久男	S43	39	42	81	9.6	71.4

学年 対抗戦		卒業年	代表選手名		NET
	優 勝	S54	渡辺 欣信		216.4
			代田 真司		
			志村 和哉		
	準優勝	S58	田村 高志		220.4
			清水 鉄也		
			大野 久芳		
	3位	S43	中尾 恵則		221.2
			榛葉紀久男		
太田 良一					

名人戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GRS	HD	NET
	優 勝	榛葉紀久男	S43	39	42	81	9.6	71.4
	準優勝	栗田 茂	S44	42	44	86	13.2	72.8
	3位	結城 康郎	S42	49	46	95	20.4	74.6

大名人戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GRS	HD	NET
	優 勝	石川 淳	S34	45	43	88	13.2	74.8
	準優勝	高具 鉄夫	S31	46	44	90	14.2	75.6
	3位	大出 育男	S31	47	48	95	19.2	75.8



①個人優勝の大森清貴氏。②名人戦優勝の榛葉紀久男氏。③大名人戦優勝の石川淳氏。④団体優勝は昭和54年卒 明誠会の皆さん。

全17学年、先生及び父母会による「個人順位戦」、各学年代表者3名または選抜チームによる「学年対抗戦」。『大先輩名人戦』は昭和36年卒から昭和45年卒までの先輩方による「名人戦」、昭和35年卒以前の先輩方による「大名人戦」の2つに分かれて競技が行われました。4位以下の方は紙面の関係上省略させていただきます。

◎ 寄付ご報告

・金一封

山浦 晟暉様 金壺万円

尾島育四郎様 金壺万円

関谷 芳久様 金壺万円

吉田耕太郎様 金壺万円

竹澤 啓様 金壺万円

・協賛

山浦 晟暉様

東京デイズニードベアチケット

明楽会様(昭和31年卒)

ゴルフキャップ他(参加者全員)

中村 正容様

バスタオル(参加者全員)

成田の森カントリークラブ様

ボストンバッグ・キャデバッグ

・学校チャリティー報告

合計 10万6千円

寄付 10万6千円

・東日本大震災チャリティー報告

合計 5万円3千円

寄付 5万円3千円

※多大なご寄付とご協賛を賜り、まことに有難うございました。

第17回総明会チャリティーゴルフ大会開催コース

成田の森カントリークラブ



〒289-0426 千葉県香取市山倉2628-4
TEL 0478-79-1000 FAX 0478-79-1010
<http://www.pacificgolf.co.jp/naritanomori/>



スポーツドリンク 差し入れ御礼

硬式野球部 顧問 前島 研二
高校Ⅱ年 図書班長 菅原 一葉

今年も総明会では、夏合宿を行う「班・部」にスポーツドリンクの差し入れを行いました。学校創立100周年に向けて皆の「絆」を確かなもの

のとして伝統を引き継いだ夏合宿の一助になったなら、喜ばしい限りです。

学校渉外担当

◎硬式野球部

このたびは、総明会よりスポーツドリンクの差し入れをい

ただきありがとうございました。今年度硬式野球部は、Ⅰ、Ⅱ年生42名(女子マネージャ4名)で、8月25日(木)～28日(日)3泊4日の日程で、九州各県の高校野球の指導をしている明大野球部OBの高校が集う「九州駿台倶楽部野球大会」(於熊本県ゴールデンラークス球場他)に参加させていただきました。西日本短大付属高校や福岡第一高校など甲子園常連校とたくさん試合を行うことができ、普段できない貴重な体験をすることができました。この大会で学んだことを9月から始まる秋の大会に活かし、来春の選抜大会出場を目指し、記念すべき「創立100周年に甲子

園出場」を成し遂げられるように部員一同頑張りたいと思います。

今後とも応援よろしく願います。

なお硬式野球部のホームページをアップ(女子マネージャが運営)していますので、試合の結果や部員の活躍等、是非ご覧いただきたいと思います。

<http://meijibaseball.fau.jp/>

◎図書班

我々図書班は現在高校17人、中学16人の、計33人で活動しています。活動は主に図書館で、昼休みに本の返却や書架整理などを行っています。放課後や長期休暇前には、司書の方のお手伝いや蔵書点検の実施など、図書館の利用者数の向上に努めています。班員も増え、今年度は更にフレンドリーで和気あいあいとし





た雰囲気になりました。

日々の活動の他、文化祭で配布する班誌「明風」の作成を初めとして、様々な事に取り組んでいます。今年は読書会の実施や鎌倉への取材旅行など、皆で楽しく計画しています。

今年の図書班にも個性的な仲間が集まりました。その良さを生かし意見を出し合って、より活気あふれる

班活動に励みたいと思います。

末筆ですが、総明会からのスポーツドリンクは、皆でご馳走になりました。ありがとうございました。

◎今夏合宿を行った「班・部」は次のとおりです。

班・部名	参加人数	期間	宿泊施設(場所)
応援指導班応援	47	8/3～7	にしのや(新潟県南魚沼郡)
吹奏楽班	91	7/28～8/2	榛名吾妻荘(群馬県吾妻郡)
剣道部	34	7/31～8/4	至誠荘(山梨県南都留郡)
硬式野球部	60	8/25～28	ホテル白金(熊本県熊本市)
中学野球部	39	8/11～14	山陽ホテル(群馬県渋川市)
水泳部	22	8/23～25	民宿たばら荘(静岡県伊東市)
スキー部	12	7/27～30	フォーレスかわしま(長野県下高井郡)
柔道部	12	8/22～27	常磐館(長野県小諸市)
ソフトテニス部	31	7/28～8/1	ヴェルディ(山梨県北杜市)
バレーボール部(男子)	23	8/2～7	ロッジロマン(新潟県南魚沼市)
バレーボール部(女子)	30	8/2～5	ロッジハンジロー(新潟県南魚沼市)
バスケットボール部	107	8/3～7	ホテルタガワ(長野県下高井郡)
バトミントン部(高校)	40	7/28～8/2	ホテルタガワ(長野県下高井郡)
バトミントン部(中学)	41	7/30～8/3	リゾートイン菅平スイスホテル(長野県上田市)
マンドリン部	22	8/6～9	クラブ・ラ・フェスタ(山梨県南都留郡)
地理研究部	16	8/4～9	スマイルホテル金沢(石川県金沢市)
歴史研究部	4	8/3～6	清水ユースホステル・ギオン福住(京都市東区)
美術部	7	8/17～19	明治大学セミナーハウス(山梨県都留郡)
地学部	8	8/23～24	養浩亭(埼玉県秩父市)
将棋部	8	8/4～6	ホテルナチュラルガーデン(栃木県日光市)
サッカー部(高校)	67	7/31～8/4	リゾートインあおの(茨城県神栖)
サッカー部(中学)	57	7/31～8/4	リゾートインあおの(茨城県神栖)
鉄道研究部	8	8/9～12	東横INN岡山駅西口展(岡山県北区)
男子硬式テニス部	71	8/4～8	VANスクエアガーデン(長野県上田市)
図書班	33	9/18	鎌倉日帰り研修

明高・クラブOB 会旗について

発足時の総務担当副会長
第6回生徒会長・応援団OB会会長

田村 正彦



明治高校・中学校在籍中「クラブ活動」を通じて体得し築き上げた、熱烈なる母校愛と強い信頼友情関係を基盤に、現役クラブへの物心両面の援助、同窓会組織活動への協力等を目的として三十年前の昭和57年3月21日、明高・クラブOB会は正式に発足した。

提唱者の卯木敏夫氏（昭和26年卒）に会長ご就任いただき、昭和29～32年卒の6名が副会長、監査に決定する。昭和56年12月第1回準備会が開かれてより、十数回、約20クラブOB会代表による議を経たものである。

昭和51年まで校長を務められた福島則雄先生は、当時まだ耳慣れぬ「全人格教育」「特別教育活動（クラブ活動等）」を熱心実践されその業績は全ての人の知るところである。生前、クラブOB会組織の機運が高まって来ると大変喜ばれ、精神的に大きなバックアップをしてくださった。昭和57年1月死去された時、先生の日頃の当会に対する深い想いと期待をご意志としてご子息、

福島弘毅様より発会式当日、明高・クラブOB会旗（目録）が贈呈されたものである。会自前の中型の会旗と共に由緒深き貴重な会旗であり、今後とも総明会で大切に管理活用されることを願うものである。

生徒会、クラブ活動の草創期を知り語れる先輩も惜しまれつつ次々に物故されている。そろそろ最後の機会であるうか。総明会による記録、継承を是非お願いしたい。なおこの明高・クラブOB会発足当時、活躍された方々をご紹介したいのであるが残念ながら紙面の都合で不可能であった。あの人もかと言う、明治高校の著名人が綺羅星のごとく参加している。心から感謝申し上げ、機を得てご説明したい。

副会長財政担当の大場隆之氏、事務局の矢島芳郎氏（お二人とも故人）。小川滋氏の活躍はここに敢て記しておかねばならない。

前年度幹事学年挨拶

第46回総明会実行委員長
昭和58年卒 明輪会

大塚 達宏

は皆にあります。「わ」が欠けた修復にはまだもう少し時間が掛かりそうです。

第47回総明会総会・懇親会の開催、誠にありがとうございました。明心会の皆様、震災の影響がある中でのご準備、本当にお疲れさまです。心より感謝申し上げます。

昨年度は「ひとのわこころのわ」をテーマに掲げて企画をいたしました。

『総明会の次年度以降への礎となるべく、いかに総会・懇親会を開催するか。』

昨年11月より明輪会の仲間が鳩首を重ね、可能な限りの知恵と汗を絞り出した末に、かるうじてやり遂げた気がします。この間、母校の先生方、総明会役員並びに学年幹事各位からは、身に余るご支援

を頂戴しました。また私達の新しい試みに対して、温かいご理解と的確なご助言をいただきました。尾島会長、金子校長先生、ありがとうございます。

多くの同窓生の皆様にも心より御礼申し上げます。

明大明治カミングに際しましては、多数のご参集を賜り、またそれに応えて現役生が我々の知っている曲を選んでくれる気遣いと心のこもった素晴らしい演奏、チアを含めた

応援紹介、3世代でリーダーを務めた校歌等々、全身が震えるほどの感動が今もはっきり記憶に残っています。年代を越えた懇親を願う私達にとりまして、男女共学になった生徒

達の活躍を実感できたことは、望外の喜びでございました。

同期からの無私の支援には目頭を何度も熱くしました。総明会同窓生であること、並びに昭和58年卒の絆に対し、これ程の誇りを感じたことは初めてでした。昨年「もう十分だ」というくらいに会ったはずなのに、今年も何かと用事を見つけては同期で集まって酒を酌み交わしています。

必ず話題に挙がるのは昨年9月に突然のお別れをした鴨川副実行委員長との楽しかった時間です。我々は昨年すべてを出し切ったので後悔はありませんが、総会の後に鴨川と乾杯したかったという思い

は皆にあります。「わ」が欠けた修復にはまだもう少し時間が掛かりそうです。

明心会の皆様は母校の100周年を見据えて、昨年の準備会にも多数出席をされました。テーマは「未来へつなぐ絆」100周年に向かつて。総明会・懇親会は昨年同様ホテルイースト21東京での開催と伺っております。

100周年へのジャンプのため、必ず素晴らしいステップを踏んで頂けると確信しております。本校初OGのみなさんも多数参加していただけることでしょう。

最後になりましたが、総明会のみなさまのご健勝をお祈り申し上げ、簡単ではございますが、ご挨拶に代えさせていただきます。

11月19日(土)会場で皆様にご会えるのを楽しみにしております。

139

次年度幹事学年挨拶

第48回総明会実行委員長
昭和60年卒 闔紺会

田中 宏昌

第47回総明会総会並びに懇親会の開催に際しまして、次年度幹事学年を代表して心よりお祝い申し上げます。

また、幹事学年であられる「明心会」の諸先輩方には、その並々ならぬご尽力に対し、深く感謝の意を表する次第でございます。

申し遅れましたが、僭越ながら次年度幹事学年であります昭和60年卒「闔紺会」の代表を仰せつかりました田中宏昌と申します。

この度は伝統ある総明会会報の貴重な紙面をご恵与賜り、恐悦至極に存じます。この場をお借りして、甚だ簡単ではございますが、ご挨拶

を申し述べさせていただきます。

さて、母校明治は調布校舎への移転により華々しく革新を遂げ、また来年には創立100周年を迎えることとなります。

母校の益々の飛躍を目の当たりにすることは、卒業生にとってこの上ない喜びでございます。

しかしながら、先般の東日本大震災をはじめ、国内外を問わず我々を取り巻く環境は、残念ながら安泰といえる状況には程遠いのが現実であります。

我々卒業生はもとより、これから社会へ羽ばたかんとす

る在校生の諸君にとつては、たとえ未来に対して不安を抱いたとしても当然のことと言わざるを得ません。

このような、悲壮感や絶望感が蔓延しかねない今なればこそ、母校明治が掲げる「質実剛健」の精神をもって「前へ」歩み出す勇氣が必要であると考えます。

我々昭和60年卒業生一同は、今後の幹事学年としての活動を、100年の長きに亘り綿々と受け継がれてきた伝統の精神について、身を正して再確認する場であると考えます。

また、後輩諸氏ならびに在校生諸君にとつて、「紫紺の

旗の下で培った友情を胸に、如何なる苦難にも立ち向かってゆく闔志」について見つめなおす機会となれば幸いに存じます。

講道館柔道創始者である嘉納治五郎先生は、「精力善用、自他共栄」との名言を残されましたが、私も同期一同、甚だ微力ながら、正にその言の如く今後の活動に打ち込んで参る所存でございます。

皆々様には、更なるご指導ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

末筆となりましたが、第47回総明会総会ならびに懇親会の盛大なる開催を祈念いたしますと共に、皆々様の一層のご健勝をお祈り申し上げます。

本年度幹事学年挨拶

第47回総明会実行委員長
昭和59年卒 明心会

大山 輝芳

今年度、第47回総明会総会・懇親会実行委員長を務めさせていただきます。昭和59年卒「明心会」の大山輝芳です。まずは、今年3月11日に起きました東日本大震災により被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

昨年、「明輪会」の先輩方より引継ぎを受けた後、伝統の重みを感じながら始まった準備活動。やるべき事は山ほどあるものの、私自身何から手をつければよいか全く分からず、実行委員長である私の力不足から、定例会である先輩より叱咤激励をいただいたこともありました。今から思うと、その時近くにくれた

同期の仲間の励まし、そしてその先輩の言葉に対する私自身の気持ちがあつて、ここまで来れたような気がします。

先輩方よりご協力を賜るべく参加させていただいた同窓会やOB会。今年は震災の影響で各会が短期間に集中してしまいました。1日に4つの会を挨拶して回った日もあり、この時は時間的にとてもハードで、4ヶ所目は2次会から参加ということもありました。私自身「これはなかなか大変だ」と思いながらも、各会に顔を出して短い時間ですが先輩方と様々なお話をさせていただいているうちに、だんだんとそれを楽しみだしている自分

がいる事に気づきました。これは、先輩方が私たち「明心会」を暖かく迎えてくださったからだと思っています。あの先輩は、先輩方の前で私がご支援のお願いの挨拶をしていると、私の横に立ち一緒になつて本気でお願いをしにくんだり、またある先輩は、各先輩へのお願いを一緒に回ってくださいました。今でもその時の事を思い出すと胸が熱くなります。本当に有難うございました。後日、それぞれの先輩にお礼の電話をさせていただと、「俺たちが幹事学年の時も先輩方にそうしていただいたから」と。当時、先輩方も今回の私と同じものを感じ

ていたのではないのでしょうか。今年のテーマは「未来へつなぐ絆」です。何年、何十年後の先輩たちに、「明治魂」を伝承し、総明会の「輪」を広げ、「絆」を深めていくことが私たち明心会の役割だと思っています。11月19日の懇親会では、皆さんが「今度〇〇へ飲みに行こうぜ!」「今度〇〇でゴルフコンペやろうぜ!」など、総明会の輪を広げると同時に、来年の創立100周年に向け、新しい絆をつくり、今ある絆をさらに深いものにしていただく場となることを祈念して、私たち「明心会」の挨拶とさせていただきます。

最後になりますが、ここまで来ることが出来たのも、総明会執行部をはじめ、先生や学校関係の皆様、諸先輩方、後輩達そして同期のみんなの協力のお蔭だと思っております。本当に有難うございました。

第47回総明会 御寄付者一覧 (敬称略) (八月末現在)

◎総明会行事

評議会クラブOB会懇親会
参加者有志一同

金 四万六千円

◎学校関係

白駿会有志一同

金 八万九千円

◎同期会・クラブOB会

明窓会 (昭和28年卒)

金 二万六千円

明優会 (昭和40年卒)

金 五万七千円

紫讃会 (昭和43年卒)

金 六万円

獅子の会 (昭和45年卒)

金 六万九千円

明紫会 (昭和50年卒)

金 八万九千円

明々会 (昭和51年卒)

金 五万九千円

男子校根性組 (昭和52年卒)

金 四万円

明誠会 (昭和54年卒)

金 十二万円

紫魂会 (昭和55年卒)

金 九万七千円

明翔会 (昭和56年卒)

金 七万五千円

明魂会 (昭和57年卒)

金 十一万六千円

明輪会 (昭和58年卒)

金 十二万六千円

川口明高会

金 三万八千円

ごとう会

金 五万六千円

卯の木会

金 三万三千円

應援團OB会

金 三万六千円

◎個人

金 十万円

中田 貢弘 (昭和37年卒)

金 三万円

戸張 毅 (昭和47年卒)

齊木麻州男 (昭和56年卒)

平野 由朗 (昭和63年卒)

金 二万円

中河 孝樹 (昭和44年卒)

山崎 秀樹 (昭和50年卒)

狩野 智雄 (昭和56年卒)

金 一万円

米山 耕右 (昭和27年卒)

持丸 孝雄 (八丈島高校卒)

宇田川雄弘 (昭和30年卒)

向殿 政男 (昭和36年卒)

加藤 一也 (昭和39年卒)

結城 康郎 (昭和42年卒)

中村 正容 (昭和43年卒)

毛塚 眞次 (昭和44年卒)

比留間竹郎 (昭和45年卒)

吉田耕太郎 (昭和45年卒)

内田 茂 (昭和47年卒)

並木 清志 (昭和47年卒)

廣野 宏士 (昭和47年卒)

岡本 雅仁 (昭和51年卒)

岩佐 浩之 (昭和54年卒)

熊倉 章雄 (昭和54年卒)

代田 真司 (昭和54年卒)

千崎 修 (昭和54年卒)

水上 泰良 (昭和54年卒)

安蒜 信夫 (昭和56年卒)

開発 武志 (昭和56年卒)

熊谷 康生 (昭和57年卒)

染谷 貴男 (昭和57年卒)

大塚 達宏 (昭和58年卒)

荻部 大 (昭和58年卒)

田中 賢司 (昭和58年卒)

並木 功 (昭和58年卒)

榎本 雄峰 (平成元年卒)

四手 宏尚 (平成元年卒)

幹事学年寄付者一覧

総額 五十八万円

注意

総明会は、「個人情報
保護に関する法律」（個
人情報保護法）に規定
される個人情報取扱事
業者として、独自に「個
人情報の保護に関する
規則」を策定し、個人
情報保護法・その他法
令に照らして適正且つ
公正な手段によって会
員に関する情報を収集
し、お預かりした情報
を適切に取り扱うこと
もに、正確性・機密性
の保持に務めてまい
ります。この規則は本
会報の制作にも生かさ
れております。

御礼

第47回総明会総会開催、並びに会報を発行するにあたり諸先輩、学校関係者の皆様から沢山の御寄付、広告を頂戴し深く感謝申し上げます。

昨年12月に幹事学年の引継を受け、約9ヶ月の期間をこの寄付、広告の活動に費やして参りましたが、その間皆様から頂きましたご支援は非常に心強く、先の見えぬ不安を少しずつ解消し、また、目標に向かって着実に進むことができました。

また、3月の東日本大震災後、関係者の皆様には大変ご心配を頂きましたが、厳しい経済状況の中、多くの皆様に支えられ、明治の「絆」でこの大変な状況の中活動することができました。本当にありがとうございました。

来年は母校明治高校も100周年を迎えます。皆様方にはより一層のご支援を頂き、縦横へより太い「絆」を築き上げて参りたいと思います。

最後に、この幹事学年という大役を果たす事で壺に入るまで付き合える友が増えたことに感謝致します。

明心会 寄付広告委員長 岩井 孝之

赤澤 喜博	武田 芳彦
赤堀 康浩	田中 重幸
和泉 豊	角田 国明
伊東 稔	徳田 哲男
岩井 孝之	永井 健
内田 治巳	中村 和之
梅沢 和男	中村 隆
大山 輝芳	仲山 俊之
押田 光央	平野 一哉
河原 勢朗	深田 治
工藤 隆行	藤川 雄司
熊倉 由行	藤ノ木 勇人
後藤 直広	藤原 輝夫
斉藤 充弘	増田 保樹
佐藤 昌彦	水沼 仁志
鈴木 誠	水村 恒則
島村 武史	宮澤 孝昌
進士 年治	柳田 啓一
染谷栄一郎	渡辺 憲一
高島 成眞	渡辺 隆之
高野 一秀	渡邊 文夫

総明会(明治大学付属明治高等学校同窓会) 会則

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、総明会と称する。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の結束と親睦を図り、且つ母校のためにこれを賛助することを目的とする。

(事業及び会計処理)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1 母校に対する賛助活動を推進すること。
- 2 会員名簿を整備、管理すること。
- 3 会報などの広報物を発行すること。
- 4 同期会の結成を助成し、奨励すること。
- 5 支部OB会の開催を助成し、奨励すること。
- 6 その他、本会の目的を達成するために必要なこと。

② 前項に定める事業はすべて一般会計として処理する。ただし、会長は、理

事会の議決と評議員会の承認を得て、前項1号ないし6号に定める一部もしくは全部を特別会計として処理することができる。

(事務局、所在地)

第4条 本会の事務を行うために事務局を設ける。

② 事務局は、明治大学付属明治高等学校内に置く。

第2章 会 員

(会員資格)

第5条 本会は、旧制、新制明治中学校、明治大学八丈高等学校もしくは明治高等学校の卒業生ならびに同校に在籍したことがあるものを会員とする。

(入会金及び終身会費)

第6条 会員は、入会の時に入会金及び終身会費を本会に納入するものとする。
入会費及び終身会費の額ならびにその徴収の方法は、理事会が明治大学付属明治高等学校校長(以下「校長」という)の同意を得て定める。

(特別会員)

第7条 母校の教職員であるもの及びその職にあったものを特別会員とする。

② 特別会員は、本会が行う事業に参加することができる。

第3章 役 員

(役員の種類及び定員)

第8条 本会に理事10人以上20人以内及び監事2人を置く。

② 本会に会長1人、副会長3人以内、専務理事1人、事務局長1人、会計

③ 必要であれば、本会に常務理事を若干名置くことができる。

(役員の選任)

第9条 会長及び副会長の選任は、別に定める「会長及び副会長選出規定」に基づいて選定し、理事会及び評議員会の承認を受け、総会の決議をもってこれを選任する。会長及び副会長はその就任と同時に理事となる。但し、任期中途で会長及び副会長を補充す

- べき場合は、「会長及び副会長選出規定」に準じて選定し、理事会及び評議員会の承認を得て選任することができる。この場合は選任直後の総会において承認を得るものとする。
- ② 会長及び副会長以外の理事並びに監事(以下「会長選任役員」という)は、会員の中から、会長が選任する。会長選任役員は、選任後最初の評議員会の承認が得られなかったときは、選任されなかったものとみなす。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員のないように直ちに役員を選任しなければならない。
- ③ 専務理事、常務理事及び事務局局長並びに会計は、副会長の同意を得て、会長が理事の中から選任する。
- ④ 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- ⑤ 会長は、副会長の同意を得て、いつでも会長選任役員を解任することができる。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員の無いように直ちに役員を選任しなければならない。
- ⑥ 理事は評議員を兼務できない。

(理事会)

第10条 本会の会務の執行は、理事会がこれを決する。

- ① 理事会は理事をもつて構成する。
- ② 理事会は会長がこれを招集する。
- ③ 理事会の議長は、会長又は会長が指名したものがこれにあたる。
- ④ 理事会の議事は、出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- ⑤ 理事は書面により理事会の決議に加わることができる。
- ⑥ 監事は、理事会に出席し意見を述べることができる。

(会長等の職務)

第11条 会長は本会を代表し、会務を総理、執行する。

- ① 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長が指名した順位にしたがい会長の職務を代行する。
- ② 専務理事は、会長の指揮のもとに会務を総括してつかさどり、かつ事務局を総括する。
- ③ 常務理事は、専務理事を補佐する。
- ④ 事務局局長は、専務理事の指揮のもとに事務局を統括する。

- ⑥ 会計は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を行う。

- ⑦ 理事は、会務を分担する。

(監事の職務)

第12条 監事は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を監査する。

- ① 監事は、監査の結果を定時総会に報告する。

(名誉役員)

第13条 本会に名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役を置くことができる。

- ① 名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役は、本会又は母校に永年にわたり特別に功労のあったものの内から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。
- ② 学校法人明治大学の総長、学長は、その在任中、名誉顧問としてこれを推薦する。

- ③ 明治大学付属明治高等学校の校長は、その在任中、顧問をそれぞれ推薦する。
- ④ 相談役は、会務に永年にわたり功労のあった者の内から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。

第4章 総会及び懇親会

(総会の招集)

第14条 定時総会は毎年1回開催し、臨時総会は必要のあるときに開催する。

② 総会は、会長がこれを招集する。

③ 総会の招集は、本会が発行する会報に掲載し、もしくはその他の方法で会員に通知して行う。

(総会の議事)

第15条 総会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項のうち理事会が提案し、評議員会が必要と認めた事項を総会における審議事項として決議する。

② 総会の議長は、会長又は会長の指名したものがこれにあたる。

③ 総会の議事は、出席会員の過半数でこれを決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(懇親会の開催)

第16条 懇親会は、会員の懇親を目的として毎年1回開催する。

② 懇親会の開催に関する事項は、理事会が決定し、評議員会の承認を得て、会長が会員に通知する。この通知は、総会の召集通知に準じて行う。

第5章 委員会

(委員会の設置)

第17条 本会は、第2条の目的の達成及び第3条の規定に掲げる事業の遂行のために必要な事項を調査、研究、審議し、または実施する機関として委員会を設けることができる。

② 委員会は、会則に定めるほか理事会の決議により設置する。

③ 委員会は、委員長1人及び委員2人以上をもつて構成する。

④ 委員長は、理事会の承認を得て会長がこれを委嘱し、委員は、会員及び特別会員の中から会長の同意を得て委員長がこれを委嘱する。

⑤ 委員会は、委員長がこれを主宰する。
① 委員長は、その就任と同時に理事となる。

第6章 評議員及び評議員会

(評議員)

第18条 本会に、卒業学年毎に2人以内の評議員を置く。同期会は、同期会の会員のうちから評議員を選任して本会に届けるものとする。また、総明会に登録した班部OB会毎に1人の評議員

を置くことができる。評議員を選任した場合は、本会に届けるものとする。

② 同期会が結成されていないか、もしくは同期会において評議員を選任できない事情があるときは、会長は、当該学年のために同学年の中から仮評議員を選任できる。

③ 総明会に登録すべき班部OB会が結成されていないか、もしくは班部OB会に評議員を選任できない事情がある場合は、評議員を置くことができない。
④ 同期会の評議員と班部OB会の評議員は兼任できない。

(評議員の職務)

第19条 評議員及び仮評議員は、評議員会に出席するほか、本会の事務のうちその属する学年もしくは同期会及び班部OB会の関係で必要な事務を処理する。

② 評議員及び仮評議員は、適宜代行者を選任して評議員会への出席、その他の事務処理を代行させることができる。

(評議員会)

第20条 評議員会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項につき議決する。

② 評議員会は、会長が適宜これを招集する。

③ 評議員会の議長は、会長もしくは評議員の中から会長が指名したものがあたり、その進行は事務局長が行う。

④ 評議員会の議事は、出席評議員、仮評議員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第7章 同期会

(同期会)

第21条 会員は、学年ごとに同期会を組織するものとする。

② 同期会は、同期会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

③ 同期会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない。

④ 同期会は、同期会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第8章 班部OB会

(班部OB会)

第22条 会員は、在学中在籍した班部ごとに

班部OB会を組織することができる。

② 班部OB会は、OB会名簿を整備し、

運営に関する準則を定めるものとする。

③ 班部OB会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない。

④ 班部OB会は、OB会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第9章 会計

(会計の分類と会計年度)

第23条 本会の会計処理は、一般会計と特別

会計に区分して行い、特別会計はこの会則に定めのある場合の他、理事会において特に定めた会計に関する会計処理、一般会計は特別会計を除いたすべての会計処理とする。

② 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(基金)

第24条 理事会は、本会の財政基盤を安定さ

せ、また第3条に定める事業の遂行資金を形成するため基金を積立てる努力をしなければならない。

② 基金は、特別会計(以下「基金特別会計」という)で処理する。

③ 入会費、寄付金のうち理事会で基金に組入れることを決議したもの、並びに基金へ組入れることを目的とする寄付金(以下「特別基金」という)は、基金として基金特別会計に計上し、この会則に定めのある場合を除き支弁することはできない。

④ 基金は、財政基盤基金と事業遂行基金をもつて構成する。

⑤ 基金への組入金金は、財政基盤基金の総額に満つるまで優先してこれに充当する。

⑥ 財政基盤基金の総額は、総会の決議により決定もしくは変更する。この場合、第26条の定め(特別決議)を準用する。

⑦ 財政基盤基金は、原則として取崩すことができない。ただし、総会において承認を得た場合はこの限りではない。この場合、第28条の定め(特別決議)を準用する。

⑧ 基金のうち、財政基盤基金の総額を超える額を事業遂行基金とする。

⑨ 事業遂行基金は、第3条1項1号に定める事業もしくは理事会で決議した事業に支弁するため、理事会及び

評議員会の決議によりこれを取崩し、当該事業のために支弁することができる。

⑩ 会長は、緊急に対処を要すると認め

た事項(以下「緊急処理事項」という)のために、副会長の同意を得て、事業遂行基金を取崩し緊急処理事項に支弁することができる。この場合、会長は、緊急処理事項が生じた後、最初に開催される総会において、当該事項の緊急性及び事業遂行基金取崩しの必要性を説明し、取崩しについて承認を得なければならない。

⑪ 事業遂行基金を支弁して行う事業を

検討するため、本会に基金事業委員会を設置する。第17条4項の定めにかかわらず、この委員会は委員長1人と委員8人をもって構成し委員は理事の中から委員長が選任する。

(経費)

第25条 本会の経費は、入会費(ただし基金

組入れ分を除く)、終身会費及び寄付金(ただし基金組入れ分を除く)並びに一般会計に属する財産から生じる果実その他特別会計に属さない収入をもって支弁する。

(予算)

第26条

会長は、会計年度の終了する前に、理事会の承認を得て翌会計年度の予算を作成する。翌会計年度の予算は、評議員会の承認を得て、総会に提出してその承認を得なければならない。

② 前項により、会長は、その会計年度の

最後に開催される評議員会に翌会計年度の予算を提出し、その承認を得た場合は、翌会計年度の初めから総会開催の日までの間、その予算を執行できるものとする。

(決算)

第27条

本会の収入支出の決算は、監事がこれを監査し、会長がこれを総会に提出して報告しなければならない。

② 基金特別会計の決算報告において

は、財政基盤基金と事業遂行基金を区別し、それぞれの収支の概要及び決算時の在り高のほか、特別基金の累計額を報告するものとする。

第10章 補 則

(特別決議)

第28条

本会の会則の改正は、総会における出席会員の4分の3以上の多数によ

る決議によらなければならない。

(届出)

第29条

会員は、氏名、住所及び職業を変更したときは本会に届け出るものとする。

② 同期会は、同期会員名簿及び役員

名簿を本会事務局に届け出るものとする。

③ 班部OB会は、OB会名簿及び役員

名簿を本会事務局に届け出るものとする。

附 則

(経過措置1)

第1条 (年会費同期会)

前回の会則の改正が施行された平成11年1月1日以前に会員となった者が構成される同期会(以下「年会費同期会」という)が納入する年会費については、次に会則改正のあるまで改正前の第7条の定めによるものとする。

第2条 (年会費)

同期会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

(経過措置2)

第1条 (年会費班部OB会)

班部OB会は、本会を運営する費用に充てるための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

第2条 (年会費)

班部OB会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

(施行期日)

この会則の改正は、平成18年12月3日より施行する。

(参考)

改正前第7条(年会費)

同期会は、本会を運営する費用に充てるための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

総明会会長及び副会長選出規定

会則第9条1項に基づき、会長及び副会長の選出は本規程により行う。

(選出委員会の設置、解散、委員の選出)

第1条 会長及び副会長の選出を行う場合は「選出委員会」(以下委員会という)を設置する。

②

委員会は役員改選又は補充の時期に合わせて、十分な期間を考慮し、理事

会が設置する。

③ 委員会の構成は、委員長1人、委員6人とする。委員の選出は理事会及び評議員会で各々3人とする。委員長は会長が指名したものがこれにあたる。

④ 委員会の解散は、総会において会長及び副会長が選出された時点とする。

(会長、副会長の選出、承認について)

第2条 委員会は、会長及び副会長の選出にあたり、推薦及び立候補を受け、その者をもって候補者とする。

② 候補者の中より、会長及び副会長候補者を選出する。選出においては全員一致を原則とするが、定員に絞り込めない場合は、その状態で選出終了とする。

③ 理事会は、委員会より選出された候補者の承認を行う。

④ 評議員会は、理事会で承認された候補者の承認を行う。

⑤ 評議員会において承認された会長、副会長は、総会の決議をもって、これを選任する。

(理事会の承認)

第3条 委員会より選出された会長候補者が

1名の場合、理事会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

② 委員会より選出された会長候補者が2名以上の場合、理事会において投票を行い、最も得票数の多い候補者を会長候補者として承認する。

③ 委員会より選出された副会長候補者が3名の場合、理事会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

④ 委員会より選出された副会長候補者が4名以上の場合、理事会において投票を行い、得票数の多い順に3名を副会長候補者として承認する。

(評議員会の承認)

第4条 理事会より選出された会長及び副会長候補者は、評議員会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

(会長、副会長の資格)

第5条 会長及び副会長は、総明会会員として20年以上在籍し、かつ評議員又は理事を経験していることを資格とする。この規定は、平成18年12月3日より施行するものとする。

平成 23 年 7 月吉日

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会
「総明会」会員 各位

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会
総明会会長 尾島 育二郎

明治高校「創立100周年」記念事業へ寄付のお願い

母校明治高校は、2008年4月より調布へ移転し、男女共学の学校として新たな歴史を歩み始めてから既に3年がたち、今年初めて女子の総明会会員を迎えることになりました。

そして来る2012年3月に記念すべき創立100周年を迎えます。

そこで「総明会」では、2008年3月に調布校舎移転記念品を母校へ寄贈致しました。さらに、創立100周年記念品を寄贈する計画とそれに伴う寄付の募集を平成18年度より、会員の皆様にご協力をお願いしてまいりましたが、今年度で最後のお願いとなります。

来年に予定されている創立100周年記念事業について、ご存知の通りではありますが、「世界へー世界に飛び出し『己』を知ろうー」をキーコンセプトとする記念事業及び鶴澤総明初代校長を冠した教育振興・奨学金プログラム等の実施に向け、事業委員会にて詳細の検討を重ねております。

会員の皆様には、今後の母校のさらなる飛躍と発展の為、引き続き記念事業への寄付をお願いすることについてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年11月に母校から創立100周年記念事業募金のお願いをされている所ではありますが、「総明会」として更なる協力をさせて頂きたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、創立100周年記念に際して寄贈する記念品は、今後、理事会、評議会で承認を受けたものを寄贈する予定でございます。

※税控除(寄付金控除)の領収書および証明書の発行について、皆様からのご寄付の日付ではなく、今後、総明会としてまとめて学校に寄付行為を行なう日付にての発行(後日、郵送)になります。

なお、平成23年6月8日付けで一部寄付が行なわれましたので、それ以降のご寄付の金額になります。

記

1. 寄 付 金 額 1口 1万円以上 (複数回の振込み可能です。)
2. 寄付募集期間 2012年3月31日まで
3. 申 込 先 同封の「郵便振込用紙」により、お近くの郵便局にて振込みをお願いいたします。
なお、お手数ですが管理の関係から通信欄に「明治高校卒業年月」(例：昭和49年3月卒)を記入してください。
また、税控除の証明書が必要な方は、上記に加えて「明治大学の卒業学部名」と「証明書必要」と記入してください。
4. 振 込 先 口座番号 00170-6-93825
加入者名「明治高等学校同窓会総明会」
5. 問 合 せ 先 総明会・会計
 中村 正容 TEL.090-4411-1684(携帯)
 総明会・副会計
 佐藤 眞弘 TEL.090-8500-5447(携帯)
 狩野 智雄 TEL.090-1534-8396(携帯)

明治高校「創立100周年」記念事業御寄付者一覧

(敬称略)
(平成18年4月1日から平成23年7月22日累計)

尾島育四郎 (昭和41年卒)

金 百十万円

北村 元廣 (昭和39年卒)

金 百万円

吉田耕太郎 (昭和45年卒)

金 百万円

佐久間洋一 (昭和43年卒)

金 九十万円

米山 耕石 (昭和27年卒)

金 五十万八千円

福島 啓光 (昭和37年卒)

金 五十万円

関谷 芳久 (昭和44年卒)

金 三十五万円

井家上哲史 (昭和51年卒)

金 三十五万円

服部 雄二 (昭和44年卒)

金 三十一万円

黒子 昇 (昭和27年卒)

金 三十万円

山崎 敬生 (昭和32年卒)

金 三十万円

向殿 政男 (昭和36年卒)

金 三十万円

中村 正容 (昭和43年卒)

金 三十万円

紫讃 会 (昭和43年卒)

佐藤 仁 (昭和39年卒)

金 二十万円

男坂倶楽部 (昭和44年卒)

金 二十万円

二九会一同 (昭和29年卒)

金 十五万円

出店 要蔵 (昭和33年卒)

金 十五万円

高石 秀雄 (昭和37年卒)

金 十五万円

藁谷 豊 (昭和44年卒)

金 十二万円

鈴木 利彦 (昭和23年卒)

金 十万円

松倉 康信 (昭和23年卒)

金 十万円

明 駿 会 (昭和36年卒)

金 十万円

前島 良彦 (昭和39年卒)

金 十万円

阿部 正行 (昭和40年卒)

金 十万円

竹澤 啓 (昭和49年卒)

金 十万円

翼 明 会 (昭和49年卒)

金 十万円

中島 富之 (昭和27年卒)

金 七万円

米山 武男 (昭和33年卒)

金 六万円

尾島雄三郎 (昭和34年卒)

金 六万円

北島 一弘 (昭和45年卒)

金 六万円

一泉 知由 (昭和46年卒)

金 六万円

山縣 清 (昭和47年卒)

金 六万円

白畑 尚志 (昭和56年卒)

金 五万円

外山 大 (昭和15年卒)

金 五万円

別府 隆彦 (昭和18年卒)

金 五万円

明 楽 会 (昭和31年卒)

金 五万円

明 治 会 (昭和32年卒)

金 五万円

加藤 真義 (昭和36年卒)

金 五万円

秋葉 敏雄 (昭和37年卒)

金 五万円

鈴木美津夫 (昭和28年卒)

金 三万八千円

林 正信 (昭和50年卒)

金 三万八千円

小田川玉城 (昭和25年卒)

金 三万五千円

塙 直樹 (昭和46年卒)

金 三万円

安藤 賢司 (昭和16年卒)

金 三万円

林 幹夫 (昭和18年卒)

金 三万円

中野 三郎 (昭和23年卒)

金 三万円

小松原和修 (昭和28年卒)

金 三万円

石坂 善正 (昭和32年卒)

金 三万円

浪越 和民 (昭和32年卒)

金 三万円

松野 英雄 (昭和32年卒)

金 三万円

旧 雨 会 (昭和33年卒)

金 三万円

北本 雅章 (昭和33年卒)

金 三万円

山口 敏郎 (昭和3年卒)

金 二万円

板垣 忠吉 (昭和11年卒)

金 二万円

車 健一 (昭和26年卒)

金 二万円

斉藤 英二 (昭和26年卒)

金 二万円

吉田 満 (昭和27年卒)

金 二万円

秋元 宏信 (昭和28年卒)

金 二万円

足立 孝雄 (昭和29年卒)

金 二万円

大林 完二 (昭和30年卒)

金 二万円

白井 慶幸 (昭和30年卒)

金 二万円

秋谷 操 (昭和31年卒)

金 二万円

高橋 潔 (昭和32年卒)

金 二万円

杉山 保廣 (昭和32年卒)

金 二万円

島村 宏和 (昭和37年卒)

金 二万円

大前 実之(昭和49年卒)	堀内 博(昭和25年卒)	小山 雅司(昭和37年卒)	森泉真一郎(昭和43年卒)	山田 英明(昭和56年卒)
星野 良尚(昭和50年卒)	飯田 昌史(昭和26年卒)	鈴木 豊(昭和37年卒)	八田 信明(昭和43年卒)	山崎 哲夫(昭和57年卒)
川本 浩(昭和55年卒)	大塚 満生(昭和26年卒)	染谷 武俊(昭和37年卒)	渡辺 修(昭和43年卒)	紺屋 周司(昭和59年卒)
松本 浩一(昭和55年卒)	小井 英治(昭和26年卒)	徳田 建三(昭和37年卒)	大岩 宣幸(昭和44年卒)	古沢 天(昭和61年卒)
金一万八千円				
桑原 精一(昭和26年卒)	長井 朗(昭和26年卒)	戸倉 正雄(昭和37年卒)	小川 滋(昭和44年卒)	辻村 誠之(昭和62年卒)
金一万五千円				
中村 哲士(昭和37年卒)	井野川博昭(昭和28年卒)	諸井 靖次(昭和37年卒)	毛塚 真次(昭和44年卒)	井上 正也(平成1年卒)
熊野 篤良(昭和41年卒)	鶴見 祐策(昭和28年卒)	知久 倭(昭和37年卒)	鈴木 幸男(昭和44年卒)	朝倉 太明(平成3年卒)
金一万二千元				
守田 満(昭和24年卒)	高橋 和夫(昭和28年卒)	岩間 勝雄(昭和38年卒)	高津 繁夫(昭和44年卒)	中里 健一(平成4年卒)
金一万元				
山口 国敏(昭和2年卒)	安田 芳照(昭和28年卒)	鹿野 俊一(昭和38年卒)	原田 繁(昭和44年卒)	永井 高志(平成17年卒)
宗像健一郎(昭和8年卒)	浮貝 文夫(昭和29年卒)	澤村 博雅(昭和38年卒)	福田 正知(昭和44年卒)	明水 会
金八千円				
宇田川雄弘(昭和30年卒)	相川 勝(昭和37年卒)			
金五千円				
河西 昭安(昭和23年卒)	岡本 恒明(昭和28年卒)			
岡波 栄造(昭和50年卒)	岩波 拓也(平成18年卒)			
金四千円				
和智 秀樹(昭和48年卒)				
金三千円				
大屋 悌(昭和19年卒)				
三迫 仁志(昭和27年卒)				
海老原英明(平成16年卒)				
仲村 誠司(平成16年卒)				
金二千元				
今野 静馬(昭和13年卒)				
合計 一千三百六十四万円				

※総明会会計にて把握している御名前及び金額を元に掲載しております。

創立99年目の今年、幹事年テーマを「未来への絆」100周年へ向かつて」としたのは、1月のことでした。その後、明治高等学校の卒業式の取材をした翌日の3月11日に未曾有の災害である東日本大震災がありました。これには日本中の人々が衝撃を受け、被災者の方々のために少しでも力にならないかを真剣に考えました。まさに、人と人との絆がクローズアップされた年であったと思います。

会報制作を通じ、先生方、OBやOG等多くの方々とお会いすることができました。現役当時は帰宅部であった自分にとっては、先生や先輩方とこれほど密にお付き合いさせていただくことはとても新鮮でした。本当に貴重な

経験をさせていただいたと思います。

公私共々様々な出来事があった年でしたが、なんとか会報を完成させることができました。これも、ご寄稿いただいた皆様、会報委員会の先輩方、同期諸君、ご協力いただいた先生や先輩、後輩、生徒の皆様のお力添えによるものと心より感謝しております。ありがとうございました。

(田中 重幸)

会報を担当することになって、どんな内容にしようか考えていたが、なかなかいいアイデアが浮かばない。見るに見かねた先輩方が、ヒントをくれるためいろいろな話をしてくださった。ハツとした。自分は明治高校のことあまり知らなかったんだ。先輩方が

話す昔のエピソードなど当然知らない。これでは、会報なんか作れないと、あせっていた今年のはじめ。

それから、先輩方の同期会などにじゃましたりと、どっぷり明治高校に浸かることで明治高校のいろはがやっとわかってきた気がした。先輩方の「明治高校大好きさ加減」にはかなわないと思いつつ、会報の方向性が見えてきた5月。

そして、なんとか会報制作の目処が立った8月の終わり。

あつという間の8ヶ月でした。

たくさんの方がまよお願いを聞いていただいた先輩方、そして取材に協力してくださった方々、心より感謝いたします。

(島村 武史)

思い起こせば昨年の4月、「来年、総明会の幹事年になるので、動ける人は集まってほしい」とメールを頂いてから早1年半。総明会についてはほとんど知らない私に、会報の作り方をご指導下さった会報委員会の先輩の方々、有難うございました。企画の段階から参加できたことで、会報づくりの大変さや楽しさを経験できました。さらに、なんといっても委員会後の懇親の場（といっても、単なる飲み会ですが……）での先輩方との楽しいトークも忘れられません。今回の企画の中では、部活の取材で新しいキャンパスに行くことができ、懐かしい先生方とお会いすることができました。先生方と話していると、自分も高校生時代にタイムスリップしたような錯覚に陥ってしまいました。また、今は亡き恩師のご子息に、先生の知られざる過去を伺

えたり、今年卒業したばかりの共学初年度のOB・OGと明治高校についての話ができたのも、この会報委員会で会報をつくる仕事をしたお陰です。この会報を皆さんが楽しんで読んでいただければ、これほど嬉しいことはありません。本当に有難うございました。

（佐藤昌彦）

高校卒業以来、母校である明治高校とはかなり疎遠になっておりまして、昨年久しぶりの同窓会に参加いたしました。その際に会報委員長である田中君に声をかけられ、会報作成の手伝いをさせて頂くこととなりました。気軽に引き受けたものの何をしたいのかさっぱりわからず会報委員の諸先輩にはご指導ご鞭撻大変お世話になりました。同期の会報委員の皆様にも大した仕事もできず申し訳

ありませんでした。会報作成では大変恐縮してしまいましたが、卒業後28年経って再び母校に触れる機会を頂き大変感謝しております。新しいキャンパス、男女共学等変わっている事は知っていたものの、いざ調布のキャンパスを訪れると大変な驚きでした。

一言で言うとお茶の水に通っていた頃は「モノクロ」で、調布キャンパスは「カラー」といった感じででしょうか。（もちろんどちらも魅力ある明治高校で違いはありませんが。）又、先生や先輩の原稿を打ち込みながら、先生方の思い出話や進言に勝手に感動したり、共感できたのもこの手伝いの役得でした。ぜひじっくり読んで頂ければ幸いです。来年は気楽に総明会会報を待つて読みたいと思います。どうもありがとうございました。

（斉藤充弘）

住所変更時のお願い

総明会では総明会会報、総明会からのお知らせが皆様のお手元に、一通でも多く確実に届くよう各学年の評議委員を通じて総明会会員名簿の管理を行っております。

お引越し等で住所が変わられた方はお手数ですが総明会専務理事までご連絡いただきますようお願いいたします。

連絡先：総明会専務理事
竹澤 啓

TEL.03-3675-9955
FAX.03-3675-9922
takezawa123@yahoo.co.jp

お礼とお詫び

会報委員会一同多くの総明会会員の皆様から、この会報誌発行にあたり、ご寄稿及び貴重なお写真の提出をいただきました。心より御礼申し上げます。

紙面の都合上、全部掲載することができませんでした。

また、文章中においても、万人が読むのに不適切かと思われる表現等につきましては、会報委員の責任で割愛・表現の変更をさせていただきます。

会報委員全員で文章を校正いたしました。至らぬ点もあるかと思ひます。

何卒ご理解いただきます様お願い申し上げます。

第47回 総明会実行委員会

実行委員長
会報委員

大山 輝芳
田中 重幸

島村 武史

斉藤 充弘

式典委員

平野 一哉

赤堀 康浩

藤川 雄司

寄付広告委員

岩井 孝之

泉 良雄

高島 成眞

中村 隆

渡辺 憲一

ゴルフ委員

渡邊 文夫

藤ノ木 勇人

会計委員

水沼 仁志

名簿委員

藤川 雄司

事務局

平野 一哉

佐藤 昌彦

河原 勢朗
藤原 輝夫

押田 光央

田中 康博
増田 保樹

永井 健

祝 第47回総明会総会

ご宴会



03-5683-5700

ご婚礼



03-5683-0521

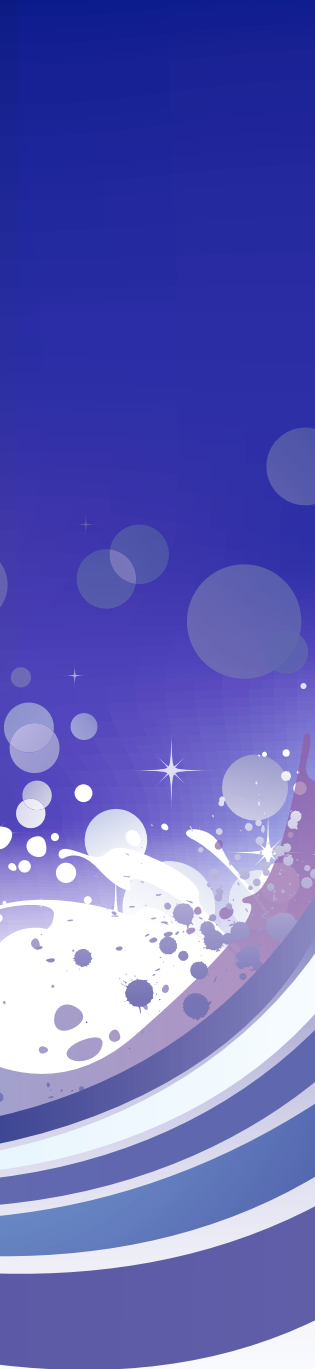


オークラ ホテルズ & リゾーツ

ホテル イースト21東京

〒135-0016 東京都江東区東陽6-3-3 TEL 03-5683-5683(代表)

www.hotel-east21.co.jp



発行 明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会 総明会
〒182-0033 東京都調布市富士見町4-23-25
明治大学付属明治高等学校内
TEL.042-444-9100
<http://www.meiji.cside7.com/>

編集 明心会(昭和59年卒)
総明会 会報委員会

印刷 赤岩印刷